# FFG調査月報

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ
MONTHLY SURVEY
2013年8月 VOL.62
8

寄稿

## 稀代の名参謀、最後の使命。父は子に何を残せるか

地域と共生するFFG

## 福岡を創った男・黒田官兵衛

Top Interview

## トップに聞く!

河邉　哲司 氏　株式会社 久原本家食品　代表取締役社長
要名本　義博 氏　有限会社 八代ドライビングスクール　代表取締役社長
吉川　茂 氏　株式会社 吉川金属商事　代表取締役社長

大濠公園（おおほりこうえん）の花火大会　黒田長政が福岡城築城の際、博多湾の入江を埋立て外濠としました。昭和初期から数回にわたり現在の公園に整備されました

福岡銀行　熊本銀行　親和銀行

Season's Greeting

# 支店からの便り

熊本銀行
植木支店

今回は、熊本銀行 植木支店からの
夏の便りです。

# 季節の便り6

熊本銀行植木支店がある植木町（熊本市北区）は、昔から交通の要衝で、江戸時代は豊前街道の宿場町として栄えました。町内には、西南戦争の激戦地“田原坂（たばるさか）”があります。
植木町はスイカの名産地で、“植木のスイカ”は糖度が高く、美味しいスイカの代名詞となっています。植木町に牽引され、熊本県のスイカの出荷量は全国一を誇っています。
地元の自慢の逸品です。ぜひ一度ご賞味ください。

九州を知る！ マンスリーコラム…㉗

# 人ニ媚ビズ富貴ヲ望マズ。

黒田 如水

黒田の姓を持つ戦国武将の生涯を描いた司馬遼太郎氏の『播磨灘物語』は、ヒーローの通称名の官兵衛が「くゎんひょうえ」と発音された蘊蓄で始まり、「名前は孝高、洗礼名がシメオンで入道してからは如水。〝水の如し〟という称を彼は好んだ」と続く。黒田如水。秀吉の天下取りを演出した名参謀にしてキリシタン大名、福岡藩の藩祖とされるその人である。

宇多源氏に連なる。室町末期の乱世に発祥の近江を追われ、備前福岡（岡山県）、播磨姫路（兵庫県）を流浪、目薬の新商法（行商）で一族の物語は幕が開く。財で人を養い、豪族となるのも時代であったが、嫡男・官兵衛の器量が命運を担った。風雲を予見して西国の毛利よりも新興の信長につき、秀吉の懐で智将たり得たのは卓越した資質による。本能寺の変は毛利陣営の備中高松城を攻める最中に起きた。

茫然自失の秀吉を励まし、京までの二百キロを強行軍して明智光秀を討つ「中国大返し」の奇策は、主君さえ恐れさせた。城攻めの妙、戦わずして敵を味方にしてしまう知略。重ねた手柄の論功が豊前十二万石にとどまったのは、官兵衛の才智器量に怯えた秀吉の猜疑心によると言われる。戦闘を好まなかった戦の天才、隠居の身で一度だけ天下をうかがった。

東西決戦の前夜、大名の大半が出陣したあとの九州・豊前にあって九千の兵で近隣を席巻した。一日で決着した関ヶ原の誤算がなければ…筑前に得た五十二万石は息子長政の戦功、「福岡藩」は父子の望郷であった。四年後の慶長九年（一六〇四）の弥生二十日の朝、五十八歳で没。司馬氏は、「おかしなほど私心の薄かった男は自分の最期まで予見し、その日時に溶けるように死んだ」と長編を結んでいる。

所在地：福岡県福岡市中央区城内

geppou
最新情報を携帯からもチェック！

黒田如水公御鷹屋敷跡…晩年を過ごした城内の屋敷跡の碑

# CONTENTS

1

6

12

18

2

26

36

50


2 九州を知る！ マンスリーコラム㉗
人ニ媚ビズ富貴ヲ望マズ。 黒田如水

トップに聞く！
Top interview

6 「モノ言わぬモノに モノ言わす
モノづくり」の信念のもと、
食の感動を届ける200年企業へ。
株式会社 久原本家食品 河邉 哲司 氏
福岡銀行

12 “よし!大丈夫”の理念を具現化する
運転免許の
ワンストップサービスを提供。
有限会社 八代ドライビングスクール 要名本 義博 氏
熊本銀行

18 業界の社会的な地位を向上させ、
環境にやさしい
100%リサイクル社会の実現を。
株式会社 吉川金属商事 吉川 茂 氏
親和銀行

26 寄 稿
稀代の名参謀、最後の使命。
父は子に何を残せるか

36 地域と共生するFFG
福岡を創った男・黒田官兵衛

50 DATA in 九州
今月の注目データ
経済動向・経済指標

今月の表紙

福岡市中央区

# 大濠公園

[ おおほりこうえん ]

昭和2年の東亜勧業博覧会を機に、大規模な造園工事が行われ大濠公園として開園しました。1周約2kmの大きな池を持つ水景公園で、現在周囲には福岡市美術館・武道館、アメリカ領事館、能楽堂などがあり、散歩を楽しむ市民の憩いの場となっています。また、8月の西日本大濠花火大会は、福岡市最大級の花火大会で約6,000発の花火が打ち上げられます。

## 今月の一枚 「博多祇園山笠」

今月の一枚は、FFG行員（福岡銀行博多支店）が参加した「博多祇園山笠」（7月1日～15日）の様子です。博多祇園山笠は770年以上の歴史を持つ、博多を代表する伝統ある祭りです。

博多祇園山笠の様々な行事に参加させて頂くことで、脈々と受け継がれる伝統の大切さ、素晴らしさを体感することができました。

FFGでは、これからも地域行事に積極的に参加させていただき、各地域の歴史や伝統を学ぶとともに、皆様とのふれあいを大切にした活動を続けて参ります。

「博多祇園山笠」に参加したFFG行員

【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
http://www.fukuoka-fg.com/

トップに聞く！

# 「モノ言わぬモノに モノ言わす モノづくり」の信念のもと、食の感動を届ける２００年企業へ。

株式会社 久原本家食品
代表取締役社長
河邉 哲司 氏

取引店／福岡銀行 箱崎支店

# 株式会社 久原本家食品

▲左から河邊社長、谷頭取

## 餃子のたれづくりによって始まった進化

我が社は、福岡県久原村（現久山町）の初代村長であった私の曽祖父・河邉東介が、1893年（明治26年）、醤油を製造する「久原醤油」を創業したことに始まります。私は醤油屋の未来を悲観的に考えていましたので、事業を継ぐ気はありませんでした。しかし、3代目である父・龍二は私に、「事業を継ぐように」と言って譲らず、最後には私が折れ、4代目となることを決意しました。私が事業を継いだ時は、従業員6名、年商6,300万円ほどの小さな醤油屋でした。

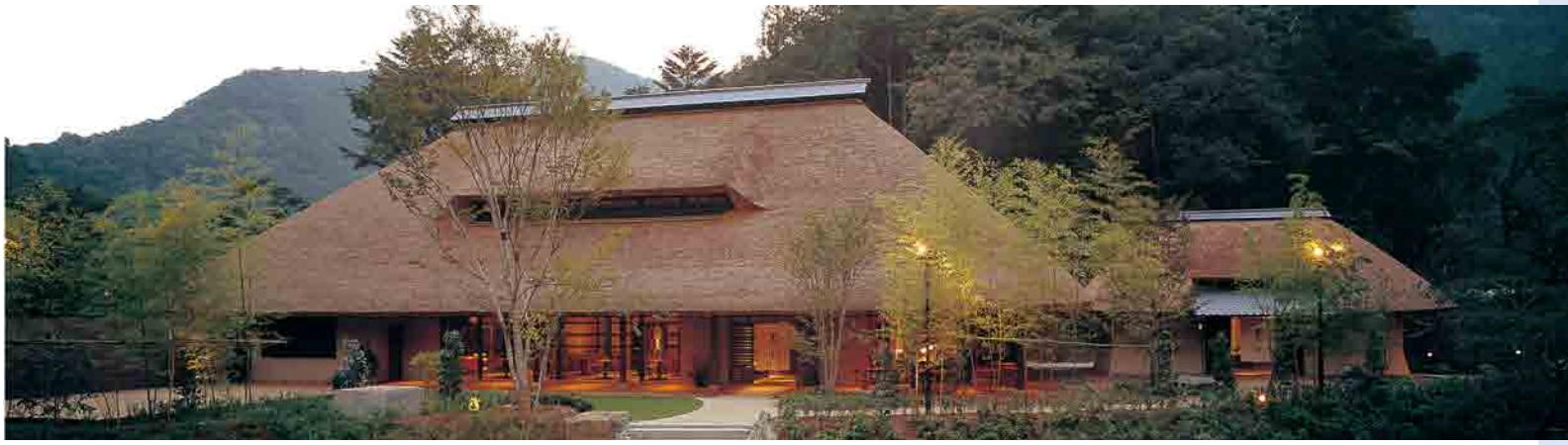
私は、「事業を継いだからには、何とか会社を大きくしたい」と思い、精力的に営業に出向いて醤油の拡販を試みました。しかし、大手メーカーの低価格路線に対抗することは難しく、「普通に醤油を売り歩いていても業績は伸ばせない」と考え、他の拡販方法を思案しました。そこで思いついたのが、「たれ」をOEM（※1）で製造することでした。当時からお付き合いがあり、業績を拡大させていた餃子メーカーの八洋食品株式会社様に、「餃子のたれを作らせてもらえないか」とお願いに伺いました。私は、営業の「え」の字も分からない人間でしたが意気込みだけは持っており、同社の先代の川添社長の「お前、やる気はあるのか」との問いかけに、威勢良く「やる気はあります！」と答えました。その覚悟が通じたのか、「たれ」の製造を我が社に任せて頂けることになりました。今考えると、この時が我が社のターニングポイントであったように思います。チャンスを与えて下さった川添社長には、心から感謝しています。

（※1）他社ブランドの商品を製造すること

▲レストラン「茅乃舎」ホール

▲十穀土鍋

▲十穀鍋


▲レストラン「茅乃舎」

## 自社ブランドでの商品開発が次々に成功

前述の「餃子のたれ」のＯＥＭ受注をきっかけに、我が社の業績も順調に伸びていきました。また、これをきっかけに他社食品メーカーの「たれ」もＯＥＭで引き受けるようになり、我が社の成長の土台を築くことが出来ました。しかし、成長の一方で、危機感も感じていました。ＯＥＭは、受注先との契約が途切れてしまえば売上は大きく落ち込み、それを補うのは容易ではないからです。そこで自社ブランド商品の開発に着手し、たれやドレッシングの開発等、様々な商品で失敗を重ねながら、辿り着いたのが「辛子明太子」でした。我が社は辛子明太子業界では最後発でしたので、事業を立ち上げる際に、先行企業との差別化を図る為に、北海道産の高品質なスケソウダラの卵を使用することにこだわり、ブランド名を「椒房庵（しょぼうあん）」という特徴のあるものにしました。当初は知名度不足や原材料の値上がりによって苦戦し、9年間赤字が続きましたが、素材の良さと、利益率が高い「直販」にこだわる販売戦略が奏功し、10年目にしてようやく黒字となり、現在では我が社の事業の柱に成長しました。

その後に開発したのが、スーパーを経営する友人からの提案によって生まれた「久原醤油（旧くばらコーポレーション）」の「キャベツのうまたれ」です。福岡の焼鳥屋では、その店独自の「たれ」がかかったキャベツがお皿に盛られ、その上に焼鳥が提供されるのがポピュラーです。一般家庭でも、その「たれ」がかかったキャベツが楽しめたら、という発想がこの商品の出発点です。私自身、本当に売れるのか首を傾げながら作ったのですが、販売当初から予想以上のヒット商品になり、こちらも現在では主力商品の1つとなっています。

▲ヒット商品「キャベツのうまたれ」

▲主力商品「椒房庵」の辛子明太子

▲人気商品「茅乃舎だし」「煮干しだし」「野菜だし」

▲椒房庵久山本店　見学風景

▲ごはん家 椒房庵

▲調味料販売店「茅乃舎 東京ミッドタウン店」

更に、安心・安全な無添加食品のブランドづくりを手掛けました。そのコンセプトを実現すべく、蛍の飛び交う地元久山の山間で、自然食品を提供するレストラン「茅乃舎（かやのや）」を誕生させました。ここでは、グループの農業生産法人「有限会社 美田（びでん）」の農園で栽培した旬の食材を用いる等、徹底的に質にこだわっており、今や週末の予約は1ヵ月待ちの人気店になっています。また現在は、その「茅乃舎」の味をご家庭でも味わっていただけるように、との思いを込めて「茅乃舎だし」等の調味料販売にも注力しています。

## 〝永続〟を目指して実践する本物づくり

我が社では、「モノ言わぬモノにモノ言わす モノづくり」という信念の下、本当に美味しいモノ（商品）を作っています。この信念は、本物の良いモノは自ずと口コミで広まっていくものであり、我が社では作り手の顔と心が見える素材を使い、優れた技術によって信頼されるモノづくりを行う、という決意を表しています。たとえ作るのに手間がかかっても、人の心と手間をかけた、本当に美味しいものを味わって頂きたい。また、その商品によって感動して頂けたとしたら、これに勝る喜びはありません。

創業120年を迎えた我が社では、創業200年に向けて、会社を「永続」させていくことを目標としています。その為、私が経営判断をする上で最も大事にしている基準は、安定した成長につながるかどうかであり、売上を一気に拡大させるような急成長よりも、堅実な成長の方が望ましいと考えています。

▲河邉社長

▲本社工場

▲久原醸造工場

▲やさしさを運ぶ段ボール箱

## 社会貢献に努めながら日本各地そして海外での店舗展開を推進

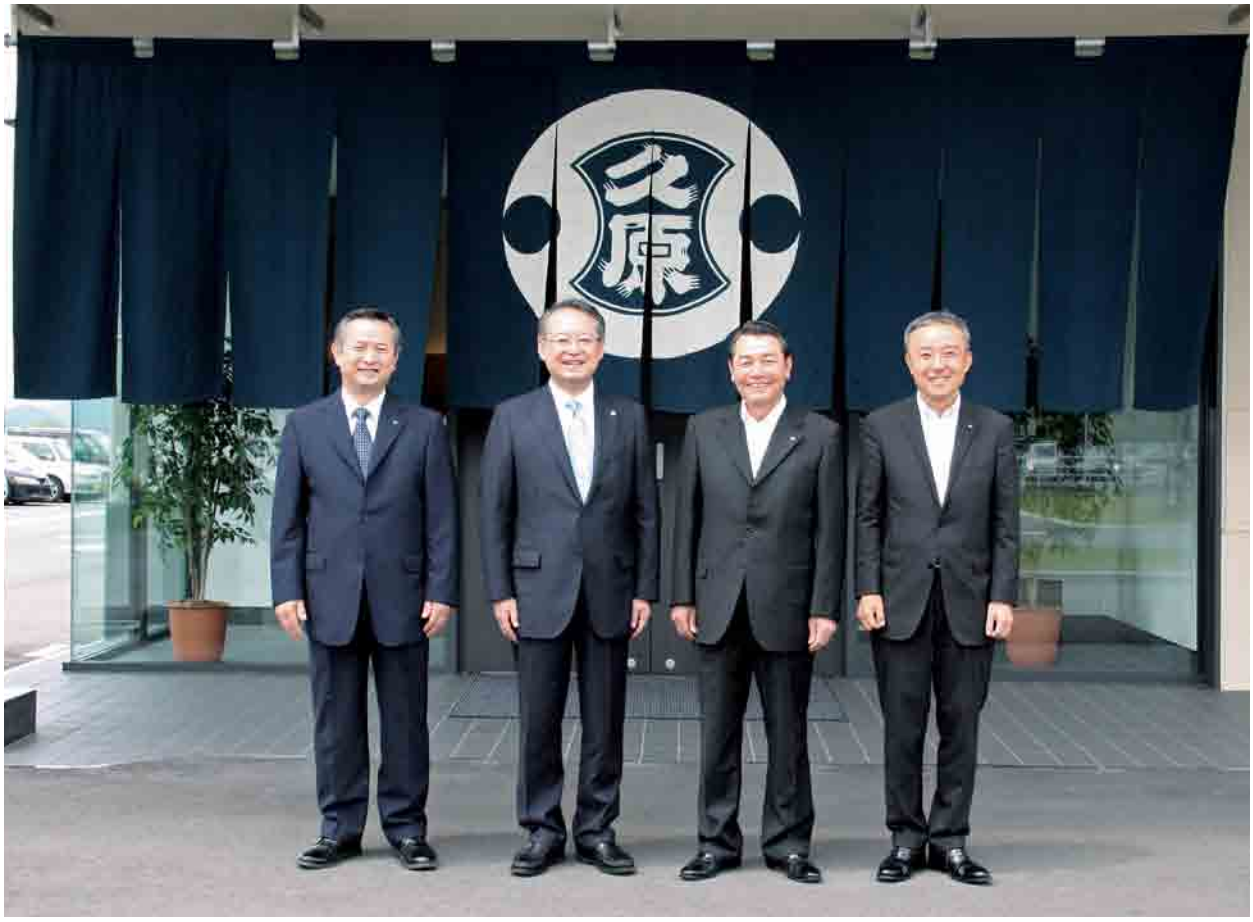
我が社では、社会貢献の一環として、障がいのある方から募集した絵画をデザインした「やさしさを運ぶ段ボール箱」に商品を詰めてお客様へ送付しています。また、地元久山町との協力により、子供達の海外留学支援の他、だし講座や野菜収穫といった体験教室も行っています。

社会貢献活動に力を入れていく一方で、事業活動においても着実な成長を目指しており、現在は調味料販売店「茅乃舎」の店舗展開に注力しています。2010年4月にオープンした「茅乃舎東京ミッドタウン店」（東京都港

区六本木)は、おかげ様で大変好調です。今年は既に名古屋、大阪、札幌、横浜に新規出店いたしました。

また、将来的には海外展開も視野に入れています。今、世界中で日本食ブームが起きていますが、その味を支える調味料はまだまだ認知されていません。日本の食文化がもたらす感動を世界の人々に伝える為、我が社の強みである調味料の直売店「茅乃舎」を世界中に展開したい、という夢を抱いています。

言わぬ言わず
モノづくり




▲左から髙倉工場長、河邉社長、谷頭取、増田支店長(福岡銀行)

◎インタビューを終えて

河邉社長の「本当に美味しいものを味わって頂き、そして感動して頂きたい」というモノづくりの基本を一途に貫く姿勢に御社飛躍の源泉を感じました。

創業以来、地域に根ざし堅実に歩みながら、「椒房庵」や「茅乃舎」をはじめとする自社ブランドの開発等により、今日では九州を代表する総合食品メーカーへと成長されています。

今後も、質の高い商品を、多くのご愛用者の食卓に届けられ、益々発展されることを期待致します。

福岡銀行
取締役頭取 谷　正明

トップに聞く！

# “よし！大丈夫”の理念を具現化する運転免許のワンストップサービスを提供。

有限会社
八代ドライビングスクール
代表取締役社長
要名本（よなもと） 義博 氏
取引店／熊本銀行 八代支店

# 有限会社 八代ドライビングスクール

▲左から嶋田校長、要名本社長、林頭取、近藤支店長(熊本銀行)

▲大型第二種免許教習車

▲普通自動車免許教習車

▲大型特殊免許教習車

▲運転席からバスの大きさを体感

▲教習車全車種

▲身体障がい者専用教習車

## 卒業生累計が約12万人にのぼる県内唯一の「全車種教習校」

我が校の歴史は、1955年（昭和30年）に、私の祖父が「八代自動車練習所」を創業したことに始まります。当時は日本が高度経済成長の入口に差し掛かった頃で、来たるべきモータリゼーション時代を見据えての創業でした。その後、60年（昭和35年）に「有限会社 八代自動車専門学校」として法人化、62年（昭和37年）には熊本県内で2校目という早さで、県公安委員会より「指定自動車教習所」（運転免許を取得する際の技能試験と学科試験のうち、卒業生の技能試験が免除される教習所）の指定を受けました。

創設当時は八代駅前という好立地で、順調に事業を行っていましたが、国道3号線の整備に伴う土地収用の対象となり、65年（昭和40年）に現在の場所に移転しました。移転場所を八代市中心部に確保することは困難だったため、現在の八代市平山新町に移転することになりました。移転した当時は営業面で相当の苦労があったようです。

その後、77年（昭和52年）に「有限会社 八代ドライビングスクール」に社名を変更。徐々に教習車種を増やし、2003年（平成15年）に大型第2種運転免許の教習を開始し、県内唯一の「全車種教習校」となりました。

現在我が校では、「全車種教習校」という強みを活かし、地元の旅客運送業者様と提携して、提携業者様の従業員に2種免許（タクシーやバス等、旅客運送のために必要な免許）の教習を行うと同時に、サービス業従事者としての心構えを指南していくことで、プロドライバーの養成にも努めています。

おかげ様で、創業以来多くの教習生に我が校を選んで頂き、現在は年間約1,300人の教習生が

▲高齢者向け交通安全教習

▲幼児向け交通安全教室の様子

▲職員による道路清掃活動

▲教習生

卒業され、卒業生の累計は約12万人にも上っています。

## 「よし！大丈夫」の理念の下、教習生の安心・安全のため「完全自宅玄関送迎」を実現

こうした歴史と長年の実績を持つ我が校の経営理念は、「よし！大丈夫」です。

これは校長が考案したもので、多くの方々が抱える運転免許取得にあたっての「不安」、あるいは取得後の「不安」を払拭するための力強いメッセージです。また、運転免許に関することであれば、「八代ドライビングスクールに任せれば大丈夫」と思って頂けるような教習所を目指すというメッセージも込めており、大きなのぼり等で、校内外に強くアピールしています。

この理念を具現化した最も分かりやすい例として、「完全自宅玄関送迎」が挙げられます。これは、講習の予約をする際に、事前に登録した自宅・学校・職場等の送迎場所を指定頂くことで、その玄関先まで送迎バスでお迎えにあがる仕組みです。この業界では、「完全自宅玄関送迎」を行おうとしても、教習生の入校・卒業、教習予約の有無・時間帯等によって日々送迎ルートが変わってしまうため、運用が困難で、実現させた教習所はこれまでありませんでした。しかし、夜道の一人歩きへの不安や、未成年の教習生をお預け頂いている親御様の不安を解消することが、「よし！大丈夫」という理念を具体的な行動で示すことになると考え、「完全自宅玄関送迎」を10年（平成22年）に開始しました。当初は、手作業で運行ルートの決定を行っていましたが、利用者の増加にも対応できるように、一念発起して、システム会社の協力の下、「モバイル・PC予約システム」と、それに連動した「完全自宅玄関送迎」のシステム

▲八代自動車専門学校卒業式（昭和41年）

表彰状

八代トライビングスクール殿

貴校は熊本県公安委員会指定教習所として業務遂行と適切に行後良初代運転者育成及力と交通行政に寄与されました その業績は顕著でありますのでここに記念品を贈って表彰します

平成元年五月吉日

九州管区警察局長 石田橋拡

九州運輸局長 三戸道雄

▲要名本社長

をゼロから構築しました。前例の無いシステムの開発には多大な労力を要しましたが、現在は軌道に乗り、多くの教習生からご好評を頂くと共に、我が校の業績向上に大きな役割を果たしています。

## 充実の設備と優秀な指導員による万全の指導体制

前述の「完全自宅玄関送迎」の他にも、設備面では県内最大級の教習コースや、「モバイル教習システム」が我が校の強みとして挙げられます。

最高時速50㎞で走行可能な約300mの直線道路を備えた我が校の教習コースは県内最大の面積を誇り、ゆったりと教習を受けることが出来ます。そして、「モバイル教習システム」とは、携帯端末を使用して映像を見せながら、運転のコツを分かりやすく解説するためのシステムで、広大な教習コースをフルカバーしています。映像を使用しての教習は大変分かりやすいとご好評を頂いており、また、教習の進捗状況等の申し送り事項をシステム上で共有出来るため、指導員間の引継ぎがもれなくスムーズに行われ、一貫性のある指導にも大変役立っています。

また、障がい者専用教習車を1台導入し、障がい者の免許取得を支援しています。今日まで我が校から約30名の方が卒業されていますが、障がい者専用車両を導入している教習所は殆ど無いため、要請があれば他校にも貸し出し、少しでも社会進出のお手伝いが出来ればと考えています。

もちろん、指導員・検定員〔終了検定（いわゆる仮免許試験）や卒業検定を実施する担当者〕のレベルアップにも長年注力しており、その努力は着実に実を結んでいます。指導員・検定員が毎年受講する必要がある「法定講習」において、教習所別の総合成績は直近6年間、県内2位以上を維持しており、昨年度には指導員と検定員の両部門で同時に1位となる、県内初の快挙を達成しました。更に、今年になって、「九州管区警察局長賞」（九州187校中4校の教習所を表彰）を受賞しました。職員が忌憚（きたん）なく意見を出し合い、疑問点を放置せず周囲と共有していることや、毎朝欠かさず行っている勉強会による知識の向上等の成果だと考えています。

## 「地域に開かれた自動車学校」として更なる地域貢献を

我が校では社会貢献活動にも力を入れています。職員は、「道路を使って教習をさせてもらっているのだから、少しでも綺麗にするのは当たり前」と、自発的に道路清掃活動を始め、現在は九州地方整備局熊本河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラ

## 有限会社 八代ドライビングスクール

▲前列左から木山事務長、吉野副校長、嶋田校長、要名本社長、林頭取、近藤支店長（熊本銀行）

ム協定」を締結し、毎月2回、公道の清掃活動を行っています。

会社としては、地元企業や幼稚園・保育所、高齢者等を対象とした交通安全講座をはじめとする啓蒙（けいもう）活動を定期的に行っています。また、災害発生に備え、「八代市災害時協力事業所」への登録も行い、地域の安全に貢献しています。これらの地道な取り組みにより、今年5月に、「八代でいちばん大切にしたい会社大賞」で八代商工会議所会頭賞（2位）という評価を頂きました。

これまでも地域に根ざし、数多くのドライバーを輩出してきた我が校。質の高い教習による「生涯無事故無違反の初心運転者」の育成はもちろんのこと、運転免許の取得時以外にもご活用頂ける「地域に開かれた自動車学校」として、また「地域の交通安全センター」としてますます活発な活動を行い、地域に貢献したいと決意を新たにしています。

### ◎インタビューを終えて

貴校は、運転免許取得に関する教習のみならず、地域の児童や高齢者等を対象とした交通安全啓蒙活動にも積極的に取り組まれ、地域に根ざして歩んでこられました。

弊行でも、日々の営業活動で自動車やバイクを運転する機会が多いため、交通安全教育の重要性について日頃から強く認識しております。

これからも「初心運転者」の育成や、交通安全講座をはじめとする啓蒙活動を通じて、地域の安心・安全に貢献し、「よし!大丈夫」を地域の皆様にお届けされると共に、地域に愛される企業として益々ご発展されることを期待しております。

熊本銀行
取締役頭取 林　謙治

トップに聞く！

# 業界の社会的な地位を向上させ、環境にやさしい100％リサイクル社会の実現を。

株式会社 吉川金属商事
代表取締役社長
吉川 茂 氏

取引店／親和銀行 多良見支店
福岡銀行 長崎支店

## 社員とともに努力を重ねて確立した自動車リサイクル事業

我が社は、1950年（昭和25年）に私の父が長崎市岩川町で創業した吉川商店が前身です。当時は、主に鉄くずや古紙、空きビン等の回収・販売を手がけていました。77年（昭和52年）には今後の事業展開を見据え、長崎・島原・大村地区をカバー出来る西彼杵（にしそのぎ）

郡多良見町（現 諫早市多良見町）に本社を移転し、2001年（平成13年）に父の跡を継いで私が社長に就任しました。

車社会の到来とともに、自動車エンジンの解体も手掛けるようになり、自社でエンジンを溶解し、アルミ素材を販売する為、91年（平成3年）にアルミニウム溶解工場「長崎アルティング」の操業を開始しました。その後、「長崎リソースファクトリー」での自動車解体・リサイクルや、「長崎リパーツ」での自動車中古部品販売等に進出していきました。

06年（平成18年）に完成した、長崎県初の全天候型自動車リサイクル工場は、我が社の業容が拡大する大きなきっかけとなりました。また、本年5月に佐賀県鳥栖市でも全天候型の自動車リサイクル工場の操業を開始しました。

我が社の歴史は、新技術開発に向けた社員との試行錯誤の日々でした。ノウハウが全くなかっ

▲左から吉川社長、小幡頭取

た自動車解体において、偶然自動車整備の経験を持つ社員が入社したことで、研究を重ねながらノウハウを蓄積していくことが出来ました。

特に苦労したのはアルミニウム溶解工場「長崎アルティング」操業時で、当時、社員は3人しかおらず、社員が帰った後、銅の選別作業等を妻と深夜まで行っていました。妻の支えがあったからこそ、苦難の時期を乗り越えることが出来たと、感謝の思いが込み上げてきます。

## 全天候型工場で、廃車のほぼ100%リサイクルを実現

我が社のメイン事業は、廃車を引き取って解体し、その部品を再利用出来るようにする自動車のリサイクル事業で、現在のリサイクル率は98%を誇っています。

全天候型自動車リサイクル工場「長崎リソースファクトリー」では、九州一円及び山口県から廃車を回収し、手作業やニブラ（大型重機）を用いてのリサイクルパーツ選別や車体の解体、再資源化を行っています。タイヤはボイラー燃料として、自動車破砕残（はさいざん）さは道路の基礎材として使用され、廃車に残っているガソリンやエンジンオイルも、工場内のフォークリフトの燃料やアルミ溶解の燃料に用いています。更に、内装のプラスチックも破砕して、物流用パレットの原料として販売しています。この屋根付きの工場は、工場内の廃液や油水等をきれいにする最先端の排水・処理設備を完備しており、騒音や美観にも配慮した革新的な自動車リサイクルシステムを有しています。

「長崎リパーツ」は、厳選した自動車部品を再び活用出来るように処理し、新品に近い商品に仕上げて販売する部門です。保管パーツ数は常時1万点を超えており、

全国からのご要望やお問合せに対応しています。

また「長崎アルティング」では、工場で取り外したエンジンを溶解し、高純度のアルミインゴット(※)を作っています。エンジンミッションは、エンジン用のアルミニウムとしてほぼそのまま再利用出来る為、ボーキサイトからアルミニウムを作るよりもコストと時間を節約出来るだけでなく、多大な省エネ効果もあります。

そして、自動車の解体工程で選別した部品類をほぼ全て再利用する実績が高く評価され、長崎県内では唯一、「経済産業省・環境省主務大臣認定」を受けました。地球にやさしい先進の自動車リサイクルシステムは業界でも注目を集め、現在では国内全ての自動車メーカーとリサイクルの契約を結ぶまでに至っています。

(※)インゴット：溶かした金属を鋳(い)型に流し込んで固めたもの

## 顧客目線を常に心がけ、全社員がサービス精神を共有

こうした事業を展開するにあたり、我が社では「何事にも熱意を持って挑め」「未来に向かって躍動しろ」「皆との調和を図れ」を経営理念に定めています。ちなみに、この経営理念を反映させた我が社のシンボルマークは、風に向かって進む帆船(はんせん)の帆をモチーフとしており、赤は「情熱」を、青は「躍動」を、緑は「調和」を意味しています。チャレンジ精神と行動力、そして人と環境の調和を目指した企業姿勢をデザインしたものです。

また、日頃から心がけているのは、顧客目線に立って仕事をすることです。例えば当社のドライバーは、運搬のみならずお客様と我が社を結ぶ役目も担っており、お客様が抱えておられる問題等の情報を入手し、我が社から積極的に動く「提案型営業」を行っています。

プレスされた鉄塊

プレス

大型重機での解体処理

ボディ

破砕した内装プラスチックから作られた物流用パレット

破砕した内装プラスチック

内装プラスチックの破砕

内　装

そして、サービス精神を持つという意識を全社員が共有しており、来社されたどなたに対しても、心のこもった挨拶をするように努めています。

## 社員がいてこその会社、会社の財産は「人」そのもの

これまでいろいろな苦労もありましたが、それを乗り越えてここまでやって来ることが出来たのは、私について来てくれる社員のお蔭であり、本当に感謝しています。仕事の面で厳しく叱ることもありますが、社員の成長は、私にとって何にも代えがたい喜びでもあります。このような思いから、給料日には感謝の想いを込めて、私自ら手渡しで給料の授与式を行っています。福利厚生にも力を注いでおり、2年に1回社員旅行を行っています。この旅行は、社員間の親睦を深めることは当然ですが、一流ホテルに泊まり、一流の食事を楽しむことで、一流の仕事とはどういうものかを社員に感じてもらうことも目的としています。

そして、河川の浄化活動や会社周辺の清掃の他、地域のお祭りにも積極的に参加する等、社会貢献活動にも注力しています。また、私が会長を務めるロータリークラブでは、廃校寸前まで荒すさんでいた高校を立ち直らせた、現役の先生を招いて、地域の方々を対象とした講演会を開催しました。

一番実現したいのは、リサイクル業界の社会的地位の向上です。この業界は、3K（きつい・汚い・危

▲吉川社長

▲鳥栖工場

▲長崎リソースファクトリー

▲本社

▲2年に1度の社員との海外旅行（北京）

▲見学風景（再利用されたアルミインゴット）

険)の代名詞でした。今では環境保護の考えが広まり、少しずつ温かい目を向けられるようになりました。社員自身が仕事にプライドを持ち、また家族に対して誇れるようになってほしいと願っています。

将来世代にかけがえのない地球を引き継ぐ為、今後も優秀な技能を持った社員を育成し、100%リサイクル社会を実現するべく、日夜努力を続けていく所存です。

▲左から田中課長、吉川常務、吉川社長、小幡頭取、山下支店長(親和銀行)

◎インタビューを終えて

本日は、自動車リサイクル工場での社員の方の細やかな手作業と、「ニブラ」と呼ばれる大型重機による自動車の解体作業を見学させて頂きました。そこでは、自動車のエンジンから内装のプラスチックに至るまで無駄なく再資源化されており、98%という高いリサイクル率には感嘆致しました。

佐賀県鳥栖市でも最先端の全天候型自動車リサイクル工場が稼動し、益々ご発展されることと思います。今後も、かけがえのない地球を後世に引き継ぐ為にリサイクル業界の先頭を走り、100%リサイクル社会を実現して頂けることを期待致します。

親和銀行
取締役頭取 小幡　修

## 6p-11p 株式会社 久原本家食品

久原本家食品 検索

■創　　業：1893年
■設　　立：1951年
■所 在 地：福岡県糟屋郡
■資 本 金：5,000万円
■従 業 員：550名(2013年6月期・グループ合計)
■事業内容：醤油・味噌・酢・加工調味料・辛子明太子等の製造販売、自然食レストラン「茅乃舎」の運営
■事業拠点：福岡県糟屋郡(本社・工場・レストラン・店舗)、福岡市東区(工場)
■関連会社：福岡県糟屋郡［株式会社 久原本家グループ本社、株式会社 久原本家
株式会社 久原醤油、農業生産法人 有限会社 美田］
■取 引 店：福岡銀行 箱崎支店　092-641-0331

## 12p-17p 有限会社 八代ドライビングスクール

八代ドライビングスクール 検索

■創　　業：1955年
■設　　立：1960年
■所 在 地：熊本県八代市
■資 本 金：1,500万円
■従 業 員：40名、
うち指導員・検定員24名(パート含む)
■事業内容：自動車学校
■事業拠点：熊本県八代市(本社、教習所)
■取 引 店：熊本銀行 八代支店　0965-32-2103

## 18p-23p 株式会社 吉川金属商事

吉川金属商事 検索

■創　　業：1950年
■設　　立：1979年
■所 在 地：長崎県諫早市
■資 本 金：1,500万円
■従 業 員：66名
■事業内容：自動車・非鉄金属リサイクル、自動車中古部品販売
■事業拠点：長崎県諫早市(本社)、長崎県大村市、佐賀県鳥栖市(工場)
■取 引 店：親和銀行 多良見支店　0957-43-1151

# 身近になった“海外”…
# お困りではないですか？

- ☑ 海外進出に興味はあるが、自社内にノウハウがない。
- ☑ 海外から部品を調達して仕入コストを安くしたい。
- ☑ 自社の商品、技術を東南アジアで販売したい。
- ☑ 海外で事務所を開設したいが、現地の不動産情報を知りたい。
- ☑ 海外進出を検討しているが、信頼できる現地のパートナーが欲しい。
- ☑ 現地の労働、雇用条件を知りたい。
- ☑ 社内の海外視察の際に現地でサポートして欲しい。
- ☑ 海外進出における自社のメリット・デメリットを検証したい。
- ☑ 海外子会社の現地での資金調達を検討したい。
- ☑ 海外留学をするので、学費の送金や、外貨両替をしたい。

## このようなことをお考えのあなた、
## 福岡銀行はグローバルに広がるお取引を
## ワンストップでサポートします。

まずは下記までお問い合わせください。　いいな　グローバル

**0120-17-9686**

（受付時間／9:00～17:45 但し、銀行休業日は除きます。）

ホームページも
ご活用ください！　福岡銀行　海外　検索　クリック

海外サポート窓口（専任者配置窓口）
にはこのプレートを掲示しています。

FFG Fukuoka Financial Group

THE BANK OF FUKUOKA, LTD.

平成24年8月27日現在

寄稿

# 稀代（きたい）の名参謀、最後の使命。父は子に何を残せるか

## 黒田（くろだ）官兵衛（かんべえ）

黒田官兵衛（くろだかんべえ）
天文十五年～慶長九年（一五四六～一六〇四）。戦国期の武将。実名孝高、号に如水。播磨の小領主の家臣の家に生まれる。豊臣秀吉に仕え、天下統一に尽力する。関ヶ原合戦時は隠居の身ながら、独自に九州地方を席巻。

黒田如水画像（大分県立歴史博物館蔵）

著　者

株式会社 ことほぎ
代表 **白駒 妃登美** 氏

埼玉県生まれ、福岡県在住。
慶應義塾大学卒業後、大手航空会社の国際線乗務員として7年半勤務。
結婚、出産、そして大病を経験し、命を紡ぐことの大切さを感じて、結婚コンサルタントとして活動を始める。2012年、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に向け広く発信する「株式会社ことほぎ」を設立。全国各地で開催される歴史講座は、「歴史が嫌いな人でも、歴史を好きになってしまう」と好評を博している。著書に『人生に悩んだら「日本史」に聞こう』（共著、祥伝社）がある。

## 時流を読む能力とその過信

「今こそ千載一遇のチャンス！」

京都の本能寺で織田信長が明智光秀に討たれたという報に接した時、驚きと悲しみで慟哭する豊臣秀吉の傍らで、側近の黒田官兵衛の直感は、冴えわたりました。織田方の諸将が、大将の信長を失い、窮地に陥ったと焦る中、官兵衛の目には、未来に向かって秀吉の運が大きく開けていくのが、はっきりと見えたはずです。

官兵衛が進言した通り、交戦中だった毛利氏と急ぎ和睦した秀吉は、「中国大返し」を実行します。備中国高松城（現在の岡山県岡山市）から山城国山崎（現在の京都府乙訓郡大山崎町）までの約二百キロメートルを、二万を超える大軍がわずか十日で踏破するという離れ業を演じ、見事主君の仇を討つと、やがて関白となり天下を統一し、栄華を極めていきました。官兵衛の時流を見る目の確かさは、その後の歴史が実証しているのです。

黒田官兵衛は、歴史上、秀吉の参謀として知られ、高松城水攻め、中国大返し、山崎の合戦、賤ケ岳の戦い、四国攻め、九州平定と、秀吉の天下獲りの陰には、常に官兵衛の戦略・戦術上の的確な助言があったといわれています。

しかし、官兵衛ははじめから秀吉や信長に仕えていたわけではなく、もともとは小寺氏の家老として、姫路城を守っていました。

小寺氏を含め、播磨（現在の兵庫県の一部）の小大名たちは、東に織田、西に毛利という二つの大勢力に挟まれ、難しい舵取りを迫られます。彼らのほとんどは、どちらにつくか決めかね、状況に流されて織田についたり毛利についたりして、旗幟を鮮明にできずにいましたが、早いうちから信長の才能を高く評価し、その将来性を見抜いた官兵衛は、主君の小寺政職に信長に臣従するようにアドバイス。

その後の歴史を見れば、官兵衛の読みが見事に的中したことがわかります。これ以降、信長の意を受けて秀吉の与力となった官兵衛は、地方の小大名の家老という埋もれた存在から、一躍、秀吉の天下獲りの名参謀として、歴史の表舞台に躍り出たのです。

時流を見る目が確かなだけでなく、外交や交渉術にも長け、その上、寡少な兵力で何度も大軍を破ったほどの戦上手。戦国武将としての官兵衛には、さしあたって欠点は見あたりません。

唯一の欠点を挙げるとすれば、自分の才能に絶対的な自信を持ち、自分の尺度で人を推し量ってしまうところでしょうか。若い頃、官兵衛

天正5年9月6日付織田信長朱印状（福岡市博物館蔵）
織田と結んだ黒田官兵衛に対し、中国攻め大将の羽柴（豊臣）秀吉に従うよう指示をしている。

天正5年7月23日付羽柴秀吉自筆書状（福岡市博物館蔵）
織田勢中国方面司令官当時の秀吉からの手紙。官兵衛を秀吉の実弟である秀長同様に信頼する旨が記され、親密な関係がうかがえる。

は、この欠点が災いして、危うく命を落としかけたことがあります。

織田家の重臣で摂津（現在の大阪府と兵庫県の一部）の支配を任されていた荒木村重が、信長に対して謀反を起こし、有岡城に籠城した時のこと。官兵衛の主君・小寺政職が、家老である官兵衛に何の相談もなく、村重に呼応してしまったことで、官兵衛は窮地に立たされます。

信長と政職の間で板挟みになった官兵衛は、村重を思いとどまらせるべく、単身、有岡城に乗り込みました。官兵衛の目には、謀反が到底成功するとは思えず、理を持って諭せば、村重を説得できると思ったのでしょう。自分には、村重を翻意させるだけの状況判断力と説得力があると、絶対の自信を持っていたのではないでしょうか。

けれども、人はみな、官兵衛と同じように的確な判断ができるわけではないのです。人の心を動かしているのは、理屈ではないということを、有岡城で官兵衛は思い知らされることとなります。

なんと村重は、官兵衛に会おうともせずに、城内の牢に幽閉してしまったのです。こうなっては、状況判断力や説得力といった官兵衛の類いまれなる才能も、宝の持ち腐れ。官兵衛は、最大の武器を封じられたまま、空しく時を過ごすほかありませんでした。

荒木方の籠城戦は、官兵衛を牢に閉じ込めたまま、その後一年近くも続きました。しかし、ついに有岡城が落城。その混乱にまぎれて城内に潜入した官兵衛の家臣が、衰弱しきった官兵衛を発見、助け出したのです。

一年近くもの間、日のあたらない狭い地下牢で、足を伸ばすこともできずに暮らした官兵衛。救出された時、彼は、肉が落ちて別人のように痩せ細り、皮膚病を患い、髪は半分以上も抜け落ちていました。さらに、足腰が立たない状態で、生きているのが不思議なほどでした。

官兵衛の肉体のダメージは深刻で、その後、体調は回復しても、片足は伸びないままで、いつも片足を引きずっていたそうです。

しかし、官兵衛の苦難はそれで終わりではありません。

官兵衛は、これほどまでにひどい目に遭わされても、信長に対して忠節を貫いたのですが、当の

信長は、村重説得に向かった官兵衛が戻ってこないので、官兵衛が自分を裏切り、荒木方に寝返ったと早々に判断しました。そして、人質としてあずかっていた官兵衛の一人息子・松寿丸を殺すように命じたのです。

官兵衛が変わり果てた姿で有岡城から救出された時、信長は、官兵衛の忠義の深さを知り、感激します。と同時に、早まって松寿丸を殺させてしまったことを悔みました。

ところが……松寿丸は生きていたのです。

「官兵衛にかぎって、裏切るわけがない」

と信じた男が、松寿丸を殺害したふりをして、匿っていたのです。

もし松寿丸の命を助けたことが信長に知られれば、信長の怒りに触れて、この男が殺されたかもしれません。命を懸けて松寿丸を守った、その男の名は、竹中半兵衛。秀吉の前半生における名参謀です。ともに秀吉の軍師として知られる二人は、互いの才能も人間性も知り尽くし、これほどの信頼関係で結ばれていたんですね。

半兵衛は、自分の一存で松寿丸を生かすことで、結果的に、信長の面目を保つとともに、黒田家のピンチも救ったのです。

すべてを知った官兵衛は、息子の命を守ってくれた半兵衛に、心から感謝しました。けれども、その感謝の言葉は、半兵衛に届くことはありませんでした。官兵衛が有岡城から戻る前に、半兵衛は病気で亡くなっていたからです。

## 失敗に学ぶ

この村重謀反の一件は、それまで己の才能に頼り、自制のきかなかった官兵衛に、さまざまな教訓をもたらしました。この事件をきっかけに、官兵衛は、人を認め、自己を抑制することができるようになり、その結果、功名心を手放すことができたのだと思います。そのような官兵衛だったから、その後、秀吉の名参謀として活躍できたのではないでしょうか。

それに、いつ死んでもおかしくないような過酷な状況が続く中で、官兵衛は、自分にとって家族がいかに大切かということを、実感したのではないかと思います。官兵衛は、この時代の武将にしては珍しく側室を持ちませんでしたが、この時の経験が少なからず影響を与えているのではないでしょうか。

ただ、官兵衛の場合、息子への愛情は、妻への愛のようにわかりやすいものではありませんでした。官兵衛には、教育者的な側面があるのでしょう、才能のある子どもや若者を愛し、わが息子だけをかわいがるといった素振りは見せませんでした。

有岡城から命からがら戻った時、息子の死を聞かされ、悲嘆にくれた官兵衛。その息子が実は生きていたことを知り、あれほど喜び、恩人である半兵衛や天に感謝したわけですから、官兵衛も、本心では、息子を心から愛していたのだと思います。

でも、父親の息子への愛情というのは、母性とは違い、多くの場合、ストレートには表現されません。とくに、豊臣政権下で大名となった官兵衛にとって、息子への愛情と「家」を守ることは、同じ意味を持っていたのではないでしょうか。つまり、生身の父親として息子に感じる愛情と、家を守っていく責任が、混然一体となっていた……。

父親は、息子を愛おしいと思いつつ、つい黒田家の跡取りとして、十分な資質が備わっているかをチェックしてしまう。才気煥発な官兵衛なだけに、自分と比較して、息子の至らないところが見

文禄2年8月9日付 黒田如水自筆覚書（福岡市博物館蔵）
息子長政に宛てた自筆の遺言状。当時官兵衛は朝鮮陣で受けた秀吉の勘気により賜死の可能性があり、有岡城幽閉に匹敵する生命の危機にあった。
そのような中、秀吉や豊臣秀次に忠誠を尽くせば、神に祈る必要はないと記している。

えすぎてしまう。すると、男同士、微妙な心理が働き、それが息子にも伝わる。

戦国の世のならいとはいえ、官兵衛は若い頃から戦陣に出続けていたので、父子が一緒に過ごす時間は想像以上に短かったでしょう。さらに、一城の主となるような武家の跡取りには、帝王学を身につけさせるために幼い頃から養育係がつけられ、親子といえども距離感がありました。そのことも、親子関係に影響を与えたのかもしれません。

松寿丸にとって、父・官兵衛は、甘える対象ではなく、憧れであり、誇りであり、同時に、越えなければいけない壁であり、しかし決して越えることのできない壁……そんな存在だったのではないでしょうか。

自らの才覚で、大名に上り詰めた官兵衛でしたが、名参謀として秀吉の天下獲りを支えたわりには、彼に与えられた所領は、十二万五千石（諸説あり。太閤検地後十七万石とも）というわずかなものでした。しかも、場所は、大坂から遠く離れた豊前（現在の大分県と福岡県の一部）。

この処遇は、秀吉が官兵衛を過小に評価していたからではありません。実際、秀吉は、誰よりも官兵衛の才覚と智謀を高く評価していたのです。評価していたからこそ、官兵衛を恐れたのです。彼に、その功績に見合った大きな所領を与えれば、天下人である自分の立場を脅かす存在になるでしょう。

その秀吉の心の機微を察した官兵衛は、天正十七（一五八九）年に隠居し、家督を嫡男・長政（松寿丸の元服後の名前）に譲りました。後に、官兵衛は自らを「如水」と称するようになりますが、この「如水」という名に、官兵衛の心情が表れているような気がします。「自分の心は澄んだ水の如し、一点のやましさもない」と、秀吉に言外に伝えたかったのではないでしょうか。

隠居後も、官兵衛は秀吉の側近として仕え続けました。天正十八（一五九〇）年、天下統一の最終局面・小田原攻めの折には、秀吉に請われ城主の北条父子の説得にあたり、小田原城開城に成功しています。

如水＝官兵衛が何よりもこだわったのは、地位でも財産でもなく、人生という最高の舞台で、自分の才能を思う存分発揮して自己表現することだったのでしょう。

## 相反したそれぞれの大活躍

彼の一人息子・長政は、父親のように、将としての天性の素質やカリスマ性に恵まれていたわけではありませんが、非常に堅実な性格で、立派な跡継ぎに成長していました。偉大な父親の影で悩み、苦しみ、家運の衰退を招いてしまう二代目が多い中で、長政は大名たちから一目置かれる存在で、その実力は大いに認められていました。

でも、おそらく当の長政は、ほかの誰からも認められなくていいから、たった一人の人に認めてほしい、褒めてほしいと思っていたのではないでしょうか。長政にとって唯一無二の存在、それが官兵衛だったのではないかと思うのです。長政は、松寿丸と呼ばれていた子どもの頃のように、ひたすら父に憧れ、父から認められたいと願っていた……。私にはそんなふうに思えて仕方がないのです。

秀吉が亡くなると、長政は、父親譲りの分析力を発揮し、徳川家康こそが次の天下人としてふさわしいと判断し、家康に接近します。

関ヶ原の戦いの折には、石田三成に敵意を抱く豊臣恩顧の大名たちを家康の元に結束させ、さ

黒田長政像（重要文化財 福岡市博物館蔵）

黒漆塗桃形大水牛脇立兜（重要文化財 福岡市博物館蔵）　撮影者：藤本健八

らに西軍の小早川秀秋の裏切り、毛利家重臣・吉川広家の内応を取りつけています。ここでも長政は、父親譲りの政治力、交渉力を発揮しました。そして、完璧なる根回しで、家康の天下獲りをお膳立てしたのです。

関ヶ原の戦いは、家康率いる東軍が勝利を収めました。よく〝天下分け目の関ヶ原〟といわれますが、関ヶ原の決戦自体は、わずか一日で勝敗が決しています。

なぜこれだけ短時日で決着がついたのか。理由はいろいろあるでしょうが、その最大の理由を一つ選ぶとしたら、私は迷わず長政の政治力を挙げたいと思います。家康もそのことをよく理解していたから、関ヶ原の戦いの後、筑前（現在の福岡県の一部）五十二万石の大大名へと、黒田家は大幅な加増を受けたのでしょう。

勝利を収め天下を手中にした家康は、長政の働きに心から感謝し、長政の手をとって厚く礼を述べたそうです。

「国許にいる父上も、きっと喜んでくれる」

長政は、父親に褒められる自分の姿を想像し、意気揚々と帰国したのではないでしょうか。そし

て、関ヶ原の戦いで自分がいかに活躍したか、そのことに家康がどれほど感謝してくれたかを、得意げに如水に報告したはずです。

「よくやった」

ただその一言を聞きたいという思いが、長政の原動力だったと思うのです。

ところが、長政の意に反して、如水は不機嫌でした。なぜなら、関ヶ原の戦いは、如水にとって千載一遇のチャンスであり、そのチャンスを逃すことになった最大の原因が、息子・長政の活躍にあったからです。

石田三成の挙兵を知ったとき、如水は自分の内にふつふつと情熱がわき上がってくるのを、抑えきれなかったのではないでしょうか。秀吉の天下獲りを支えた如水に、ついに自分のために才能を使うチャンスがめぐってきたのです。この時、如水五十五歳。おそらくこれが彼にとって、最後のチャンスとなるでしょう。

豊前・中津に隠居中の如水は、「関ヶ原で東西両軍が争う隙に九州全土を占拠し、東上して関ヶ原の勝者を倒す」という戦略を立てました。そして、家康についた長政と足並みを合わせるように、自らも家康につき、九州で挙兵する意思を示し、家康に認められました。といっても、黒田軍の主力は長政に率いられ、関ヶ原に出陣しているので、如水は長年蓄えた金銀を領民に与え、九千人ほどの速成軍を作ったのです。

言ってみれば、彼らは戦いの素人です。でも、そんな彼らを束ねるのは、人心を掌握することに長け、しかも戦では負けた記憶のない如水です。彼らは、如水マジックにかかり、連戦連勝、瞬く間に九州北部を制圧していきました。

数万に膨れ上がった軍勢で、このまま九州を席巻し、関ヶ原の勝者に決戦を挑もう……そんな彼の壮大な戦略は、突然崩れ去りました。関ヶ原の戦いが、たった一日で終わってしまったからです。

「関ヶ原の戦いが、あと数ヵ月続いていたら……」。たとえ自分がその後戦いに敗れ天下を獲れなかったとしても、天下を狙うという夢をみることはできた。そして、その天下を分ける大戦で、自分の才能と運を思う存分試すことができたのです。

その千載一遇のチャンスを潰したのが、皮肉にも息子だったとは……。武将としての器、才能という点では、自分の足元にも及ばない息子が、自分の夢を砕いたのです。歴史とは、なんとドラマティックなのでしょう。

天下を夢見た父と、家の安泰と発展を願った息子。初代と二代目の気質の違いが表れたのかもしれません。

## 最後までできること

如水の魅力は、これ以降、天下に対する未練をきっぱりと断ち切り、風雅な文化人として余生を送ったことです。そして関ヶ原の戦いから三年半が過ぎた慶長九（一六〇四）年春に、京都伏見藩邸で亡くなりました。数え年五十九歳でした。

これは、如水の晩年のエピソードです。

つねに人に対して寛容だった如水が、急に愚痴っぽくなり、人が変わったように短気になって、周りの者に対して怒りちらすようになったそうです。

困った家臣が、それとなく長政の耳に入れました。父の変貌ぶりを聞いた長政の胸中には、ふと寂しさがよぎったのではないでしょうか。武将として必要なあらゆる才能に恵まれ、人の心を見抜くことにも長けていた父。あれほど家臣の尊

敬を集めていた父が、このように家臣に疎まれるようになるなんて、年齢には勝てないということか……。

家臣をあまり困らせないように、父をたしなめるために会いに来た長政。その息子に、如水は一喝しました。

「お前のためにやっているということが、なぜわからぬ!?」

長政があっと思い、父を見上げると、そこには、戦国史の一ページを彩った往年の軍師の顔はなく、父親としての慈愛に満ちた表情がありました。

有岡城で危うく命を落としかけたことが、如水の人生にとって最大の危機でしたが、実は、それに勝るとも劣らないような深刻な危機が、如水を再び襲おうとしていたのです。その危機とは、やがて訪れるであろう、自身の死、そしてその後の黒田家の存亡です。

黒田家の家臣たちは、表面上は息子の長政に従っていましたが、家臣たちが本当に尊敬しているのは、自分であることを、如水は知っていたのです。その自分が死んでしまったら、老臣たちは、二代目の長政を侮り、長政では家臣団を抑えることができなくなるのではないか。あるいは、自分の後を追って、優秀な家臣たちが殉死しないとも限らない。そうなれば、黒田家は最大の危機を迎える……。

近い将来、必ずやってくるその危機に対して、布石を打つことが、如水に課された最後の使命でした。如水は、その使命を果たすために、心を鬼にして、家臣たちにつらくあたっていたのです。

自分に向けられる父の眼差しを見て、長政はすべてを悟りました。如水の家臣に対する心ない振る舞いは、乱心したわけではなく、年をとって耄碌したからでもなく、自分の死後、長政が家中を治めやすくなるように、わざとしているのだということを。

自分が嫌われれば、相対的に家臣の長政に対する評価が上がるので、老臣たちも長政を心から慕い、支えるようになるだろう。同時に、自分が嫌われることが、家臣の殉死を防ぐことにもなるだろう。そう考えた上で、如水なりに最善の策を講じたのだということを。

この時の如水の決断は、秀吉に授けたどの策よりも、また関ヶ原の戦いの折に天下を狙って立てた不敵な戦略よりも、如水らしく輝いているように、私には思えます。息子を思う深い愛情の中に、策士としての才能がきらりと光っているところが、いかにも如水らしいのです。

愛する息子のために、自らが悪者になることを選ぶ……そんな危機の乗り越え方もあるんですね。

牡丹芍薬公園（舞鶴公園内の黒田如水住居跡の周辺は公園として整備されている）

潮見櫓（福岡城の城跡の大半は舞鶴公園となっている）

如水の策は見事にあたり、彼が心から愛した息子・長政は、如水の死後も、五十二万石の黒田家を立派に切り盛りしていきます。

それにしても、こんなにも父親から愛されていたことを知って、長政はどんなにか幸せだったことでしょう。殺されたと思った松寿丸が、生きていたと知った時、息子の無事を心から喜び、恩人に感謝した官兵衛。松寿丸が大人になって長政となっても、父の息子への愛情はあの時のままだったのです。

武将としての才能を認めてくれなかった父。でもその父が、本当は無条件で自分を愛してくれていた……。その愛を感じることができた時、長政がそうであったように、子どもは自分の足で自分の人生を歩みはじめるのかもしれません。

【無断転載禁止】

**出 典**

『感動する！日本史』

著者：
白駒妃登美
中経出版

地域と
共生する
FFG

# 福岡を創った男
# 黒田官兵衛

「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会

黒田如水像（19世紀、福岡市博物館蔵）

# 黒田二十四騎像

黒田官兵衛には「黒田二十四騎」と謳われた勇猛な武将達が仕えていました。

小河伝右衛門信章

久野四兵衛重勝

黒田修理助利則

黒田兵庫助利高

栗山備後利安

後藤隠岐基次

益田与助正親

桐山丹波丹斉

黒田美作一成

母里（毛利）但馬友信

黒田図書助直之

井上周防之房

野村太郎兵衛祐勝

吉田壱岐長利

菅和泉正利

村田出羽吉次

堀平右衛門定則

原伊豫種良

三宅若狭家義

野口佐助一成

竹森石見次貞

林掃部直利

衣笠因幡景延

毛屋武蔵武久

黒田二十四騎像は、FFG本社ビル受付横に展示されています。

**1 名島城跡**(提供:福岡市)

福岡市東区名島1-26
西鉄バス「名島」徒歩15分

**2 福岡藩主黒田家墓所**(提供:福岡市)

福岡市博多区千代4-7-79(崇福寺内)
福岡市地下鉄「千代県庁口駅」徒歩5分

**2 崇福寺**(提供:福岡市)

福岡市博多区千代4-7-79
福岡市地下鉄「千代県庁口駅」徒歩5分

**3 福岡城**(提供:福岡市)

福岡市中央区城内
福岡市地下鉄「赤坂駅」徒歩8分

**4 舞鶴公園**(提供:福岡市)

福岡市中央区城内
福岡市地下鉄「赤坂駅」徒歩8分

**5 大濠公園**(提供:福岡市)

福岡市中央区大濠公園
福岡市地下鉄「大濠公園駅」徒歩すぐ

**6 福岡市博物館**(提供:福岡市)

福岡市早良区百道浜3-1-1
福岡市地下鉄「西新駅」徒歩15分

# 「福岡県内」の黒田官兵衛ゆかりの地

**7 馬ヶ岳城跡**(提供:行橋市教育委員会)

福岡県行橋市大字津積字馬ヶ岳
JR「行橋駅」から車で15分

**8 法然寺**(提供:築上町)

福岡県築上郡築上町東八田922-3
JR「築城駅」徒歩10分

**9 城井ノ上城址**(提供:築上町)

福岡県築上郡築上町寒田
JR「築城駅」から牧の原キャンプ場まで車で40分
駐車場から徒歩10分

**10 桜狩の歌**(提供:豊前市)

福岡県豊前市大字鳥井畑247(求菩提資料館)
豊前市バス「求菩提資料館」徒歩すぐ

**11 西光寺**(提供:飯塚市)

福岡県飯塚市馬敷283
JR「桂川駅」から車で15分

**12 冷水峠**(提供:飯塚市)

福岡県飯塚市内野～筑紫野市山家
JR「筑前内野駅」から車で10分

**13 如水の井戸**(提供:太宰府市)

福岡県太宰府市宰府4-7-1
(太宰府天満宮内)
西鉄「太宰府駅」徒歩5分

**14 麟翁寺**(提供:嘉麻市)

福岡県嘉麻市大隈町1023
西鉄バス筑豊「嘉穂支所」徒歩2分
または、JR「桂川駅」から車で15分

**15 円清寺**(提供:朝倉市)

福岡県朝倉市杷木志波5276
JR「筑後吉井駅」から車で20分

「博多どんたく港まつり(5月3日開催)」でのパレードの様子(黒田官兵衛どんたく隊)
黒田官兵衛に扮する黒田家16代当主黒田長高公を先頭に、甲冑を着た武将隊や法被を着た官兵衛どんたく隊がどんたく広場を練り歩きました。

## はじめに

2014年のNHK大河ドラマは、「軍師官兵衛」に決定しました。主人公の黒田官兵衛(孝高)は1546年播磨国(兵庫県姫路市)に生まれ、天下人の織田信長、豊臣秀吉に戦の参謀「軍師」としての才能を見出され、備中高松城の水攻めをはじめ、中国、四国、九州の平定で重要な役割を担いました。

福岡県は、福岡市をはじめとする黒田官兵衛・黒田藩にゆかりのある市町や民間団体等と「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会を今年4月に設立しました。NHK大河ドラマを契機として県内各地にある史跡・史料を全国に発信し、多くの観光客の方に黒田官兵衛ゆかりの地・福岡を訪れ、史跡めぐりを楽しんで頂けるように取り組んでいます。

今回は、福岡県内にある官兵衛ゆかりの地をご紹介します。

馬ヶ岳城跡（提供:行橋市教育委員会）

## 黒田官兵衛の居城「馬ヶ岳城」

九州平定の戦功として、黒田官兵衛は秀吉から豊前国（大分県及び福岡県の一部）のうち京都・築城・仲津・上毛・下毛・宇佐の6郡を与えられます。黒田家の文書である「黒田家譜」によれば、官兵衛は天正15年（1587年）、豊前国京都郡の馬ヶ岳城（行橋市大谷・みやこ町犀川）に入城しています。

馬ヶ岳城は、天慶5年（942年）、源経基により築城されたと伝えられ、神馬の姿に似ていることから馬ヶ岳と呼ばれています。秀吉は、九州征伐の過程で島津氏を討つため、遠征軍を自ら率い、豊前小倉城（北九州市）を経て、馬ヶ岳城に滞在したという記録があります。

官兵衛は、翌年（1588年）、中津城（大分県中津市）に移りました。黒田官兵衛は中津城主として知られていますが、九州最初の居城は、実は馬ヶ岳城でした。

法然寺（提供:築上町）

城井ノ上城址（提供:築上町）

## 官兵衛の宿敵・宇都宮氏との戦い

秀吉の九州攻めが本格化する前の露払いとして、天正14年（1586年）、官兵衛は毛利・吉川・小早川の軍勢とともに九州に上陸しました。その際、城井城（築上町寒田）の城主・宇都宮鎮房は特に抵抗することもなく、翌年の秀吉の九州攻めの時には、秀吉軍の一員として鎮房の子・朝房が香春岳城攻めに加わりました。

ところが、宇都宮氏の所領・城井谷は、秀吉により官兵衛に与えられ、宇都宮鎮房は伊予国（愛媛県）への転封を命じられます。400年にわたり支配し続けた土地からの移転を命じられた宇都宮一族と秀吉・官兵衛との対立が始まります。鎮房は官兵衛が肥後国（熊本県）の一揆鎮圧のため豊前を離れた隙に、城井谷を奪還します。このときから、官兵衛・長政と宇都宮鎮房・朝房との城井谷をめぐる攻防が始まります。

官兵衛が宇都宮氏攻めのため陣を張った法然寺（築上町東八田）・長政が同じく本陣とした広津城（吉富町広津）、三丁の弓があれば守れるといわれる要害の場所・城井ノ上城址（築上町寒田）など史跡が多数あります。

## 如水（官兵衛）桜狩の歌

現在、桜の花見が日本の風物詩として定着していますが、秀吉が広めたものとされています。官兵衛と従者が求菩提山（豊前市）で桜狩（桜の花見）を楽しんだときに詠んだ短冊が13首残っ

桜狩の歌：右から円清・之次・無記名・焉也・太郎助（提供:豊前市）

名島城跡(提供:福岡市)

ており、九州最古の桜の花見は、秀吉の側近・官兵衛が中津城主時代に行ったのではないかとの説があります。これらの史料は、求菩提資料館(豊前市鳥井畑)に展示されています。

## 福岡藩祖・黒田如水(官兵衛)

官兵衛と博多との繋がりは、秀吉の命による太閤町割に遡ります。戦乱で疲弊した博多の町の復興を考えた秀吉は、官兵衛に博多の復興プランの策定を命じました。官兵衛は家臣・久野四兵衛に指示して天正15年(1587年)末頃、呉服町・小山町を機軸にした街区割りができあがったといわれています。

その後、中津城主となった官兵衛は、天正17年(1589年)、44歳で家督を長政に譲り、如水と名を改めました。

長政が関が原の戦いでの論功を徳川家康に認められ、筑前国52万石を与えられたことにより如水と福岡(博多)との関わりが再開します。如水と長政はまず、慶長5年(1600年)、小早川隆景が築城した名島城(福岡市東区名島)に入

上段左：福岡城跡、右：舞鶴公園、下段：大濠公園（提供:福岡市）

りました。その後、九州一の商業都市に発展していた博多の町を城下町に取り込むことを考え、当時の福崎（福岡市城内）という場所に福岡城築城を行うことにしました。如水の曾祖父・高政が黒田家発展の礎を築いた備前・福岡村（現在の岡山県瀬戸内市長船町福岡）にちなんで、新たな城と城下町を築くに際して、この福崎という地名を福岡に改称しました。これが「福岡」の地名の始まりです。

築城に際して、良材を求めるため如水は筑豊地域を訪れています。飯塚市にある西光寺（飯塚市馬敷）には度々宿泊しており、寺には如水直筆の「如水圓清」という法号や如水が徳川家から拝領した火鉢など如水ゆかりの品が保管されています。

また、如水発案で長政のときに、冷水峠越えの長崎街道が開設されました。いまでも当時の石畳がそのまま残っています。小倉から長崎を結ぶ長崎街道は江戸時代、参勤交代で利用され、福岡藩内の長崎街道沿いには、筑前六宿という宿場町が形成され、賑わいました。内野宿（飯塚市）、木屋瀬宿（北九州市）などでは当時の建物が残っています。

西光寺（提供:飯塚市）

冷水峠（提供:飯塚市）

如水の井戸（提供:太宰府市）

## 太宰府天満宮と如水（官兵衛）

如水（官兵衛）は、福岡城内の居館が完成するまでの間、太宰府で隠棲しました。如水が隠棲していた際に茶の湯で使っていた井戸（如水の井戸）や如水を祀った如水社が太宰府天満宮内にあります。如水が奉納した「夢想之連歌」、太宰府天満宮の楼門等の修理のため如水の寄進や長政の寄付を報じた書状「黒田如水書状」などの史料も太宰府天満宮に保管されています。

## 黒田官兵衛の精鋭部隊・黒田二十四騎

黒田官兵衛・長政には、黒田二十四騎と呼ばれる24人の精鋭家臣がいました。これらの家臣にまつわる史跡も県内各地にあります。

黒田節のモデルとなり、名槍「日本号」を福島正則から呑み獲った逸話をもつ母里太兵衛友信は豊前国との国境を守るために設けられた出城の鷹取山城（直方市および福智町）、益富城（嘉麻市）の城主となり、その墓は菩提寺・麟翁寺（嘉

円清寺（提供:朝倉市）

麟翁寺（提供:嘉麻市）

中央に座る黒田如水墓石（提供:福岡市）

麻市大隈）にあります。母里太兵衛友信が城主となった益富城の搦手門は麟翁寺に移築されており、寺の宝として母里太兵衛友信の甲冑や肖像が残っています。

同じく黒田二十四騎の一人で、麻氏良城城主だった黒田藩家老・栗山備後利安は主君・如水の菩提を弔うため円清寺（朝倉市杷木志波）を建立しました。寺には黒田如水や長政の肖像画などが残っています。

## 黒田如水の晩年と黒田家ゆかりの品

如水は築城の名手として、息子長政とともに福岡城の「縄張り」（城の門、堀、虎口、曲輪等の配置を指す）を作り、晩年は城内三の丸に設けられた御鷹屋敷で、妻幸円とともに静かに暮らしました。

慶長9年（1604年）3月20日、如水は京都伏見の藩邸で亡くなり、崇福寺（福岡市博多区千代）に葬られました。現在、黒田家の菩提寺である崇福寺では毎年3月20日に如水の法要が営

軍師官兵衛をテーマとする飾り山笠（八番山笠 上川端通流）
今年の山笠では、黒田官兵衛や黒田武士をテーマとする飾り山、舁(か)き山が9ヵ所で展示され、地元・福岡でも盛り上がりました。

福岡市博物館（提供:福岡市）

崇福寺山門（提供:福岡市）

まれています。

織田信長から拝領した名刀「へし切長谷部」、豊臣秀吉自筆の官兵衛宛書状、母里太兵衛友信が呑み獲った名槍「日本号」など黒田如水や黒田家ゆかりの品々は現在福岡市博物館（福岡市早良区百道浜）に展示されています。

## おわりに

この他にも福岡には、黒田官兵衛並びに黒田藩に関する史跡・史料が多数存在しますが、紙面の都合上、その一部をご紹介しました。これから協議会の活動を通じて、1つでも多くの史跡・史料を紹介し、大河ドラマ「軍師官兵衛」を契機とした観光振興に努めてまいります。ぜひ黒田官兵衛（如水）ゆかりの地・福岡にお越しください。

参考文献：「黒田如水 臣下百姓の罰恐るべし」
（ミネルヴァ日本評伝選）
小和田 哲男 著

博多駅前の黒田節像・・・民謡『黒田節』で謡われるエピソードは、母里太兵衛を題材にしたもの。
福島正則から「飲み干せば何でも褒美を取らす」と酒を大盃に注がれ、見事に何杯も飲み干した母里太兵衛が、正則秘蔵の名槍“日本号”を呑み獲ったという逸話。

# DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

## 今月の注目データ

今月は「夏の甲子園の成績」と「Ｊリーグ（九州）」です。

夏の甲子園の成績　検索

Ｊリーグ（九州）　検索

## 夏の甲子園の成績

今年も「夏の甲子園」（第95回全国高校野球選手権大会）が始まります。

気になる九州勢の活躍ですが（下図）、過去７回の優勝を果たしています（福岡県４回、佐賀県2回、大分県1回）。最近では、2007年に“がばい旋風”で一世を風靡（ふうび）した佐賀北高校の逆転優勝が鮮明な記憶として蘇ります。

地域別の優勝回数を調べてみると、近畿（32回）、関東（20回）に続き、中部（11回）、四国（11回）の順で多いことが分かります。

ただし、ここ10年では、過去に優勝がなかった北海道・沖縄勢が優勝するなど、まさに群雄割拠の様相を呈しています。

今年の夏も九州勢の活躍に期待が集まります。

### 夏の甲子園の成績

| 開催年 | 大会 | 優勝 | | 準優勝 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1934年 | 20回 | 呉港中 | （広島県） | 熊本工 | （熊本県） |
| 1937年 | 23回 | 中京商 | （愛知県） | 熊本工 | （熊本県） |
| 1947年 | 29回 | 小倉中 | （福岡県） | 岐阜商 | （岐阜県） |
| 1948年 | 30回 | 小倉 | （福岡県） | 桐蔭 | （和歌山県） |
| 1962年 | 44回 | 作新学院 | （栃木県） | 久留米商 | （福岡県） |
| 1965年 | 47回 | 三池工 | （福岡県） | 銚子商 | （千葉県） |
| 1972年 | 54回 | 津久見 | （大分県） | 柳井 | （山口県） |
| 1988年 | 70回 | 広島商 | （広島県） | 福岡第一 | （福岡県） |
| 1992年 | 74回 | 西日本短大付 | （福岡県） | 拓大紅陵 | （千葉県） |
| 1994年 | 76回 | 佐賀商 | （佐賀県） | 樟南 | （鹿児島県） |
| 1996年 | 78回 | 松山商 | （愛媛県） | 熊本工 | （熊本県） |
| 2007年 | 89回 | 佐賀北 | （佐賀県） | 広陵 | （広島県） |

| 地方別優勝回数 | |
|---|---|
| 近畿 | 32回 |
| 関東 | 20回 |
| 中部 | 11回 |
| 四国 | 11回 |
| 中国 | 8回 |
| 九州 | 7回 |
| 福岡 | 4回 |
| 佐賀 | 2回 |
| 大分 | 1回 |
| 北海道 | 2回 |
| 沖縄 | 1回 |
| 東北 | 0回 |

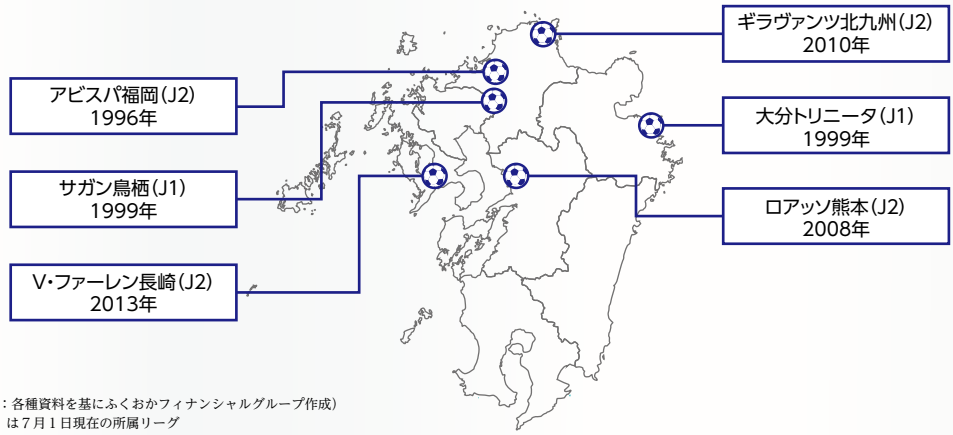
（出所：公益財団法人日本高等学校野球連盟ホームページを基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

## 九州のJリーグ所属チーム

今年６月、サッカーの日本代表が、2014年に開催されるブラジルワールドカップへの出場を決め、日本中が盛り上がりを見せました。1993年に発足した国内のプロサッカーリーグ（Ｊリーグ）に目を向けると、開幕３年後にアビスパ福岡が九州で初めてJリーグに加盟し、現在では６チームとなっています（Ｊリーグに所属するプロサッカーチームは全部で40チーム）。

過去、九州のチームによる優勝はなく（J１リーグ）、大分トリニータの４位（2008年）が最高位となっています。地元が一丸となった盛り上がりと、今後の躍進が期待されます。

### 九州のJリーグ所属チーム




（出所：各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）
※（）は７月１日現在の所属リーグ
　チーム名の下の年数はＪリーグへの加盟年度

# 福岡県の最近の経済動向

## 福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動は、輸送機械、一般機械の増産により、緩やかな持ち直し動きが見られます。住宅建設は、消費税増税を意識した着工により4ヵ月連続で前年を上回りました。大型小売店販売額も主力の飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。

福岡県の景気は、好調な住宅建設や公共工事に加えて、生産も増加する等、回復の動きが広がりを見せており、持ち直しの動きが続いています。

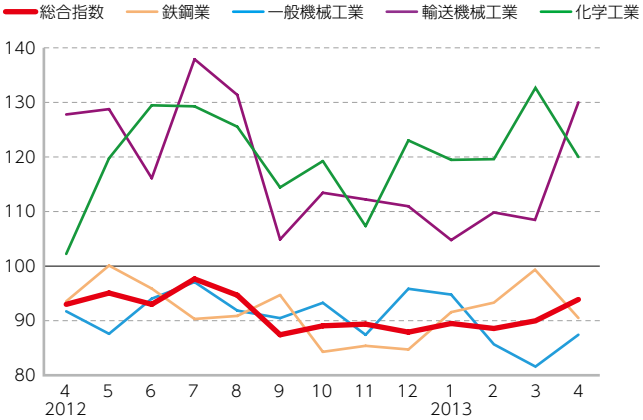
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は94.1と前月比5.3%上昇しました。

主要業種では、普通自動車等の生産が増加した輸送機械や、半導体製造装置等が増産となった一般機械が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100）　出所 福岡県

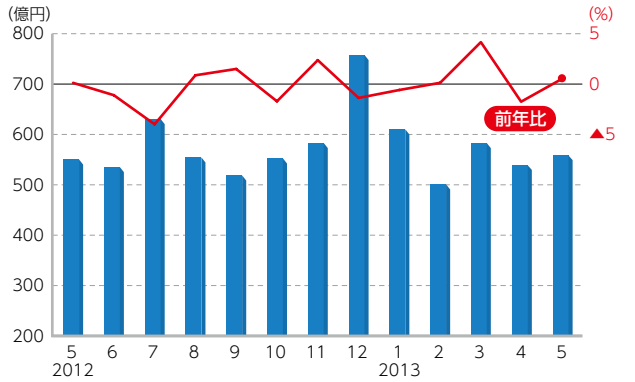



## 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%増の554億円となりました。

衣料品は春物・初夏物の売上が伸び悩んだものの、主力の飲食料品が前年を上回っており、消費は総じて堅調に推移しています。

■福岡県の大型小売店販売額　出所 九州経済産業局

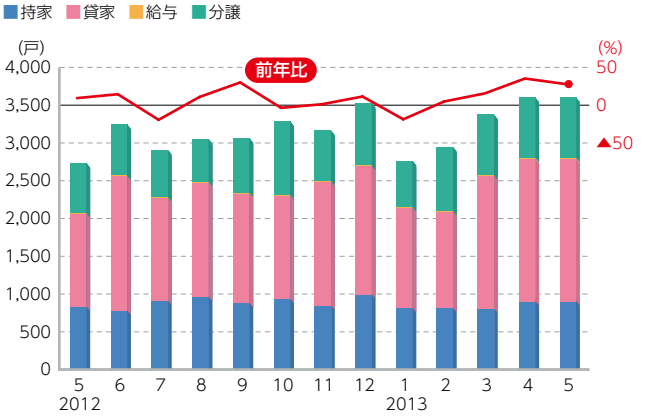


## 3.住宅建設 | 好調に推移している

5月の新設住宅着工戸数は、3,526戸と前年同月比29.3%増加し、4ヵ月連続で前年を上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により全ての項目で前年を上回り、好調に推移しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

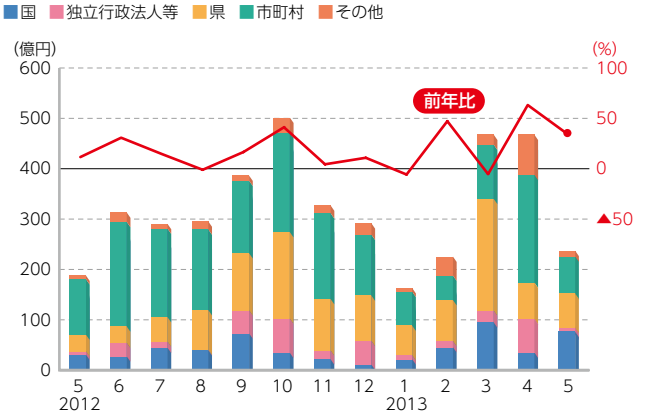



## 4.公共工事 | 好調に推移している

5月の公共工事保証請負状況は、件数は545件で前年同月比22.5%増加し、金額は260億円で前年同月比38.1%増加しました。

発注者別では、高速道路関連の大型案件があった「独立行政法人等」や、ダム関連工事があった「県」が前年から増加する等、好調に推移しています。

■福岡県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証




## 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前月を下回る

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比47.6%増の31件、負債総額が同98.0%増の約42億円となりました。

衣料品輸入販売業で20億円の大型倒産があったものの、負債総額、倒産件数ともに前月を下回りました。

■福岡県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ

# 熊本県の最近の経済動向

## 熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動は、集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

住宅建設は好調を維持している他、大型小売店販売額も主力の衣料品・飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。公共工事は、大型案件の発注があり前年を大幅に上回りました。

熊本県の景気は、好調な住宅建設や公共工事に加えて、生産も増加する等、持ち直しの動きが続いています。

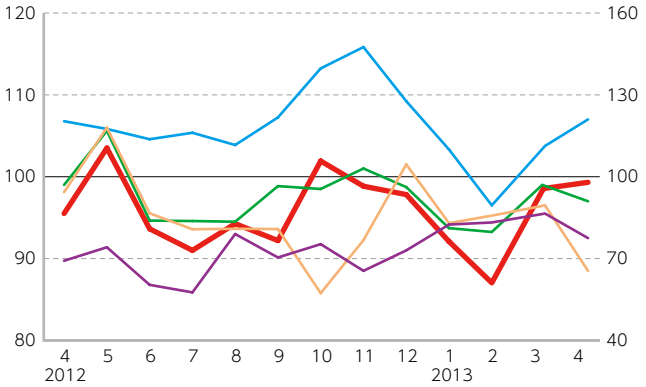
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は前月比0.3%上昇の98.2となり、2ヵ月連続で前月を上回りました。

主要業種では、スマートフォン向けの半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100）　出所 熊本県

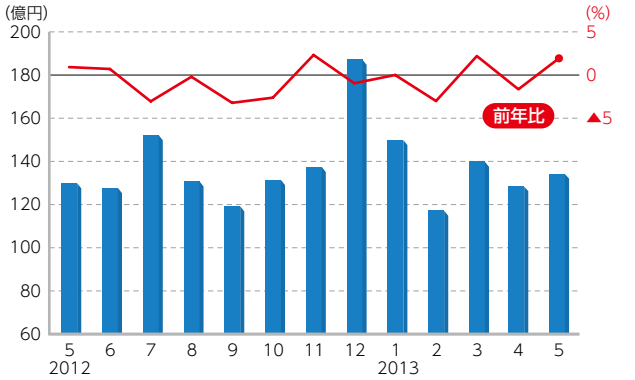



## 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比1.9%増の132億円となりました。

主力の衣料品・飲食料品ともに前年を上回っており、消費は総じて堅調に推移しています。

■熊本県の大型小売店販売額　出所 九州経済産業局



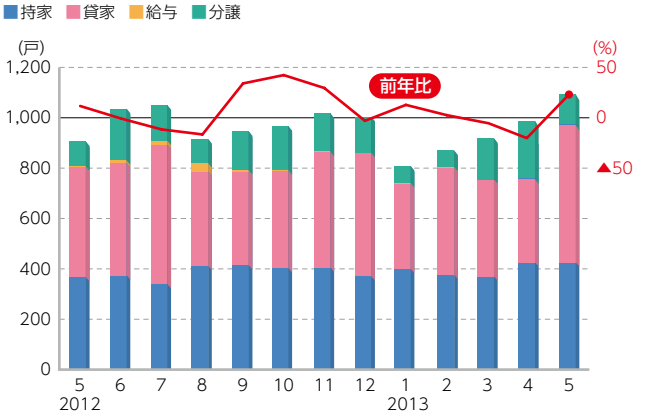
Kumamoto

## 3.住宅建設 | 好調を維持している

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比20.1％増の1,087戸となりました。

「貸家」「持家」「分譲」が増加する等、消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しており、前月比では4ヵ月連続で増加しました。

■熊本県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

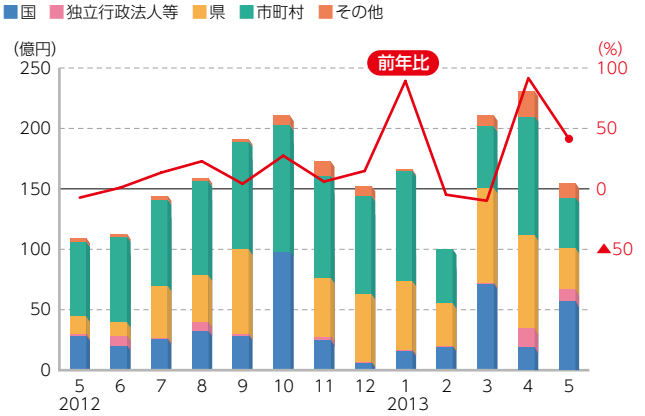



## 4.公共工事 | 好調に推移している

5月の公共工事保証請負状況は、件数は325件で前年同月比52.6％増加し、金額は155億円で同41.5％増加しました。

発注者別では、トンネル新設工事等の大型案件のあった「国」が大幅に前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証




## 5.企業倒産 | 負債総額は低水準で推移

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0％減の5件、負債総額が同81.9％減の約2億円となりました。

1億円以上の倒産は無く、負債総額は5ヶ月連続で低下しています。

■熊本県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ

# 長崎県の最近の経済動向

## 長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動は、集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

大型小売店販売額は、昨年末からの大型スーパーの開業効果もあり、堅調に推移しています。住宅建設、及び、公共工事は、前年を上回りました。

長崎県の景気は、生産に持ち直しの動きが見られる他、住宅建設や公共工事が好調に推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

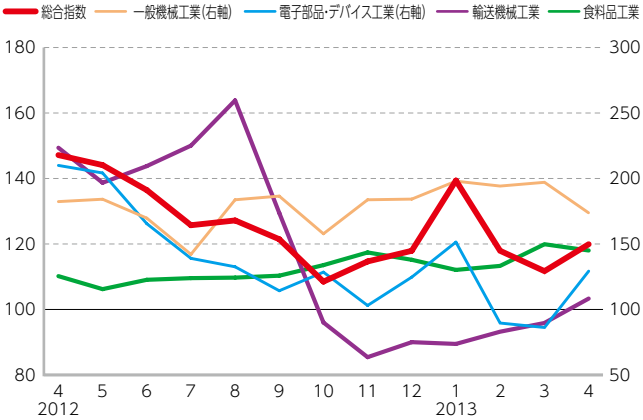
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は120.1と前月比9.2%上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇した他、新造船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100）　出所 長崎県

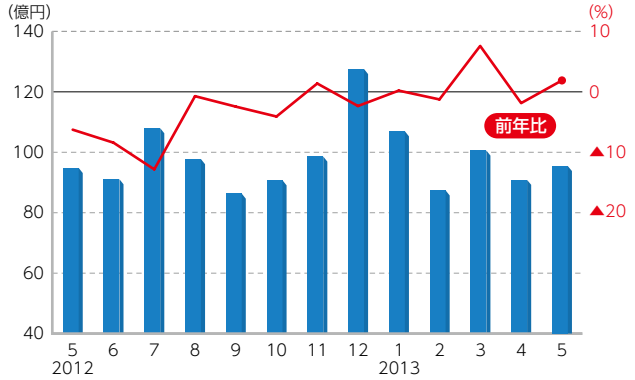



## 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%増の96億円となりました。

衣料品は伸び悩んだものの、昨年末から大型スーパーが相次いで開店した効果の継続により、主力の飲食料品が前年を上回る等、消費は総じて堅調に推移しています。

■長崎県の大型小売店販売額　出所 九州経済産業局



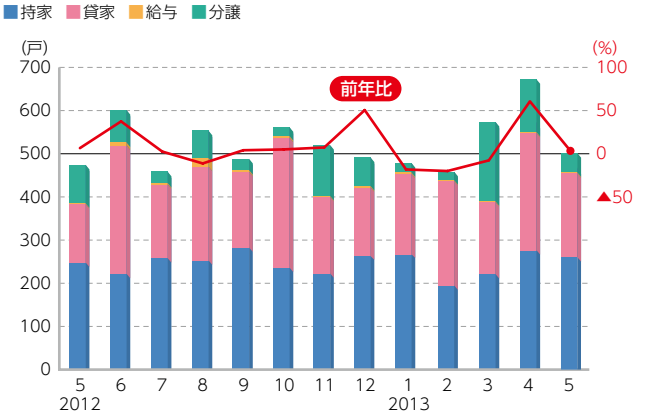
Nagasaki

## 3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

5月の新設住宅着工戸数は、498戸と前年同月比5.1%増加しました。

「持家」「分譲」が前年から減少したものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により「貸家」が大幅に前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

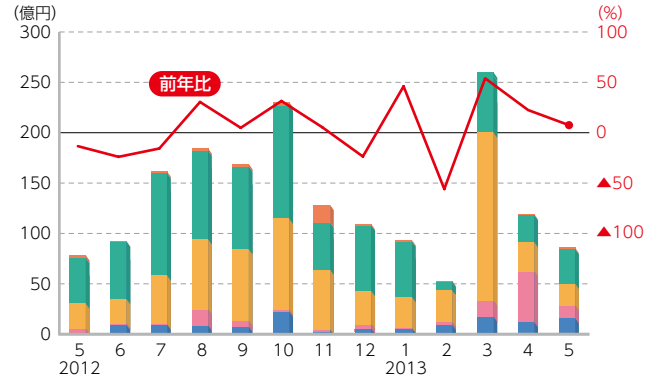



## 4.公共工事 ｜ 好調に推移している

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比22.1%増の182件、金額は同15.3%増の90億円となりました。

発注者別では、大学病院関連工事の発注があった「独立行政法人等」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

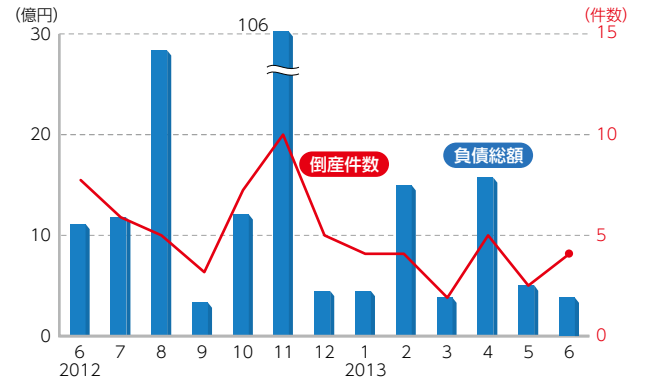



## 5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準で推移

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0%減の4件、負債総額が同67.6%減の約4億円となりました。

塗料販売業で約3億円の倒産があったものの、負債総額、件数ともに概ね低水準で推移しています。

■長崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



# 佐賀県の最近の経済動向

## 佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、シリコンウェハーが減産となった電子部品・デバイスが低下する等、一部に弱さが見られます。

住宅建設は、好調に推移しています。大型小売店販売額は、主力の飲食料品が前年を上回る等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

佐賀県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

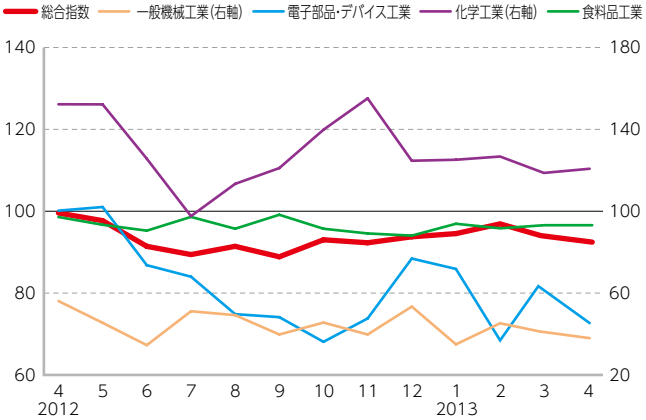
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は91.3と前月比1.5%低下しました。

主要業種では、シリコンウェハーが減産となった電子部品・デバイスが低下した他、金属工作機械の生産が減少した一般機械が低下する等、生産は一部に弱さが見られます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100）　出所 佐賀県

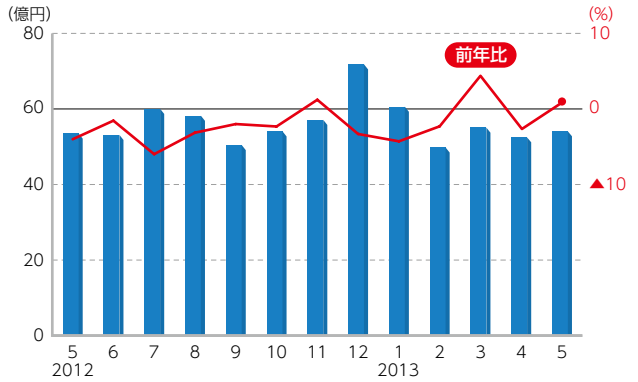



## 2.大型小売店 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%増の54億円となりました。

衣料品は前年を下回ったものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、消費は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の大型小売店販売額　出所 九州経済産業局

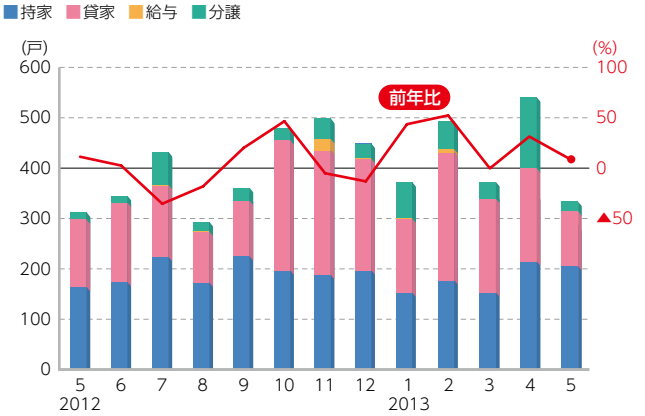


## 3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

5月の新設住宅着工戸数は、339戸と前年同月比8.7%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「分譲(戸建)」が増加する等、好調に推移しています。全体では5ヵ月連続で前年を上回っています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

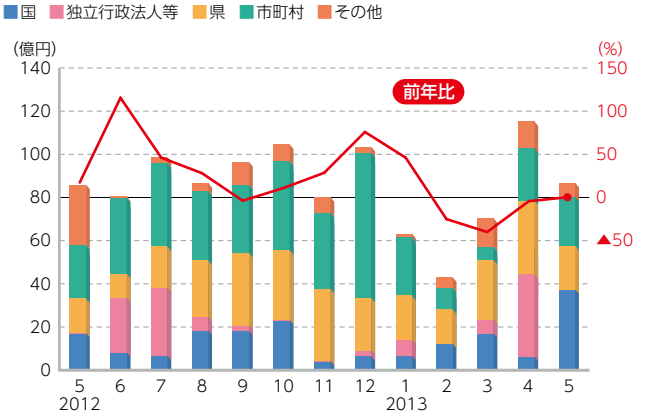



## 4.公共工事 ｜ 緩やかな持ち直しの動きが見られる

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比47.4%増の202件、金額は同2.0%増の88億円となりました。

発注者別では、国道関連工事等の発注があった「国」が前年を大きく上回る等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

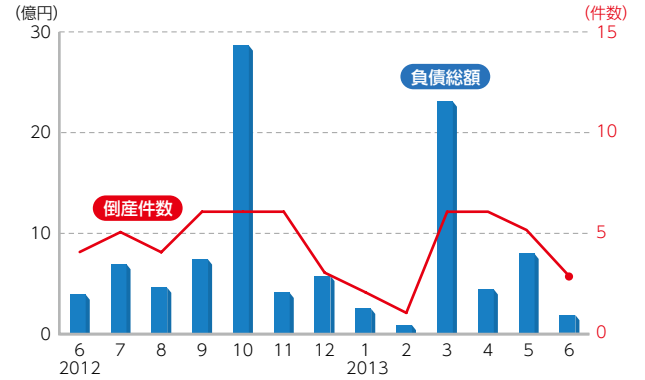



## 5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準で推移

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額が同52.4%減の約2億円となりました。

金型製造業で1億円以上の倒産があったものの、負債総額、件数ともに低水準で推移しています。

■佐賀県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



# 大分県の最近の経済動向

## 大分県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動は、電子部品・デバイスが増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

住宅建設や、公共工事は前年を大幅に上回りました。

大分県の景気は、消費に弱さが見られますが、生産に緩やかな持ち直しの動きが見られる他、住宅建設、公共工事が好調となる等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

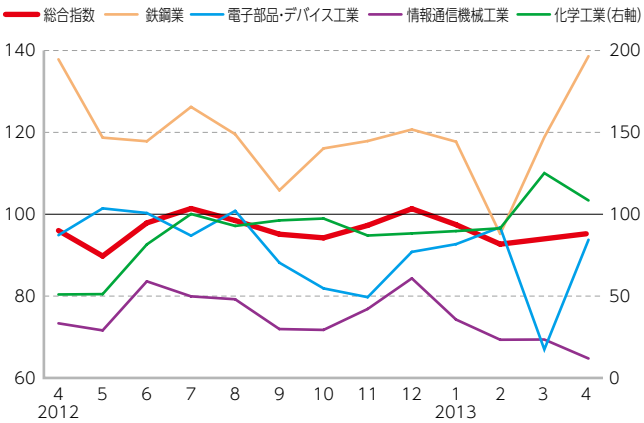
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は前月比2.4%上昇の95.1となり、2ヵ月連続で前月を上回りました。

主要業種では、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100） 出所 大分県

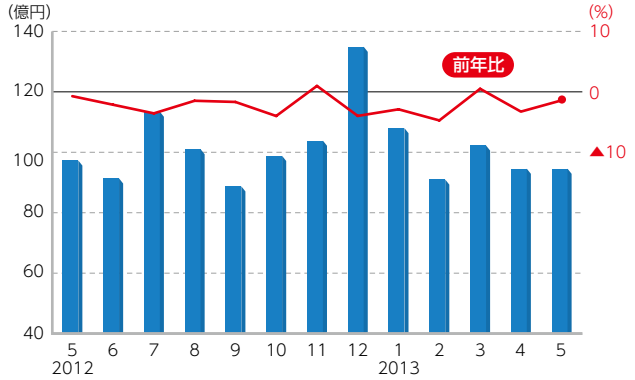



## 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比2.2%減の95億円となりました。

飲食料品は前年並みとなったものの、衣料品が伸び悩む等、消費は弱含みで推移しています。

■大分県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局

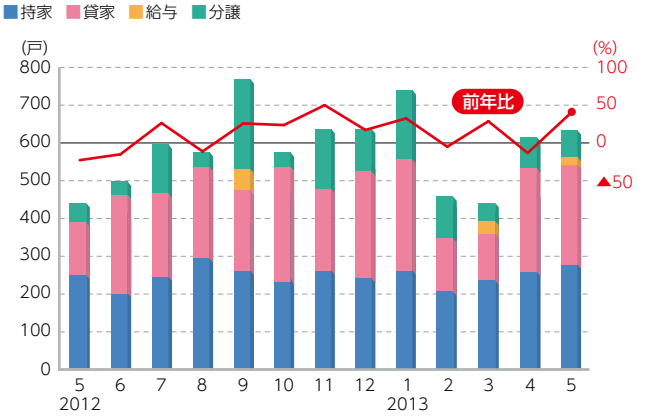


## 3.住宅建設 ｜ 好調を維持している

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比42.2%増の623戸となりました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、全ての項目で前年を上回る等、好調に推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

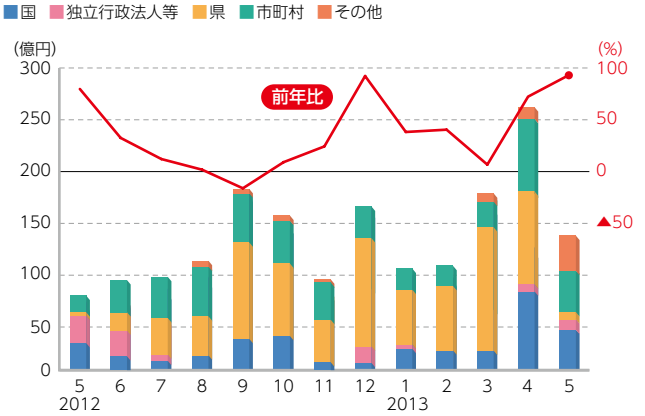



## 4.公共工事 ｜ 好調に推移している

5月の公共工事保証請負状況は、件数は335件で前年同月比216.0%増加し、金額は136億円で同91.5%増加しました。

発注者別では、東九州道関連工事（トンネル新設等）の大型案件があった「国」をはじめ、病院新築工事等があった「その他」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■大分県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

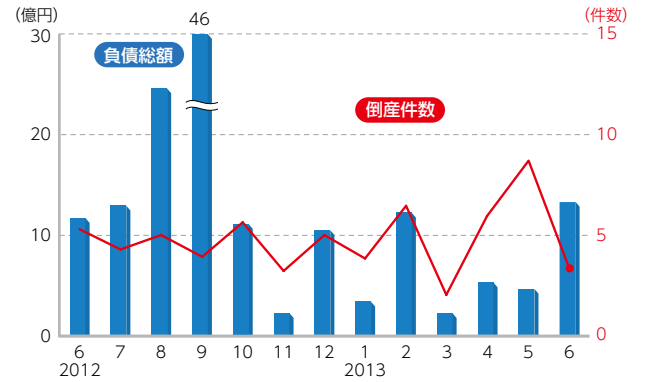



## 5.企業倒産 ｜ 件数は低水準に抑制されている

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比20.0%減の4件、負債総額が同15.3%増の約14億円となりました。

ホテル業で約5億円の倒産が発生し、負債総額は増加したものの、件数は概ね低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



# 宮崎県の最近の経済動向

## 宮崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

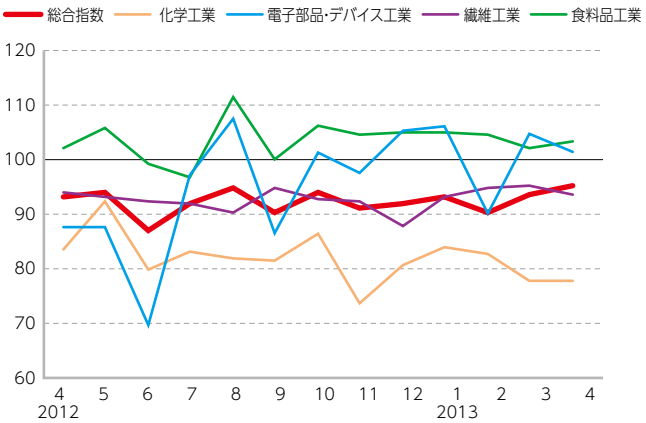
生産活動は、食料品が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。
住宅建設は3ヵ月連続で前年を上回り、公共工事は前年を大幅に上回りました。
宮崎県の景気は、消費に弱さが見られますが、生産、住宅建設、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は95.6と前月比1.7%上昇しました。
主要業種では、焼酎等の生産が増加した食料品が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

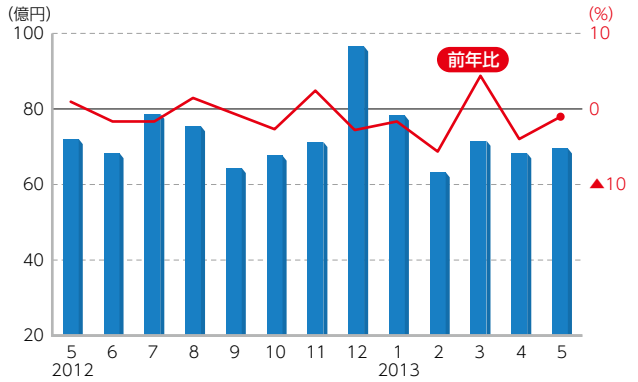
■宮崎県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100） 出所 宮崎県




## 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%減の71億円となりました。
主力の飲食料品は前年を上回ったものの、衣料品が大きく前年を下回っており、消費は弱含みで推移しています。

■宮崎県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局

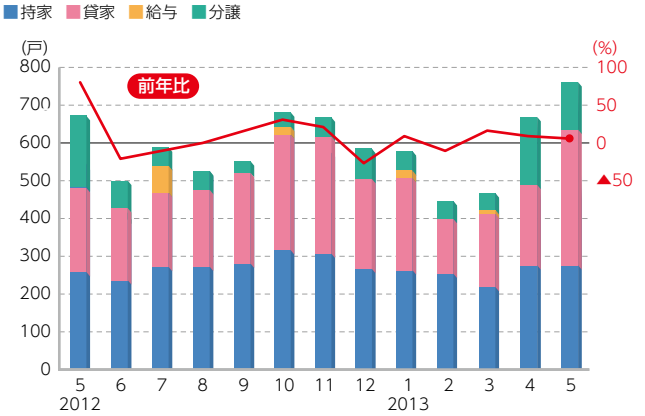


## 3.住宅建設 ｜ 好調に推移している

5月の新設住宅着工戸数は、751戸と前年同月比10.4%増加し、3ヵ月連続で前年を上回りました。

「分譲」は前年を下回ったものの、消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「貸家」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

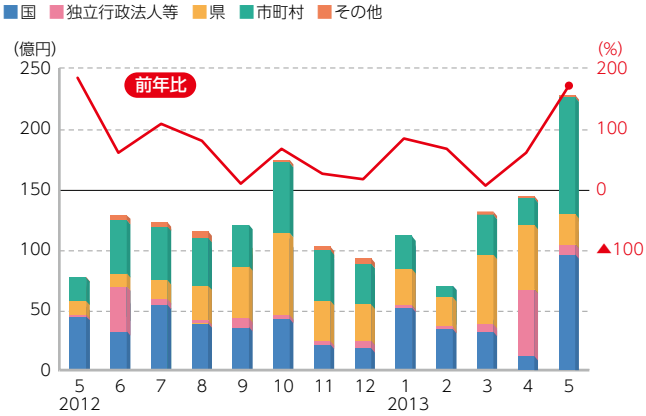



## 4.公共工事 ｜ 持ち直しの動きが見られる

5月の公共工事保証請負状況は、件数は370件で前年同月比81.4%増加し、金額は221億円で同174.9%増加しました。

発注者別では、ごみ焼却施設建設工事等の大型案件があった「市町村」をはじめ、全ての発注者で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

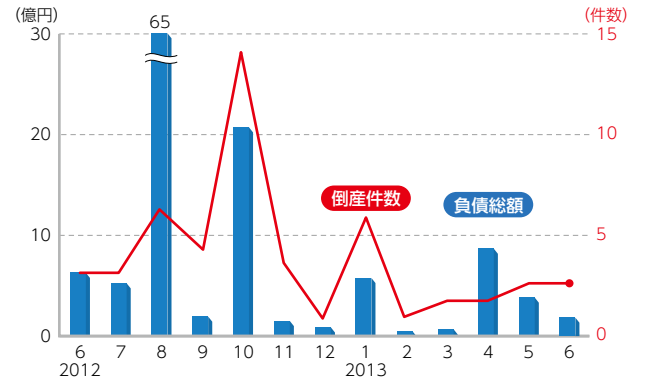



## 5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準で推移

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月と変わらず3件、負債総額が同68.9%減の約2億円となりました。

建築工事業で1億円以上の倒産があったものの、負債総額、件数ともに、概ね低水準で推移しています。

■宮崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



# 鹿児島県の最近の経済動向

## 鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、窯業・土石製品が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。
住宅建設が6ヵ月ぶりに前年を下回った一方、公共工事は好調に推移しています。
鹿児島県の景気は、生産、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

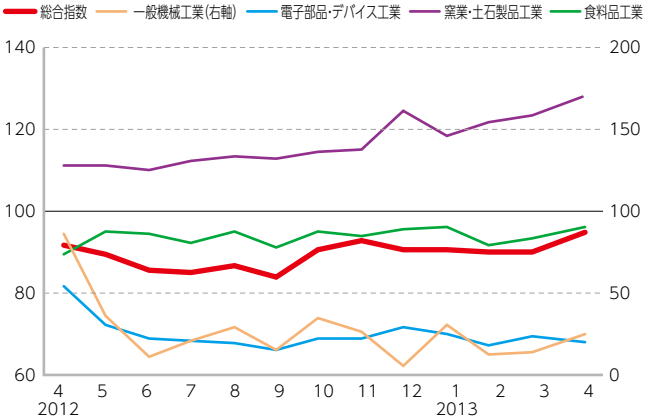
（松永 圭史）

## 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は95.7と前月比6.1％上昇しました。

主要業種では、ファインセラミックス（構造材）等の生産が増加した窯業・土石製品が上昇した他、食料品や一般機械が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済）（2005年=100） 出所 鹿児島県

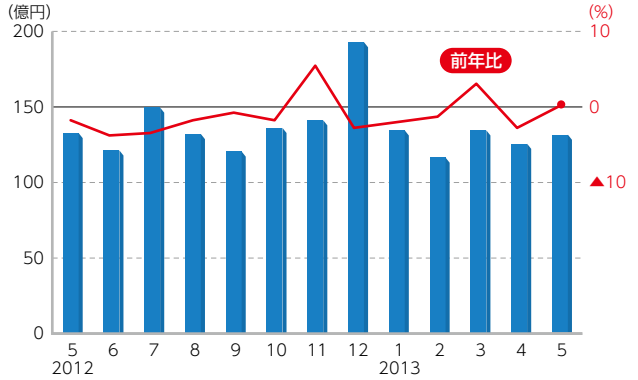



## 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6％増の132億円となりました。

主力の衣料品が前年を下回る等、消費は弱含みで推移しています。

■鹿児島県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局



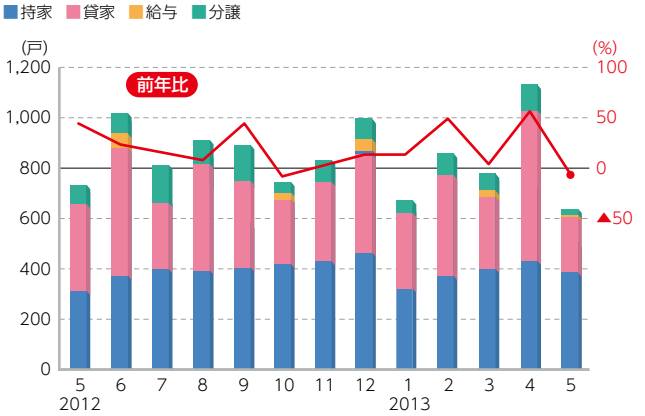
Kagoshima

## 3.住宅建設 ｜ 好調を維持している

5月の新設住宅着工戸数は、644戸と前年同月比12.4%減少しました。

前月の着工数増加の反動減により前年を下回りましたが、消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」が増加する等、好調を維持しています。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

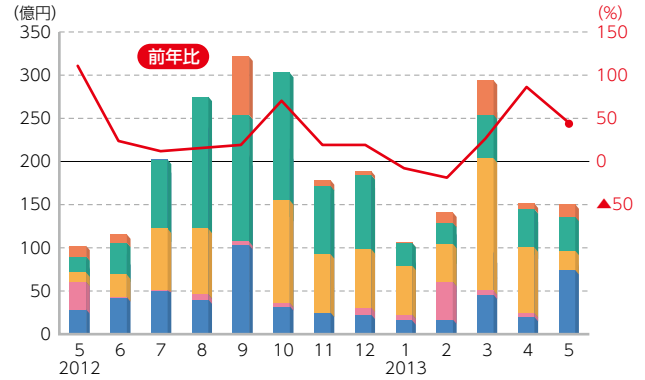



## 4.公共工事 ｜ 好調に推移している

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比45.9%増の305件で、金額は同45.9%増の153億円となりました。

発注者別では、ダム設備工事等の大型案件があった「国」が増加する等、好調に推移しています。

■鹿児島県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

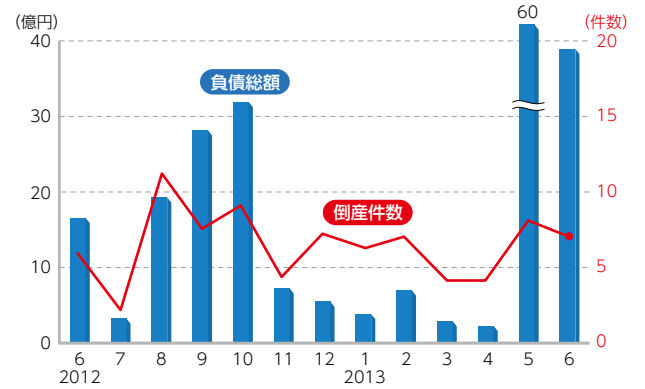



## 5.企業倒産 ｜ 負債総額は前年を上回る

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比16.7%増の7件、負債総額が同約2.5倍の約38億円となりました。

ビール製造業で約25億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大幅に上回りました。

■鹿児島県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



# 全国 経済指標

| 項目 / 年月 | 鉱工業指数(2010年=100) 生産指数 季調値 | 生産指数 前年比(%) | 出荷指数 季調値 | 出荷指数 前年比(%) | 在庫指数 季調値 | 在庫指数 前年比(%) | 機械受注金額(船舶・電力を除く民需) 前月(年)比(%) | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 100.0 | 15.6 | 100.0 | 15.5 | 100.0 | ▲5.7 | 7.0 | 24.4 | 18.0 | 113,626 | ▲10.6 | 76,043 | ▲2.2 |
| 2011年 | 97.2 | ▲2.8 | 96.3 | ▲3.7 | 104.3 | 4.3 | 7.8 | ▲2.7 | 12.1 | 109,755 | ▲3.4 | 78,693 | 3.5 |
| 2012年 | 97.8 | 0.6 | 97.5 | 1.2 | 110.4 | 5.8 | ▲0.9 | ▲2.7 | 3.8 | 125,423 | 14.3 | 79,685 | 1.3 |
| 2012. 4 | 100.6 | 15.1 | 100.1 | 19.3 | 111.9 | 12.1 | 2.6 | 7.9 | 8.0 | 12,431 | 5.4 | 6,493 | ▲13.9 |
| 5 | 98.8 | 7.6 | 98.9 | 13.9 | 110.0 | 5.3 | ▲7.1 | 10.0 | 9.3 | 8,686 | 36.7 | 6,000 | ▲3.5 |
| 6 | 98.0 | ▲0.6 | 97.4 | 0.4 | 110.2 | 5.3 | 1.4 | ▲2.3 | ▲2.2 | 11,390 | 14.1 | 6,759 | ▲0.0 |
| 7 | 97.5 | 0.1 | 95.5 | 0.3 | 111.8 | 6.4 | 1.7 | ▲8.1 | 2.3 | 12,149 | 26.6 | 6,599 | ▲7.7 |
| 8 | 96.1 | ▲4.1 | 95.4 | ▲2.7 | 112.2 | 5.3 | ▲1.0 | ▲5.8 | ▲5.2 | 11,368 | 19.2 | 6,877 | ▲6.6 |
| 9 | 94.0 | ▲7.6 | 93.0 | ▲7.9 | 112.2 | 5.3 | ▲2.4 | ▲10.3 | 4.2 | 11,775 | ▲1.9 | 7,827 | 36.1 |
| 10 | 94.3 | ▲4.7 | 93.3 | ▲5.1 | 112.2 | 5.2 | ▲0.8 | ▲6.5 | ▲1.5 | 13,721 | 28.2 | 7,575 | 15.3 |
| 11 | 93.4 | ▲5.5 | 91.8 | ▲6.0 | 111.8 | 4.9 | 3.8 | ▲4.1 | 0.9 | 8,972 | 6.2 | 7,029 | 9.9 |
| 12 | 94.7 | ▲7.6 | 95.2 | ▲7.8 | 110.4 | 5.2 | ▲1.3 | ▲5.8 | 1.9 | 8,243 | 15.6 | 6,565 | 10.8 |
| 2013. 1 | 94.1 | ▲6.0 | 96.3 | ▲4.2 | 108.6 | 3.0 | ▲7.5 | 6.3 | 7.1 | 6,039 | 6.7 | 5,862 | ▲6.9 |
| 2 | 94.9 | ▲10.1 | 98.0 | ▲8.6 | 107.3 | 0.4 | 4.2 | ▲2.9 | 12.0 | 6,708 | ▲4.8 | 7,672 | 37.3 |
| 3 | 95.0 | ▲7.2 | 97.2 | ▲5.9 | 106.6 | ▲2.7 | 14.2 | 1.1 | 5.6 | 12,338 | ▲11.7 | 8,379 | 37.9 |
| 4 | 95.9 | ▲3.4 | 95.8 | ▲3.0 | 107.4 | ▲4.0 | ▲8.8 | 3.8 | 9.5 | 15,991 | 28.6 | 7,987 | 23.0 |
| 5 | 97.7 | ▲1.1 | 96.8 | ▲2.1 | 107.0 | ▲2.7 | 10.5 | 10.1 | 10.1 | 10,842 | 24.8 | 7,632 | 27.2 |
| 出所 | 経済産業省 | | | | | | 内閣府 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | |

| 項目 / 年月 | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 企業物価指数(2010年=100) 指数 | 企業物価指数 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100) 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 億円 | 大型小売店販売額 前年比(%) | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車 乗用車新規登録台数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 813,126 | 3.1 | 7.2 | ▲7.3 | 19.6 | 100.0 | ▲0.1 | 100.0 | ▲0.7 | 195,791 | ▲2.1 | 2,920,499 | 10.9 |
| 2011年 | 834,215 | 2.6 | 0.1 | ▲4.1 | 16.2 | 101.5 | 1.5 | 99.7 | ▲0.3 | 195,933 | ▲0.9 | 2,381,121 | ▲18.5 |
| 2012年 | 882,797 | 5.8 | 2.0 | 11.4 | 5.2 | 100.6 | ▲0.9 | 99.7 | ▲0.0 | 195,916 | ▲0.0 | 3,008,634 | 26.4 |
| 2012. 4 | 73,647 | 10.3 | 2.5 | 16.5 | 13.0 | 101.4 | ▲0.7 | 100.4 | 0.4 | 15,664 | 0.1 | 186,698 | 92.5 |
| 5 | 69,638 | 9.3 | 8.2 | 15.3 | 4.4 | 101.0 | ▲0.9 | 100.1 | 0.2 | 15,755 | ▲0.1 | 210,418 | 63.9 |
| 6 | 72,566 | ▲0.2 | 0.1 | 3.3 | ▲7.2 | 100.4 | ▲1.5 | 99.6 | ▲0.2 | 15,682 | ▲2.2 | 282,351 | 39.8 |
| 7 | 75,421 | ▲9.6 | ▲12.5 | ▲14.7 | 1.2 | 99.9 | ▲2.3 | 99.3 | ▲0.4 | 17,123 | ▲4.0 | 295,187 | 37.4 |
| 8 | 77,500 | ▲5.5 | ▲9.1 | ▲2.7 | ▲2.5 | 100.1 | ▲2.0 | 99.4 | ▲0.4 | 15,568 | ▲0.0 | 204,741 | 8.7 |
| 9 | 74,176 | 15.5 | 12.6 | 35.4 | 4.8 | 100.4 | ▲1.5 | 99.6 | ▲0.3 | 14,700 | ▲0.2 | 251,748 | ▲10.0 |
| 10 | 84,251 | 25.2 | 13.0 | 48.2 | 14.2 | 100.0 | ▲1.1 | 99.6 | ▲0.4 | 15,672 | ▲2.4 | 195,897 | ▲10.9 |
| 11 | 80,145 | 10.3 | 9.2 | 23.2 | 2.4 | 99.9 | ▲1.1 | 99.2 | ▲0.2 | 16,630 | 1.6 | 213,225 | ▲3.3 |
| 12 | 75,944 | 10.0 | 9.2 | 11.2 | 9.8 | 100.3 | ▲0.7 | 99.3 | ▲0.1 | 21,048 | 0.7 | 185,999 | ▲3.9 |
| 2013. 1 | 69,289 | 5.0 | 8.6 | 1.6 | 5.0 | 100.5 | ▲0.4 | 99.3 | ▲0.3 | 16,872 | ▲2.9 | 205,941 | ▲13.5 |
| 2 | 68,969 | 3.0 | 2.3 | ▲2.4 | 9.1 | 101.0 | ▲0.1 | 99.2 | ▲0.7 | 14,239 | ▲2.9 | 261,062 | ▲13.3 |
| 3 | 71,456 | 7.3 | 11.4 | 10.7 | ▲0.3 | 101.1 | ▲0.5 | 99.4 | ▲0.9 | 16,598 | 3.5 | 368,730 | ▲16.8 |
| 4 | 77,894 | 5.8 | 17.5 | 7.8 | ▲6.9 | 101.5 | 0.1 | 99.7 | ▲0.7 | 15,508 | ▲1.0 | 187,420 | 0.4 |
| 5 | 79,751 | 14.5 | 13.5 | 11.6 | 21.7 | 101.5 | 0.5 | 99.8 | ▲0.3 | 15,889 | 0.9 | 191,560 | ▲9.0 |
| 出所 | 国土交通省 | | | | | 日本銀行 | | 総務省 | | 経済産業省 | | 日本自動車販売協会連合会 | |

| 項目 / 年月 | 乗用車 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯) 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 完全失業率 % | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 百億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 百億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 1,284,665 | 0.1 | 429,967 | 0.5 | 318,315 | ▲0.2 | 0.52 | 5.1 | 13,321 | ▲13.9 | 57,671 | 1.7 | 40,930 | ▲1.8 |
| 2011年 | 1,138,752 | ▲11.4 | 420,538 | ▲2.2 | 308,838 | ▲3.0 | 0.65 | 4.5 | 12,734 | ▲4.4 | 59,694 | 3.5 | 41,350 | 1.0 |
| 2012年 | 1,557,681 | 36.8 | 425,005 | 1.1 | 313,874 | 1.6 | 0.80 | 4.4 | 12,124 | ▲4.8 | 61,144 | 2.4 | 42,126 | 1.9 |
| 2012. 4 | 119,225 | 111.4 | 386,381 | 2.9 | 339,069 | 4.4 | 0.79 | 4.5 | 1,004 | ▲6.7 | 60,637 | 1.9 | 41,262 | 0.8 |
| 5 | 127,158 | 76.8 | 309,716 | ▲0.1 | 304,653 | 1.2 | 0.80 | 4.4 | 1,148 | 7.2 | 60,680 | 1.9 | 41,112 | 1.0 |
| 6 | 149,837 | 62.3 | 581,983 | 3.6 | 292,937 | 2.4 | 0.81 | 4.3 | 975 | ▲16.3 | 60,795 | 2.2 | 41,381 | 1.5 |
| 7 | 149,658 | 53.4 | 448,673 | ▲4.5 | 312,592 | 1.0 | 0.81 | 4.3 | 1,026 | ▲5.1 | 60,270 | 2.4 | 41,230 | 1.1 |
| 8 | 110,778 | 30.9 | 390,041 | 2.2 | 310,643 | 0.5 | 0.81 | 4.2 | 967 | ▲5.8 | 60,145 | 2.0 | 41,226 | 1.4 |
| 9 | 125,550 | 12.4 | 345,980 | ▲0.4 | 299,821 | 0.3 | 0.81 | 4.3 | 931 | ▲7.0 | 60,878 | 2.6 | 41,835 | 1.5 |
| 10 | 102,868 | 2.3 | 401,061 | ▲0.5 | 315,161 | 0.3 | 0.81 | 4.2 | 1,035 | 6.0 | 60,236 | 2.1 | 41,443 | 1.3 |
| 11 | 110,660 | 7.8 | 354,350 | 1.0 | 300,181 | 1.7 | 0.82 | 4.2 | 964 | ▲11.9 | 60,530 | 1.7 | 41,533 | 1.5 |
| 12 | 97,686 | 2.3 | 755,418 | 0.7 | 359,482 | 2.1 | 0.83 | 4.3 | 890 | ▲13.7 | 61,144 | 2.4 | 42,126 | 1.9 |
| 2013. 1 | 125,521 | 5.0 | 354,287 | ▲0.4 | 321,065 | 3.8 | 0.85 | 4.2 | 934 | ▲5.2 | 60,967 | 2.4 | 41,922 | 2.2 |
| 2 | 151,270 | 2.6 | 395,795 | ▲2.4 | 298,682 | 2.0 | 0.85 | 4.3 | 916 | ▲11.7 | 61,277 | 2.9 | 42,027 | 2.3 |
| 3 | 200,988 | 1.9 | 363,271 | ▲0.4 | 350,957 | 6.5 | 0.86 | 4.1 | 929 | ▲20.0 | 62,995 | 3.2 | 42,673 | 2.2 |
| 4 | 120,937 | 1.4 | 385,584 | ▲0.2 | 340,423 | 0.4 | 0.89 | 4.1 | 899 | ▲10.5 | 62,927 | 3.8 | 42,198 | 2.3 |
| 5 | 116,460 | ▲8.4 | 318,353 | 2.8 | 307,926 | 1.1 | 0.90 | 4.1 | 1,045 | ▲9.0 | 63,155 | 4.1 | 42,230 | 2.7 |
| 出所 | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 総務省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預貸金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

# 経済指標 福岡 Fukuoka

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 鉄鋼 季調値 | 鉄鋼 前年比(%) | 電気機械 季調値 | 電気機械 前年比(%) | 一般機械 季調値 | 一般機械 前年比(%) | 輸送機械 季調値 | 輸送機械 前年比(%) | 鉱工業出荷指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業出荷指数 前年比(%) | 鉱工業在庫指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業在庫指数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 93.4 | 17.4 | 98.4 | 29.4 | 93.0 | 29.6 | 91.5 | 25.9 | 109.8 | 37.9 | 92.8 | 18.4 | 127.5 | 12.6 |
| 2011年 | 92.9 | ▲0.6 | 95.3 | ▲3.1 | 102.3 | 9.9 | 99.3 | 8.5 | 114.6 | 4.4 | 92.4 | ▲0.5 | 270.6 | 112.2 |
| 2012年 | 93.3 | 0.4 | 93.0 | ▲2.4 | 88.8 | ▲13.2 | 91.6 | ▲7.8 | 122.3 | 6.7 | 93.6 | 1.3 | 297.5 | 9.9 |
| 2012. 4 | 93.1 | 11.6 | 93.6 | ▲1.4 | 97.4 | ▲11.7 | 91.7 | ▲1.7 | 127.7 | 116.4 | 96.6 | 24.8 | 312.9 | 55.6 |
| 5 | 95.0 | 2.8 | 99.8 | 5.0 | 92.6 | ▲13.8 | 87.7 | ▲11.9 | 128.7 | 24.9 | 96.6 | 8.7 | 281.7 | ▲8.6 |
| 6 | 93.0 | 0.1 | 95.7 | 6.4 | 94.7 | ▲12.7 | 94.0 | ▲15.2 | 116.2 | ▲1.0 | 91.5 | ▲3.0 | 299.2 | 7.7 |
| 7 | 97.6 | 3.4 | 90.2 | ▲7.1 | 92.9 | ▲14.9 | 97.0 | 1.2 | 137.9 | 7.7 | 98.4 | 4.5 | 276.3 | 0.4 |
| 8 | 94.8 | ▲0.3 | 90.8 | ▲7.0 | 84.8 | ▲21.2 | 91.9 | ▲8.1 | 131.4 | 0.2 | 94.3 | ▲1.2 | 287.4 | ▲4.3 |
| 9 | 87.4 | ▲4.8 | 94.6 | 4.6 | 85.8 | ▲16.9 | 90.4 | ▲8.6 | 105.2 | ▲13.4 | 84.9 | ▲8.3 | 313.5 | ▲1.1 |
| 10 | 88.9 | ▲4.0 | 84.3 | ▲10.7 | 89.9 | ▲13.2 | 93.1 | ▲5.2 | 113.7 | ▲11.6 | 87.6 | ▲6.1 | 293.4 | ▲1.6 |
| 11 | 89.3 | ▲4.2 | 85.4 | ▲2.3 | 83.0 | ▲0.3 | 87.3 | ▲12.8 | 112.5 | ▲11.0 | 90.7 | ▲4.9 | 300.2 | 0.3 |
| 12 | 88.0 | ▲8.6 | 84.7 | ▲1.7 | 73.6 | ▲19.5 | 95.6 | ▲3.6 | 111.2 | ▲17.5 | 88.5 | ▲10.1 | 308.4 | 3.2 |
| 2013. 1 | 89.5 | ▲8.0 | 91.5 | ▲6.7 | 76.5 | ▲18.2 | 94.6 | ▲7.0 | 105.0 | ▲16.0 | 87.6 | ▲10.2 | 291.5 | 0.1 |
| 2 | 88.5 | ▲10.4 | 93.2 | ▲5.0 | 80.6 | ▲12.6 | 85.6 | ▲3.3 | 109.9 | ▲18.9 | 87.7 | ▲12.7 | 298.5 | 1.0 |
| 3 | 89.4 | ▲8.3 | 99.3 | ▲2.2 | 77.9 | ▲12.7 | 81.5 | ▲2.6 | 106.7 | ▲18.0 | 89.7 | ▲11.0 | 318.9 | ▲0.5 |
| 4 | 94.1 | 1.4 | 90.4 | ▲3.4 | 84.0 | ▲13.8 | 86.2 | ▲6.0 | 129.3 | 1.2 | 94.4 | 0.3 | 307.6 | ▲1.7 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 福岡県調査統計課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 工事費予定額 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100)福岡市 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 33.8 | 17.4 | 3,941 | ▲0.6 | 2,574 | 11.4 | 31,156 | 7.4 | 14.1 | 6.5 | ▲0.7 | 100.0 | ▲0.7 | 652,922 | ▲3.0 |
| 2011年 | 0.2 | 13.9 | 3,321 | ▲15.7 | 2,560 | ▲0.5 | 34,945 | 12.2 | ▲0.7 | 8.6 | 46.1 | 99.8 | ▲0.2 | 689,334 | 4.3 |
| 2012年 | 2.0 | 6.9 | 3,691 | 11.1 | 2,825 | 10.4 | 36,111 | 3.3 | ▲0.3 | 11.4 | ▲5.8 | 99.6 | ▲0.1 | 689,812 | 0.1 |
| 2012. 4 | 23.3 | 14.5 | 281 | 0.1 | 225 | 11.4 | 2,592 | 0.7 | 3.3 | 0.3 | ▲4.2 | 100.3 | 0.6 | 54,482 | ▲1.2 |
| 5 | 12.4 | 14.4 | 188 | 15.2 | 171 | ▲9.6 | 2,727 | 8.6 | ▲3.5 | 28.6 | ▲4.6 | 100.0 | 0.2 | 55,036 | 0.1 |
| 6 | ▲5.0 | ▲4.3 | 313 | 26.8 | 177 | ▲56.0 | 3,237 | 11.7 | ▲11.2 | 19.9 | 26.6 | 99.5 | ▲0.1 | 53,555 | ▲1.1 |
| 7 | ▲3.8 | 20.5 | 291 | 12.8 | 204 | 28.0 | 2,899 | ▲8.5 | ▲19.1 | ▲0.1 | ▲9.0 | 99.6 | ▲0.2 | 63,057 | ▲4.0 |
| 8 | ▲5.4 | ▲4.4 | 295 | ▲1.4 | 187 | 4.0 | 3,041 | 9.7 | ▲0.7 | 19.4 | 5.0 | 99.4 | ▲0.3 | 55,626 | 1.2 |
| 9 | ▲3.2 | ▲2.4 | 386 | 20.2 | 310 | 200.3 | 3,053 | 21.2 | 13.3 | 70.2 | ▲15.6 | 99.4 | ▲0.4 | 51,729 | 1.2 |
| 10 | ▲3.9 | 16.7 | 501 | 45.0 | 245 | 6.6 | 3,275 | 1.3 | 6.8 | 7.5 | ▲10.2 | 99.3 | ▲0.7 | 55,115 | ▲2.0 |
| 11 | ▲6.5 | 0.4 | 326 | 8.7 | 181 | ▲25.3 | 3,155 | 3.8 | 7.5 | 15.9 | ▲20.5 | 99.0 | ▲0.5 | 58,111 | 2.0 |
| 12 | ▲7.7 | 3.6 | 291 | 12.3 | 420 | 65.2 | 3,514 | 10.3 | 19.8 | 10.4 | 0.5 | 98.9 | ▲0.7 | 75,711 | ▲1.4 |
| 2013. 1 | ▲7.3 | 7.0 | 163 | ▲8.0 | 187 | 9.7 | 2,756 | ▲7.7 | 1.9 | ▲11.0 | ▲11.1 | 99.4 | ▲0.5 | 61,014 | ▲0.6 |
| 2 | ▲13.6 | 1.3 | 225 | 45.2 | 202 | 16.3 | 2,938 | 6.2 | 10.1 | ▲9.8 | 38.0 | 99.1 | ▲1.0 | 50,025 | ▲0.0 |
| 3 | ▲2.4 | 16.5 | 467 | ▲3.9 | 316 | ▲12.9 | 3,366 | 17.4 | 13.4 | 18.0 | 19.8 | 99.1 | ▲1.3 | 58,277 | 4.1 |
| 4 | 8.2 | 5.8 | 479 | 70.7 | 241 | 7.2 | 3,550 | 37.0 | 17.2 | 39.7 | 57.6 | 99.3 | ▲1.1 | 53,502 | ▲1.8 |
| 5 | ▲1.6 | 6.6 | 260 | 38.1 | 289 | 69.6 | 3,526 | 29.3 | 16.9 | 13.9 | 67.1 | 99.4 | ▲0.6 | 55,393 | 0.6 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 / 年月 | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡 大都市圏 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 113,650 | 14.1 | 53,413 | 3.1 | 389,184 | ▲0.5 | 303,663 | ▲0.6 | 0.46 | 375 | ▲21.9 | 182,364 | 1.9 | 140,690 | 1.4 |
| 2011年 | 91,956 | ▲19.1 | 46,901 | ▲12.2 | 391,156 | 0.5 | 298,184 | ▲1.8 | 0.58 | 390 | 4.0 | 186,080 | 2.0 | 145,885 | 3.7 |
| 2012年 | 117,560 | 27.8 | 62,719 | 33.7 | 409,613 | 4.7 | 312,533 | 4.8 | 0.70 | 381 | ▲2.3 | 191,215 | 2.8 | 152,234 | 4.4 |
| 2012. 4 | 7,046 | 115.1 | 4,645 | 107.3 | 374,407 | 10.5 | 326,724 | 14.2 | 0.69 | 33 | 13.8 | 190,947 | 2.0 | 147,608 | 4.8 |
| 5 | 8,092 | 75.7 | 5,135 | 64.1 | 295,048 | 0.7 | 302,843 | 5.9 | 0.70 | 35 | 16.7 | 188,039 | 1.6 | 147,161 | 4.7 |
| 6 | 10,686 | 44.5 | 5,969 | 68.5 | 564,970 | 4.3 | 335,781 | 22.7 | 0.72 | 21 | ▲48.8 | 189,313 | 1.9 | 147,317 | 4.9 |
| 7 | 11,726 | 47.1 | 6,188 | 52.9 | 409,920 | 6.4 | 302,607 | ▲1.2 | 0.72 | 38 | 2.7 | 188,068 | 1.2 | 147,528 | 4.4 |
| 8 | 8,177 | 8.9 | 4,492 | 28.2 | 386,120 | 2.3 | 296,501 | ▲3.1 | 0.73 | 33 | ▲13.2 | 187,806 | 1.7 | 148,098 | 5.6 |
| 9 | 9,966 | ▲10.6 | 5,116 | 12.6 | 337,597 | 9.2 | 270,298 | ▲6.9 | 0.71 | 28 | ▲15.2 | 190,316 | 3.6 | 150,467 | 5.6 |
| 10 | 7,498 | ▲8.2 | 3,810 | ▲9.7 | 396,091 | ▲6.1 | 307,298 | 5.5 | 0.71 | 44 | 33.3 | 189,492 | 2.9 | 149,907 | 4.5 |
| 11 | 8,277 | ▲2.0 | 4,550 | 12.3 | 338,318 | 6.3 | 297,276 | 12.7 | 0.71 | 29 | ▲21.6 | 189,326 | 2.0 | 150,417 | 4.0 |
| 12 | 7,410 | ▲0.6 | 3,902 | 4.2 | 743,321 | 5.2 | 346,525 | 4.8 | 0.72 | 19 | ▲26.9 | 191,215 | 2.8 | 152,234 | 4.4 |
| 2013. 1 | 8,437 | ▲8.6 | 5,126 | ▲1.4 | 344,298 | 2.8 | 298,003 | ▲8.1 | 0.72 | 25 | ▲24.2 | 189,644 | 2.7 | 151,652 | 4.3 |
| 2 | 10,990 | ▲12.9 | 6,235 | 0.2 | 402,626 | 3.2 | 267,475 | ▲9.5 | 0.73 | 28 | 7.7 | 191,736 | 3.6 | 152,365 | 4.4 |
| 3 | 13,917 | ▲17.4 | 8,120 | 8.4 | 321,637 | ▲6.7 | 315,160 | ▲8.6 | 0.74 | 29 | ▲31.0 | 194,338 | 3.3 | 153,089 | 3.8 |
| 4 | 7,336 | 4.1 | 4,884 | 5.1 | 364,158 | ▲2.7 | 298,476 | ▲8.6 | 0.77 | 29 | ▲12.1 | 196,511 | 2.9 | 152,742 | 3.5 |
| 5 | 7,078 | ▲12.5 | 4,562 | ▲11.2 | 318,753 | 8.0 | 318,662 | 5.2 | 0.78 | 37 | 5.7 | 194,228 | 3.3 | 152,304 | 3.5 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 熊本 Kumamoto 経済指標

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 食料品 季調値 | 食料品 前年比(%) | 電子部品 季調値 | 電子部品 前年比(%) | 一般機械 季調値 | 一般機械 前年比(%) | 輸送機械 季調値 | 輸送機械 前年比(%) | 鉱工業出荷指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業出荷指数 前年比(%) | 鉱工業在庫指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業在庫指数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 97.1 | 21.0 | 94.1 | ▲1.7 | 114.3 | 10.2 | 90.7 | 85.0 | 81.0 | 13.8 | 92.6 | 16.9 | 97.2 | ▲13.4 |
| 2011年 | 95.6 | ▲1.6 | 98.6 | 4.8 | 101.0 | ▲11.6 | 107.2 | 18.2 | 79.1 | ▲2.3 | 94.1 | 1.6 | 113.2 | 16.5 |
| 2012年 | 97.4 | 1.9 | 98.7 | 0.1 | 122.8 | 21.6 | 91.6 | ▲14.5 | 74.7 | ▲5.5 | 96.3 | 2.4 | 102.8 | ▲9.2 |
| 2012. 4 | 95.7 | ▲0.1 | 99.0 | ▲6.2 | 119.9 | 25.8 | 94.9 | ▲4.4 | 69.3 | ▲10.6 | 93.5 | ▲0.1 | 102.7 | ▲9.1 |
| 5 | 103.5 | 11.4 | 105.2 | 4.7 | 117.3 | 30.5 | 117.8 | ▲6.2 | 74.0 | 15.3 | 99.6 | 8.9 | 106.3 | ▲7.7 |
| 6 | 93.6 | 0.4 | 94.4 | ▲2.6 | 113.5 | 15.3 | 86.7 | ▲11.8 | 60.5 | ▲22.4 | 89.2 | ▲2.2 | 112.8 | ▲5.6 |
| 7 | 91.0 | ▲3.9 | 94.4 | ▲11.3 | 116.1 | 12.5 | 81.0 | ▲18.1 | 57.6 | ▲23.9 | 88.3 | ▲3.8 | 103.2 | ▲12.7 |
| 8 | 94.2 | ▲0.8 | 94.3 | ▲6.1 | 111.8 | 8.3 | 81.3 | ▲20.3 | 78.8 | 5.3 | 93.0 | ▲1.1 | 102.8 | ▲14.0 |
| 9 | 92.1 | ▲1.5 | 98.7 | 5.0 | 121.6 | 25.0 | 81.3 | ▲30.4 | 70.4 | ▲4.4 | 93.5 | 1.5 | 103.4 | ▲5.6 |
| 10 | 101.7 | 10.6 | 98.4 | 4.5 | 139.6 | 44.8 | 57.9 | ▲37.8 | 75.0 | ▲5.5 | 99.8 | 10.8 | 99.2 | ▲15.3 |
| 11 | 98.6 | 3.2 | 100.8 | ▲0.9 | 147.5 | 60.0 | 77.1 | ▲54.4 | 65.4 | ▲8.1 | 98.1 | 4.3 | 97.1 | ▲17.8 |
| 12 | 97.7 | ▲2.8 | 98.9 | 0.4 | 127.9 | 25.7 | 104.9 | ▲16.3 | 72.8 | ▲15.5 | 96.5 | ▲6.1 | 102.7 | ▲3.6 |
| 2013. 1 | 92.0 | ▲6.0 | 93.8 | ▲4.7 | 110.1 | ▲0.2 | 83.2 | ▲17.9 | 82.3 | 1.3 | 92.2 | ▲2.4 | 95.5 | ▲10.9 |
| 2 | 87.0 | ▲16.8 | 93.0 | ▲11.3 | 89.6 | ▲26.9 | 86.0 | ▲34.3 | 83.2 | ▲14.8 | 87.9 | ▲18.3 | 89.8 | ▲11.1 |
| 3 | 97.9 | ▲0.8 | 97.6 | ▲5.3 | 110.3 | ▲4.6 | 90.1 | ▲15.7 | 86.3 | ▲3.8 | 98.8 | ▲3.3 | 88.6 | ▲7.3 |
| 4 | 98.2 | 3.8 | 96.7 | ▲1.8 | 125.2 | 6.5 | 59.4 | ▲34.1 | 75.6 | 10.3 | 92.6 | 0.5 | 98.3 | ▲4.3 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 熊本県統計調査課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100)熊本市 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | ▲3.5 | 6.7 | 2,012 | ▲5.3 | 1,128 | 60.9 | 8,842 | ▲10.2 | 10.3 | ▲13.0 | ▲53.0 | 100.0 | ▲0.3 | 169,324 | ▲2.9 |
| 2011年 | 4.5 | 16.8 | 1,713 | ▲14.9 | 1,385 | 22.8 | 10,063 | 13.8 | 4.7 | 7.6 | 112.1 | 99.5 | ▲0.5 | 166,476 | ▲2.5 |
| 2012年 | ▲2.3 | 1.3 | 1,806 | 5.4 | 1,042 | ▲24.8 | 11,521 | 14.5 | ▲3.8 | 34.1 | 21.1 | 99.1 | ▲0.4 | 165,154 | ▲0.8 |
| 2012. 4 | ▲31.9 | 22.0 | 124 | ▲13.1 | 59 | ▲48.4 | 1,163 | 67.1 | ▲10.6 | 154.9 | 242.6 | 99.8 | 0.1 | 13,036 | 0.6 |
| 5 | ▲9.2 | 2.2 | 109 | ▲5.7 | 59 | ▲25.8 | 905 | 12.7 | 14.7 | 4.3 | 59.7 | 99.7 | 0.2 | 12,976 | 1.0 |
| 6 | 17.6 | 4.9 | 113 | 0.8 | 62 | ▲51.5 | 1,036 | ▲0.2 | 8.7 | ▲17.3 | 35.8 | 99.1 | ▲0.3 | 12,754 | 0.7 |
| 7 | ▲7.4 | ▲16.3 | 144 | 10.8 | 48 | ▲23.7 | 1,050 | ▲11.5 | ▲25.8 | 53.5 | ▲61.0 | 98.9 | ▲0.8 | 15,190 | ▲3.0 |
| 8 | 15.5 | ▲18.9 | 159 | 18.4 | 89 | ▲46.2 | 916 | ▲16.2 | ▲14.5 | ▲31.5 | 55.7 | 99.2 | ▲0.4 | 13,102 | 0.1 |
| 9 | ▲15.2 | ▲4.6 | 191 | 3.3 | 192 | 18.8 | 946 | 34.2 | 13.7 | 103.8 | 28.1 | 99.0 | ▲0.8 | 11,920 | ▲3.2 |
| 10 | 1.0 | 37.9 | 210 | 22.0 | 113 | ▲35.1 | 965 | 42.3 | 22.9 | 68.6 | 47.5 | 98.9 | ▲1.0 | 13,115 | ▲2.6 |
| 11 | 30.6 | ▲3.1 | 172 | 4.9 | 71 | 9.3 | 1,017 | 30.2 | 4.9 | 72.2 | 21.6 | 98.4 | ▲0.8 | 13,717 | 2.3 |
| 12 | 42.1 | ▲5.6 | 152 | 11.7 | 102 | ▲9.4 | 1,004 | ▲2.0 | ▲22.2 | 28.2 | ▲10.7 | 98.3 | ▲0.9 | 18,682 | ▲0.9 |
| 2013. 1 | ▲12.2 | ▲13.6 | 166 | 71.1 | 56 | ▲4.2 | 808 | 13.3 | 25.4 | 1.2 | 14.3 | 98.2 | ▲0.9 | 14,956 | ▲0.0 |
| 2 | 27.5 | 45.1 | 102 | ▲3.2 | 69 | 1.1 | 869 | 3.3 | 13.5 | 6.0 | ▲39.3 | 98.0 | ▲1.2 | 11,641 | ▲3.3 |
| 3 | 32.9 | ▲7.5 | 211 | ▲7.7 | 38 | ▲68.1 | 916 | ▲5.1 | 1.1 | ▲0.8 | ▲23.8 | 98.3 | ▲1.6 | 13,950 | 2.2 |
| 4 | 45.5 | ▲7.9 | 228 | 84.0 | 148 | 149.3 | 983 | ▲15.5 | 23.2 | ▲48.6 | 23.2 | 98.7 | ▲1.1 | 12,784 | ▲1.9 |
| 5 | 60.8 | 8.0 | 155 | 41.5 | 118 | 99.1 | 1,087 | 20.1 | 19.6 | 22.7 | 12.1 | 98.9 | ▲0.7 | 13,227 | 1.9 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 / 年月 | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯)熊本市 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 38,068 | 15.9 | 26,647 | 2.5 | 377,069 | ▲4.5 | 297,101 | ▲4.8 | 0.46 | 114 | ▲10.2 | 50,857 | 2.1 | 30,272 | 2.0 |
| 2011年 | 29,430 | ▲22.7 | 22,718 | ▲14.7 | 351,844 | ▲6.7 | 277,713 | ▲6.5 | 0.61 | 110 | ▲3.5 | 51,564 | 1.4 | 30,903 | 2.1 |
| 2012年 | 37,962 | 29.0 | 31,789 | 39.9 | 396,686 | 12.7 | 314,374 | 13.2 | 0.68 | 98 | ▲10.9 | 53,225 | 3.2 | 31,741 | 2.7 |
| 2012. 4 | 2,423 | 125.0 | 2,501 | 128.2 | 348,183 | 15.6 | 369,091 | 39.2 | 0.67 | 6 | 200.0 | 52,639 | 1.5 | 30,577 | 1.3 |
| 5 | 2,709 | 94.1 | 2,546 | 68.1 | 294,530 | 14.5 | 248,677 | ▲3.0 | 0.67 | 6 | 20.0 | 52,216 | 1.7 | 30,753 | 1.9 |
| 6 | 3,552 | 46.9 | 2,945 | 77.0 | 548,898 | 28.8 | 306,138 | 13.6 | 0.67 | 10 | 42.9 | 52,666 | 1.5 | 30,891 | 2.0 |
| 7 | 3,782 | 44.8 | 3,113 | 56.6 | 359,469 | 2.0 | 268,348 | ▲1.9 | 0.67 | 6 | ▲53.8 | 51,818 | 1.0 | 30,880 | 1.5 |
| 8 | 2,640 | 2.6 | 2,528 | 32.2 | 331,083 | 1.9 | 308,279 | 18.3 | 0.69 | 8 | ▲27.3 | 51,892 | 1.6 | 30,937 | 2.1 |
| 9 | 3,093 | ▲10.8 | 2,535 | 18.2 | 323,097 | 1.5 | 266,756 | 7.0 | 0.69 | 8 | ▲11.1 | 52,382 | 2.7 | 31,703 | 3.7 |
| 10 | 2,388 | ▲10.8 | 2,234 | 15.4 | 430,666 | 17.9 | 316,053 | 15.9 | 0.69 | 10 | 0.0 | 51,771 | 2.0 | 31,196 | 2.8 |
| 11 | 2,597 | ▲4.7 | 2,282 | 7.2 | 338,072 | 3.7 | 306,416 | 10.9 | 0.68 | 9 | ▲18.2 | 51,941 | 1.9 | 31,146 | 2.2 |
| 12 | 2,335 | ▲0.0 | 2,044 | 5.1 | 630,279 | ▲3.9 | 329,491 | 1.7 | 0.69 | 9 | ▲18.2 | 53,225 | 3.2 | 31,741 | 2.7 |
| 2013. 1 | 2,603 | ▲10.6 | 2,671 | 8.3 | 339,859 | ▲4.2 | 263,996 | ▲21.5 | 0.71 | 7 | ▲12.5 | 52,430 | 2.9 | 31,356 | 2.5 |
| 2 | 3,431 | ▲11.1 | 3,288 | 9.6 | 373,370 | ▲14.3 | 272,580 | ▲22.6 | 0.72 | 9 | 50.0 | 52,683 | 3.3 | 31,371 | 2.7 |
| 3 | 4,525 | ▲20.2 | 3,871 | 7.6 | 389,226 | 6.5 | 283,930 | ▲22.1 | 0.75 | 8 | ▲33.3 | 53,526 | 3.7 | 32,258 | 4.0 |
| 4 | 2,457 | 1.4 | 2,608 | 4.3 | 341,221 | ▲2.0 | 265,558 | ▲28.1 | 0.80 | 4 | ▲33.3 | 53,758 | 2.1 | 31,533 | 3.1 |
| 5 | 2,205 | ▲18.6 | 2,408 | ▲5.4 | 335,650 | 14.0 | 373,172 | 50.1 | 0.82 | 7 | 16.7 | 54,041 | 3.5 | 31,755 | 3.3 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 長崎 Nagasaki

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年＝100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 一般機械 季調値 | 一般機械 前年比(%) | 食料品 季調値 | 食料品 前年比(%) | 電子部品 季調値 | 電子部品 前年比(%) | 輸送機械 季調値 | 輸送機械 前年比(%) | 造船 生産高 億円 | 造船 生産高 前年比(%) | 機械等 生産高 億円 | 機械等 生産高 前年比(%) | 電子部品 生産高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | 142.8 | 13.5 | 197.4 | 60.4 | 105.7 | 4.6 | 205.6 | 8.0 | 106.7 | ▲3.6 | 1,954 | ▲8.3 | 2,506 | 0.9 | 11.1 |
| 2011 年 | 141.1 | ▲1.2 | 240.3 | 21.7 | 106.5 | 0.8 | 159.6 | ▲22.4 | 112.3 | 5.3 | 1,963 | 0.4 | 1,982 | ▲20.9 | ▲21.5 |
| 2012 年 | 128.8 | ▲8.7 | 177.1 | ▲26.3 | 111.2 | 4.5 | 143.3 | ▲10.2 | 130.4 | 16.1 | 1,626 | ▲17.2 | 2,080 | 5.0 | ▲16.3 |
| 2012. 4 | 147.3 | ▲14.7 | 184.4 | ▲52.1 | 110.0 | ▲0.2 | 208.8 | 22.2 | 149.2 | 27.4 | 144 | ▲5.7 | 162 | ▲2.6 | ▲31.2 |
| 5 | 144.4 | ▲6.6 | 186.1 | ▲34.5 | 106.3 | 4.7 | 203.6 | ▲3.0 | 138.9 | 39.0 | 134 | ▲10.1 | 145 | ▲9.8 | ▲32.9 |
| 6 | 136.7 | ▲15.0 | 170.2 | ▲31.0 | 108.9 | 4.4 | 166.2 | ▲32.3 | 143.6 | 40.5 | 156 | ▲10.5 | 187 | 12.0 | ▲22.7 |
| 7 | 125.8 | ▲16.7 | 142.9 | ▲39.2 | 109.5 | 3.2 | 140.6 | ▲31.4 | 149.8 | 47.6 | 120 | ▲19.1 | 190 | 18.6 | ▲22.6 |
| 8 | 127.2 | ▲13.3 | 183.9 | ▲22.8 | 109.8 | 2.0 | 132.6 | ▲32.8 | 163.6 | 55.9 | 118 | ▲29.4 | 179 | ▲8.7 | ▲24.0 |
| 9 | 121.6 | ▲6.5 | 187.2 | ▲18.3 | 110.5 | ▲2.9 | 115.0 | ▲11.6 | 129.7 | 23.9 | 145 | ▲10.5 | 159 | 29.8 | ▲7.7 |
| 10 | 108.7 | ▲10.6 | 158.5 | ▲32.9 | 113.4 | 12.5 | 127.7 | 6.4 | 96.4 | ▲13.0 | 121 | ▲42.4 | 179 | 18.7 | ▲12.8 |
| 11 | 114.8 | ▲3.4 | 183.5 | ▲21.6 | 116.9 | 11.7 | 103.3 | 157.7 | 85.9 | ▲29.3 | 113 | ▲32.3 | 174 | 10.6 | ▲7.3 |
| 12 | 117.6 | ▲1.4 | 184.6 | ▲3.0 | 115.0 | 3.2 | 124.5 | 40.5 | 90.3 | ▲27.7 | 135 | ▲15.8 | 167 | 1.0 | 9.4 |
| 2013. 1 | 139.0 | ▲10.7 | 198.0 | ▲3.0 | 112.1 | 4.3 | 151.2 | ▲5.4 | 89.5 | ▲31.6 | 133 | ▲9.0 | 153 | ▲5.4 | ▲11.4 |
| 2 | 117.7 | ▲16.3 | 194.2 | 6.1 | 113.3 | 2.1 | 89.7 | ▲45.9 | 93.1 | ▲33.0 | 111 | ▲29.1 | 170 | ▲11.5 | ▲14.6 |
| 3 | 110.0 | ▲13.7 | 196.8 | 17.6 | 120.0 | 3.4 | 81.0 | ▲45.7 | 94.7 | ▲36.0 | 145 | 5.3 | 195 | 6.0 | ▲11.4 |
| 4 | 120.1 | ▲18.2 | 172.7 | ▲8.0 | 117.8 | 8.4 | 134.6 | ▲35.9 | 102.2 | ▲30.9 | 112 | ▲22.1 | 174 | 7.7 | ▲3.9 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | 7.3 |
| 出所 | 長崎県統計課 | | | | | | | | | | 三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業 | | | | 日本銀行長崎支店 |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 漁業水揚金額 百万円 | 漁業水揚金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 新設住宅着工戸数 合計 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 持家 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 貸家 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 分譲 前年比(%) | 観光施設入場者数(主要6施設合計) 千人 | 観光施設入場者数(主要6施設合計) 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年＝100) 長崎市 指数 | 消費者物価指数(2010年＝100) 長崎市 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | ▲3.5 | 12.6 | 57,267 | ▲4.4 | 1,774 | ▲9.5 | 560 | ▲6.1 | 5,466 | ▲5.2 | 5.9 | ▲16.2 | ▲7.1 | 2,241 | ▲6.1 | 100.0 | ▲0.7 |
| 2011 年 | ▲12.2 | 18.5 | 63,871 | 11.5 | 1,590 | ▲10.4 | 761 | 35.9 | 5,501 | 0.6 | 0.9 | ▲8.2 | 72.5 | 2,013 | ▲10.2 | 99.5 | ▲0.5 |
| 2012 年 | ▲14.5 | 2.4 | 64,448 | 0.9 | 1,601 | 0.7 | 803 | 5.5 | 6,344 | 15.3 | 14.9 | 22.5 | ▲7.3 | 1,995 | ▲0.9 | 99.5 | 0.0 |
| 2012. 4 | ▲45.1 | 11.0 | 5,490 | ▲10.5 | 97 | 11.9 | 49 | 30.0 | 419 | ▲13.8 | 20.8 | ▲17.9 | ▲67.2 | 164 | 26.5 | 100.0 | 0.5 |
| 5 | 30.7 | 27.3 | 5,495 | ▲3.4 | 78 | ▲13.2 | 59 | ▲54.7 | 474 | 5.8 | 14.3 | ▲26.2 | 85.4 | 253 | ▲0.6 | 99.7 | 0.0 |
| 6 | 9.8 | ▲18.7 | 4,023 | ▲7.9 | 92 | ▲23.5 | 38 | ▲25.5 | 601 | 37.5 | 6.2 | 43.5 | 316.7 | 118 | ▲8.5 | 99.2 | ▲0.2 |
| 7 | 20.8 | ▲13.5 | 3,803 | ▲16.2 | 161 | ▲15.3 | 59 | 102.2 | 458 | 3.4 | 0.4 | 3.6 | 23.8 | 140 | ▲4.3 | 99.2 | ▲0.1 |
| 8 | ▲33.8 | ▲17.6 | 4,010 | ▲17.5 | 184 | 31.3 | 44 | ▲26.4 | 553 | ▲11.8 | 1.2 | ▲0.9 | ▲59.1 | 257 | ▲2.0 | 99.4 | 0.2 |
| 9 | 4.5 | 43.7 | 4,044 | ▲14.3 | 169 | 5.9 | 83 | 44.5 | 488 | 3.2 | 33.5 | ▲1.1 | ▲67.1 | 156 | ▲15.2 | 99.5 | ▲0.3 |
| 10 | ▲18.6 | ▲21.5 | 4,727 | ▲9.2 | 230 | 32.1 | 60 | ▲13.6 | 561 | 4.9 | 14.6 | 76.0 | ▲87.1 | 214 | ▲0.9 | 99.3 | ▲0.6 |
| 11 | ▲75.1 | ▲47.6 | 5,525 | ▲8.1 | 128 | 5.5 | 25 | ▲63.9 | 520 | 7.2 | ▲16.2 | 0.6 | 195.0 | 202 | ▲0.9 | 99.2 | ▲0.1 |
| 12 | 215.7 | 63.4 | 6,441 | ▲3.1 | 109 | ▲23.7 | 51 | 13.5 | 491 | 50.6 | 70.1 | ▲0.6 | 560.0 | 117 | 6.5 | 99.1 | ▲0.1 |
| 2013. 1 | 63.0 | ▲2.1 | 5,109 | ▲5.4 | 93 | 46.4 | 33 | ▲55.5 | 478 | ▲17.3 | 3.5 | ▲0.5 | ▲82.8 | 103 | ▲3.8 | 99.0 | ▲0.7 |
| 2 | ▲77.9 | ▲1.5 | 4,335 | ▲12.9 | 53 | ▲55.6 | 111 | 29.7 | 457 | ▲20.4 | ▲29.1 | 11.0 | ▲75.7 | 148 | 41.5 | 99.0 | ▲0.7 |
| 3 | ▲21.7 | ▲16.3 | 5,770 | 5.8 | 259 | 53.8 | 49 | ▲71.9 | 573 | ▲8.6 | 1.8 | ▲57.7 | 1,416.7 | 179 | 10.0 | 99.1 | ▲0.9 |
| 4 | ▲7.8 | 63.9 | 5,571 | 1.5 | 125 | 28.5 | 68 | 37.7 | 669 | 59.7 | 14.7 | 113.5 | 161.0 | 172 | 5.2 | 99.1 | ▲0.9 |
| 5 | 48.6 | ▲16.3 | 5,099 | ▲7.2 | 90 | 15.3 | 77 | 29.9 | 498 | 5.1 | ▲8.5 | 79.3 | ▲70.8 | 271 | 7.4 | 99.3 | ▲0.5 |
| 出所 | 財務省 | | 県内主要４魚市場 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 長崎県観光振興推進本部 | | 総務省 | |

| 項目 / 年月 | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 乗用車 軽乗用車販売台数 台 | 乗用車 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | 120,621 | ▲1.0 | 23,656 | 13.1 | 21,371 | ▲1.6 | 448,225 | 15.5 | 311,550 | 1.0 | 0.46 | 72 | ▲41.0 | 42,018 | 1.1 | 22,815 | ▲0.8 |
| 2011 年 | 121,789 | ▲1.9 | 18,633 | ▲21.2 | 18,210 | ▲14.8 | 336,448 | ▲24.9 | 271,058 | ▲13.0 | 0.58 | 78 | 8.3 | 42,677 | 1.6 | 23,035 | 1.0 |
| 2012 年 | 117,232 | ▲3.7 | 23,255 | 24.8 | 24,759 | 36.0 | 333,216 | ▲1.0 | 275,314 | 1.6 | 0.64 | 76 | ▲2.6 | 43,379 | 1.6 | 23,456 | 1.8 |
| 2012. 4 | 9,201 | ▲4.9 | 1,435 | 114.5 | 1,877 | 81.7 | 297,119 | ▲5.2 | 258,260 | ▲12.5 | 0.62 | 5 | 66.7 | 43,899 | 2.3 | 22,920 | 0.5 |
| 5 | 9,479 | ▲5.3 | 1,624 | 69.5 | 1,995 | 66.7 | 230,982 | ▲20.9 | 250,228 | ▲4.3 | 0.62 | 10 | 42.9 | 43,070 | 0.9 | 22,992 | 0.3 |
| 6 | 9,100 | ▲7.2 | 2,166 | 45.1 | 2,376 | 85.3 | 413,004 | 12.5 | 228,946 | ▲8.2 | 0.62 | 8 | 14.3 | 43,711 | 1.4 | 23,096 | 1.3 |
| 7 | 10,790 | ▲11.6 | 2,341 | 35.9 | 2,418 | 49.4 | 335,831 | ▲5.7 | 269,174 | ▲3.4 | 0.63 | 6 | ▲25.0 | 43,172 | 0.6 | 23,144 | 0.6 |
| 8 | 9,901 | 1.7 | 1,618 | 0.5 | 1,804 | 23.2 | 317,537 | 10.3 | 305,521 | 26.8 | 0.65 | 5 | ▲16.7 | 43,230 | 1.5 | 23,230 | 1.2 |
| 9 | 8,627 | ▲1.3 | 1,934 | ▲14.6 | 1,949 | 13.7 | 293,230 | 3.6 | 314,710 | 27.9 | 0.65 | 3 | 50.0 | 42,971 | 1.5 | 23,521 | 2.9 |
| 10 | 9,047 | ▲2.9 | 1,461 | ▲12.4 | 1,622 | 2.0 | 298,327 | ▲7.9 | 261,589 | ▲1.4 | 0.66 | 8 | 33.3 | 42,670 | 0.8 | 23,191 | 1.4 |
| 11 | 9,844 | 2.5 | 1,588 | ▲5.1 | 1,780 | 10.1 | 283,582 | ▲3.7 | 301,154 | 27.4 | 0.65 | 10 | ▲9.1 | 42,851 | 0.5 | 23,164 | 1.6 |
| 12 | 12,738 | ▲1.2 | 1,388 | ▲5.7 | 1,688 | 4.8 | 677,457 | 24.9 | 335,310 | 25.4 | 0.65 | 5 | ▲28.6 | 43,379 | 1.6 | 23,456 | 1.8 |
| 2013. 1 | 10,684 | 1.3 | 1,761 | ▲11.3 | 2,167 | 10.2 | 340,535 | 33.4 | 315,207 | 30.2 | 0.67 | 4 | ▲33.3 | 43,162 | 1.4 | 23,225 | 1.0 |
| 2 | 8,615 | ▲1.2 | 2,094 | ▲12.2 | 2,267 | 3.0 | 348,963 | 8.6 | 275,922 | 12.1 | 0.68 | 4 | 0.0 | 43,209 | 1.3 | 23,288 | 1.3 |
| 3 | 10,037 | 8.7 | 2,914 | ▲12.5 | 3,165 | 2.7 | 319,064 | 16.1 | 300,322 | 3.4 | 0.70 | 2 | ▲66.7 | 44,298 | 1.7 | 23,961 | 2.0 |
| 4 | 9,073 | ▲1.4 | 1,424 | ▲0.8 | 1,976 | 5.3 | 381,014 | 28.2 | 362,766 | 40.5 | 0.71 | 5 | 0.0 | 44,439 | 1.2 | 23,403 | 2.1 |
| 5 | 9,618 | 1.5 | 1,366 | ▲15.9 | 1,824 | ▲8.6 | 301,634 | 30.6 | 264,538 | 5.7 | 0.71 | 3 | ▲70.0 | 44,334 | 2.9 | 23,727 | 3.2 |
| 出所 | 九州経済産業局 | | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

（注） 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。
観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 一般機械 季調値 | 一般機械 前年比(%) | 電子部品 季調値 | 電子部品 前年比(%) | 化学 季調値 | 化学 前年比(%) | 食料品 季調値 | 食料品 前年比(%) | 鉱工業出荷指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業出荷指数 前年比(%) | 鉱工業在庫指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業在庫指数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | 100.2 | 18.0 | 49.4 | 12.9 | 112.3 | 41.9 | 114.3 | ▲5.1 | 93.7 | 1.1 | 92.9 | 14.3 | 92.6 | 0.5 |
| 2011 年 | 100.3 | 0.0 | 54.1 | 9.4 | 98.4 | ▲12.3 | 133.2 | 16.6 | 98.1 | 4.7 | 92.7 | ▲0.3 | 95.8 | 3.5 |
| 2012 年 | 94.0 | ▲6.3 | 45.8 | ▲15.3 | 84.2 | ▲14.5 | 130.4 | ▲2.1 | 97.8 | ▲0.3 | 88.0 | ▲5.1 | 95.9 | 0.1 |
| 2012. 4 | 99.6 | ▲6.2 | 56.0 | ▲23.9 | 100.1 | ▲4.7 | 152.1 | ▲5.8 | 98.6 | 3.2 | 92.7 | ▲4.6 | 103.0 | 6.9 |
| 5 | 97.8 | ▲4.5 | 45.5 | ▲19.4 | 101.0 | ▲8.7 | 152.1 | 7.7 | 96.7 | 1.8 | 91.7 | ▲2.7 | 100.2 | 3.9 |
| 6 | 91.5 | ▲10.1 | 34.7 | ▲34.5 | 86.9 | ▲11.7 | 125.9 | ▲4.9 | 95.3 | ▲3.8 | 86.1 | ▲8.0 | 98.5 | 1.6 |
| 7 | 89.5 | ▲8.4 | 50.8 | 10.9 | 84.1 | ▲10.2 | 98.1 | ▲28.2 | 98.6 | ▲1.5 | 85.8 | ▲6.0 | 96.0 | 2.4 |
| 8 | 91.6 | ▲6.0 | 48.9 | ▲4.2 | 75.0 | ▲18.9 | 113.5 | ▲19.4 | 95.8 | ▲1.8 | 86.6 | ▲4.5 | 93.4 | ▲3.2 |
| 9 | 88.9 | ▲8.4 | 39.8 | ▲5.2 | 74.1 | ▲19.1 | 120.9 | ▲18.3 | 99.1 | 1.8 | 82.2 | ▲7.7 | 97.1 | 0.5 |
| 10 | 92.9 | ▲5.3 | 45.4 | ▲15.5 | 68.2 | ▲26.2 | 139.5 | 8.3 | 95.9 | ▲2.6 | 87.1 | ▲4.2 | 91.6 | ▲5.8 |
| 11 | 92.1 | ▲8.7 | 39.8 | ▲34.0 | 73.8 | ▲18.0 | 154.6 | 10.1 | 94.7 | ▲8.0 | 85.1 | ▲7.2 | 94.1 | ▲4.6 |
| 12 | 93.6 | ▲3.5 | 53.3 | 14.8 | 88.4 | ▲0.9 | 124.5 | ▲10.1 | 94.2 | ▲5.3 | 88.3 | ▲2.0 | 95.9 | ▲0.7 |
| 2013. 1 | 94.5 | ▲2.0 | 35.0 | ▲17.4 | 85.9 | 0.4 | 125.1 | 8.7 | 97.0 | ▲5.5 | 88.1 | ▲1.5 | 95.3 | ▲0.1 |
| 2 | 96.6 | ▲3.8 | 45.2 | ▲21.8 | 68.5 | ▲20.2 | 126.8 | ▲0.8 | 95.8 | ▲7.8 | 90.8 | ▲1.1 | 89.5 | ▲2.7 |
| 3 | 92.7 | ▲4.2 | 41.4 | 3.1 | 81.7 | ▲12.2 | 117.5 | ▲19.2 | 95.4 | ▲4.5 | 87.7 | ▲3.6 | 93.9 | ▲2.2 |
| 4 | 91.3 | ▲7.5 | 36.9 | ▲34.9 | 71.3 | ▲29.1 | 120.5 | ▲17.6 | 95.2 | ▲2.4 | 88.6 | ▲3.4 | 94.4 | ▲8.2 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 佐賀県統計調査課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100) 佐賀市 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | 12.9 | 21.2 | 1,058 | ▲15.3 | 647 | 68.7 | 4,075 | ▲9.0 | 3.4 | ▲31.7 | 135.7 | 100.0 | ▲0.8 | 69,828 | 1.2 |
| 2011 年 | ▲39.4 | ▲12.1 | 978 | ▲7.5 | 662 | 2.3 | 4,417 | 8.4 | 2.9 | 10.6 | 60.9 | 99.4 | ▲0.7 | 70,066 | 0.3 |
| 2012 年 | 15.6 | 11.4 | 1,077 | 10.1 | 596 | ▲10.0 | 4,524 | 2.4 | ▲0.8 | 12.3 | ▲20.2 | 99.3 | ▲0.1 | 67,989 | ▲3.0 |
| 2012. 4 | 18.0 | ▲6.6 | 125 | ▲31.7 | 75 | ▲15.0 | 409 | 29.4 | 1.7 | 104.7 | ▲1.9 | 99.8 | 0.1 | 5,391 | ▲4.3 |
| 5 | 1.9 | 38.6 | 86 | 16.6 | 20 | ▲71.4 | 312 | 11.0 | 7.2 | 17.5 | 0.0 | 99.6 | 0.3 | 5,357 | ▲3.9 |
| 6 | 131.3 | ▲21.4 | 80 | 115.4 | 58 | 136.3 | 345 | 2.7 | ▲4.9 | 12.1 | 8.3 | 99.0 | 0.1 | 5,319 | ▲1.5 |
| 7 | ▲94.0 | 67.0 | 99 | 46.5 | 73 | 45.1 | 432 | ▲35.1 | ▲8.9 | ▲61.3 | 30.0 | 99.0 | ▲0.3 | 5,994 | ▲5.9 |
| 8 | ▲9.2 | ▲25.3 | 87 | 28.8 | 31 | ▲15.7 | 293 | ▲19.1 | ▲19.5 | 19.0 | ▲68.9 | 99.2 | ▲0.2 | 5,866 | ▲2.3 |
| 9 | 117.6 | 55.9 | 96 | ▲2.9 | 93 | 178.2 | 361 | 19.1 | 33.9 | 44.2 | ▲56.9 | 99.1 | ▲0.3 | 5,046 | ▲2.1 |
| 10 | ▲5.6 | 36.7 | 105 | 10.4 | 63 | 76.3 | 478 | 45.7 | ▲5.7 | 187.8 | ▲21.4 | 99.1 | ▲0.3 | 5,420 | ▲2.4 |
| 11 | ▲13.4 | 6.0 | 80 | 27.7 | 57 | ▲44.8 | 498 | ▲5.3 | 5.0 | 3.8 | ▲62.6 | 98.9 | ▲0.3 | 5,717 | 1.2 |
| 12 | 59.0 | ▲0.9 | 103 | 75.2 | 52 | ▲5.6 | 449 | ▲13.3 | 3.1 | 4.2 | ▲73.9 | 98.7 | ▲0.4 | 7,182 | ▲3.3 |
| 2013. 1 | ▲26.1 | 44.2 | 63 | 45.7 | 62 | 130.7 | 372 | 42.5 | 9.3 | 32.1 | 677.8 | 98.8 | ▲0.6 | 6,058 | ▲4.2 |
| 2 | 1,829.1 | ▲13.8 | 43 | ▲24.8 | 46 | 64.8 | 493 | 51.2 | 13.5 | 180.2 | ▲28.6 | 98.5 | ▲1.0 | 4,957 | ▲2.8 |
| 3 | 863.1 | ▲2.6 | 70 | ▲39.4 | 40 | 115.0 | 372 | 3.3 | 15.0 | 12.0 | ▲45.8 | 98.7 | ▲1.2 | 5,501 | 4.3 |
| 4 | ▲91.1 | ▲16.7 | 113 | ▲9.7 | 61 | ▲18.9 | 546 | 33.5 | 16.5 | 13.8 | 166.7 | 98.9 | ▲0.8 | 5,224 | ▲3.1 |
| 5 | ▲32.8 | ▲12.4 | 88 | 2.0 | 43 | 115.6 | 339 | 8.7 | 28.0 | ▲24.6 | 92.9 | 99.1 | ▲0.5 | 5,379 | 0.4 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 乗用車 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010 年 | 16,289 | 14.7 | 12,945 | ▲5.0 | 456,205 | 4.1 | 326,601 | ▲1.8 | 0.49 | 47 | ▲21.7 | 21,104 | 1.7 | 11,214 | ▲0.2 |
| 2011 年 | 12,548 | ▲23.0 | 11,414 | ▲11.8 | 429,542 | ▲5.8 | 314,463 | ▲3.7 | 0.62 | 45 | ▲4.3 | 21,268 | 0.8 | 11,217 | 0.0 |
| 2012 年 | 15,960 | 27.2 | 15,561 | 36.3 | 430,581 | 0.2 | 322,774 | 2.6 | 0.72 | 57 | 26.7 | 21,627 | 1.7 | 11,261 | 0.4 |
| 2012. 4 | 895 | 88.4 | 1,219 | 105.6 | 407,394 | 1.0 | 375,604 | 29.0 | 0.71 | 2 | 0.0 | 21,638 | 0.3 | 11,108 | ▲1.3 |
| 5 | 1,095 | 73.0 | 1,272 | 77.2 | 331,209 | 6.8 | 304,429 | 7.5 | 0.72 | 5 | ▲28.6 | 21,512 | 0.5 | 11,133 | ▲0.5 |
| 6 | 1,444 | 37.7 | 1,462 | 68.8 | 632,514 | 21.0 | 289,026 | ▲14.8 | 0.74 | 4 | 33.3 | 21,861 | 1.4 | 11,180 | 0.5 |
| 7 | 1,657 | 54.6 | 1,463 | 57.5 | 468,133 | 2.3 | 301,925 | ▲14.7 | 0.73 | 5 | 25.0 | 21,548 | 0.5 | 11,155 | ▲0.6 |
| 8 | 1,013 | 5.5 | 1,122 | 32.6 | 398,897 | 2.9 | 279,484 | ▲7.0 | 0.74 | 4 | ▲33.3 | 21,488 | 1.4 | 11,143 | ▲0.1 |
| 9 | 1,381 | ▲3.6 | 1,158 | 2.7 | 300,565 | ▲16.7 | 269,585 | ▲3.6 | 0.74 | 6 | 50.0 | 21,407 | 1.7 | 11,324 | 1.8 |
| 10 | 1,038 | ▲5.7 | 1,056 | 0.3 | 386,621 | ▲7.1 | 342,069 | ▲0.3 | 0.74 | 6 | 50.0 | 21,212 | 0.8 | 11,145 | 0.2 |
| 11 | 1,071 | ▲7.4 | 1,135 | 18.0 | 332,343 | ▲11.0 | 271,193 | ▲16.5 | 0.73 | 6 | 200.0 | 21,278 | 0.9 | 11,135 | 0.1 |
| 12 | 953 | ▲4.2 | 983 | ▲6.6 | 703,010 | ▲5.6 | 396,460 | 1.4 | 0.73 | 3 | ▲25.0 | 21,627 | 1.7 | 11,261 | 0.4 |
| 2013. 1 | 1,184 | ▲14.0 | 1,251 | 0.9 | 375,326 | 2.8 | 348,346 | 0.2 | 0.78 | 2 | ▲60.0 | 21,459 | 1.9 | 11,172 | 0.4 |
| 2 | 1,476 | ▲11.4 | 1,469 | 0.5 | 422,361 | ▲4.7 | 289,718 | ▲16.0 | 0.79 | 1 | ▲87.5 | 21,455 | 1.4 | 11,180 | 0.3 |
| 3 | 1,937 | ▲18.3 | 1,879 | ▲5.6 | 334,443 | ▲16.0 | 391,470 | 11.5 | 0.80 | 6 | 100.0 | 22,270 | 2.3 | 11,431 | 1.4 |
| 4 | 948 | 5.9 | 1,199 | ▲1.6 | 415,698 | 2.0 | 385,153 | 2.5 | 0.77 | 6 | 200.0 | 22,019 | 1.8 | 11,190 | 0.7 |
| 5 | 948 | ▲13.4 | 1,187 | ▲6.7 | 286,774 | ▲13.4 | 301,996 | ▲0.8 | 0.75 | 5 | 0.0 | 22,105 | 2.8 | 11,305 | 1.5 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 大分 Oita

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 | | 鉄鋼 | | 情報通信 | | 電子部品 | | 化学 | | 鉱工業出荷指数(2005年=100) | | 鉱工業在庫指数(2005年=100) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) | 季調値 | 前年比(%) |
| 2010年 | 98.5 | 7.5 | 111.7 | 31.9 | 81.6 | ▲15.6 | 88.7 | 18.5 | 89.9 | ▲0.6 | 103.9 | 9.8 | 96.8 | 5.3 |
| 2011年 | 96.1 | ▲2.5 | 114.1 | 2.1 | 59.7 | ▲26.9 | 86.6 | ▲2.4 | 97.9 | 9.0 | 101.4 | ▲2.4 | 100.7 | 4.0 |
| 2012年 | 97.1 | 1.1 | 117.9 | 3.4 | 44.2 | ▲26.0 | 94.5 | 9.1 | 84.5 | ▲13.7 | 101.5 | 0.1 | 92.4 | ▲8.2 |
| 2012. 4 | 95.6 | 3.0 | 137.5 | 6.3 | 29.3 | ▲13.6 | 94.1 | 3.4 | 50.0 | ▲51.7 | 99.4 | 1.5 | 92.0 | ▲12.5 |
| 5 | 89.6 | ▲0.8 | 119.0 | 15.3 | 25.4 | ▲30.3 | 101.1 | 20.5 | 50.9 | ▲44.6 | 92.4 | ▲1.4 | 85.8 | ▲16.5 |
| 6 | 96.8 | ▲0.4 | 117.7 | 4.5 | 59.0 | ▲17.9 | 100.1 | 23.2 | 79.9 | ▲17.2 | 99.9 | ▲3.6 | 97.0 | ▲3.4 |
| 7 | 101.3 | 0.5 | 127.6 | 15.7 | 50.9 | ▲47.0 | 93.8 | 7.4 | 97.4 | 0.1 | 110.1 | 2.9 | 94.5 | ▲8.8 |
| 8 | 98.6 | ▲1.2 | 120.2 | 13.6 | 47.5 | ▲46.3 | 101.1 | 13.0 | 91.8 | 1.5 | 102.0 | ▲6.4 | 92.7 | ▲6.9 |
| 9 | 93.5 | ▲1.9 | 104.8 | 5.6 | 31.2 | ▲55.2 | 90.2 | 5.1 | 95.7 | 12.4 | 96.2 | ▲7.4 | 95.0 | ▲4.8 |
| 10 | 92.0 | ▲3.7 | 115.5 | ▲0.8 | 29.4 | ▲48.3 | 81.8 | ▲0.8 | 94.6 | ▲2.7 | 95.4 | ▲6.0 | 90.5 | ▲9.7 |
| 11 | 94.0 | 2.6 | 117.4 | 3.2 | 40.7 | 174.7 | 80.3 | ▲7.8 | 88.7 | ▲5.5 | 95.5 | 4.6 | 93.8 | ▲3.7 |
| 12 | 101.9 | 2.9 | 121.2 | 7.1 | 60.0 | 12.7 | 91.4 | 0.8 | 90.3 | 0.0 | 105.5 | ▲0.9 | 93.6 | ▲2.4 |
| 2013. 1 | 96.2 | ▲3.5 | 118.3 | 1.6 | 37.0 | ▲48.6 | 93.4 | ▲11.5 | 92.2 | 0.6 | 97.9 | ▲6.2 | 95.3 | ▲2.5 |
| 2 | 90.6 | ▲7.4 | 95.1 | ▲7.3 | 23.4 | ▲56.7 | 97.3 | ▲1.3 | 93.1 | ▲4.0 | 99.2 | ▲8.9 | 86.7 | ▲1.0 |
| 3 | 92.9 | ▲12.2 | 118.6 | 2.5 | 23.8 | ▲57.4 | 68.3 | ▲36.5 | 122.0 | 73.4 | 96.3 | ▲13.4 | 95.5 | 6.8 |
| 4 | 95.1 | ▲0.1 | 138.4 | ▲0.5 | 16.3 | ▲44.2 | 93.3 | ▲1.7 | 109.8 | 119.1 | 100.1 | 1.6 | 98.8 | 7.4 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 大分県統計調査課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 | 輸入金額 | 公共工事保証請負金額 | | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) | | 新設住宅着工戸数 合計 | | 持家 | 貸家 | 分譲 | 消費者物価指数(2010年=100)大分市 | | 大型小売店販売額 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前年比(%) | 前年比(%) | 億円 | 前年比(%) | 億円 | 前年比(%) | 戸 | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) | 指数 | 前年比(%) | 百万円 | 前年比(%) |
| 2010年 | 18.4 | 37.5 | 1,536 | 7.8 | 742 | 43.9 | 5,758 | ▲1.4 | 12.2 | ▲21.4 | 67.5 | 100.0 | ▲1.4 | 123,366 | ▲0.0 |
| 2011年 | 13.5 | 24.5 | 1,288 | ▲16.1 | 958 | 29.2 | 5,691 | ▲1.2 | 1.9 | ▲12.3 | 30.3 | 99.7 | ▲0.3 | 124,448 | 0.9 |
| 2012年 | ▲10.8 | ▲5.2 | 1,396 | 8.3 | 635 | ▲33.8 | 6,670 | 17.2 | 1.4 | 19.6 | 65.1 | 99.9 | 0.2 | 123,046 | ▲1.1 |
| 2012. 4 | 20.8 | 0.7 | 149 | ▲26.8 | 60 | 48.2 | 698 | 69.8 | 18.9 | 11.6 | 1,184.2 | 100.5 | 0.8 | 9,483 | ▲1.4 |
| 5 | 4.3 | 10.5 | 71 | 76.0 | 51 | ▲78.1 | 438 | ▲33.2 | ▲10.5 | ▲36.7 | ▲66.3 | 100.5 | 0.6 | 9,754 | ▲0.5 |
| 6 | ▲3.5 | ▲25.8 | 87 | 29.6 | 60 | ▲48.6 | 495 | ▲22.5 | ▲15.8 | ▲2.6 | ▲77.1 | 99.7 | 0.1 | 9,113 | ▲1.7 |
| 7 | 3.4 | ▲14.7 | 90 | 10.3 | 53 | ▲47.4 | 594 | 41.1 | ▲6.8 | 51.7 | 828.6 | 99.4 | ▲0.3 | 11,420 | ▲3.0 |
| 8 | ▲21.0 | ▲11.6 | 108 | ▲0.6 | 55 | 14.6 | 570 | ▲18.3 | 10.2 | ▲22.7 | ▲70.1 | 99.9 | 0.1 | 10,096 | ▲1.2 |
| 9 | ▲22.2 | 6.4 | 179 | ▲20.7 | 58 | 20.0 | 763 | 40.8 | 21.7 | ▲11.5 | 247.8 | 99.9 | 0.1 | 8,814 | ▲1.3 |
| 10 | ▲25.0 | ▲26.8 | 153 | 7.8 | 59 | ▲24.0 | 576 | 31.2 | ▲6.6 | 138.8 | ▲13.2 | 99.9 | ▲0.1 | 9,850 | ▲3.3 |
| 11 | ▲4.2 | 7.0 | 88 | 28.8 | 81 | ▲26.8 | 632 | 73.6 | 30.7 | 37.1 | 1,354.5 | 99.3 | ▲0.2 | 10,245 | 1.4 |
| 12 | ▲26.1 | 7.8 | 161 | 94.0 | 61 | 19.4 | 625 | 31.3 | ▲2.0 | 91.0 | 25.6 | 99.3 | ▲0.1 | 13,488 | ▲4.7 |
| 2013. 1 | 16.4 | 20.2 | 101 | 41.8 | 44 | 22.1 | 734 | 58.5 | 13.9 | 42.5 | 576.9 | 99.2 | ▲0.7 | 10,756 | ▲3.3 |
| 2 | 17.0 | 41.2 | 108 | 44.3 | 51 | 51.7 | 452 | ▲10.8 | 0.0 | ▲27.2 | 9.1 | 99.2 | ▲1.0 | 8,998 | ▲4.8 |
| 3 | 4.4 | 1.8 | 172 | 5.1 | 38 | 39.9 | 436 | 41.1 | 17.6 | 185.4 | ▲35.6 | 99.4 | ▲1.1 | 10,262 | 0.5 |
| 4 | 8.9 | 25.9 | 259 | 73.2 | 184 | 208.3 | 599 | ▲14.2 | ▲3.7 | 41.0 | ▲68.4 | 99.7 | ▲0.8 | 9,112 | ▲3.9 |
| 5 | 42.8 | 25.2 | 136 | 91.6 | 61 | 18.6 | 623 | 42.2 | 11.7 | 87.2 | 33.3 | 99.6 | ▲0.9 | 9,541 | ▲2.2 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 | 乗用車 乗用車新規登録台数 | | 軽乗用車販売台数 | | 家計消費支出(勤労者世帯)大分市 可処分所得 | | 消費支出 | | 有効求人倍率 | 倒産件数 | | 預金残高 | | 貸金残高 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 台 | 前年比(%) | 台 | 前年比(%) | 円 | 前年比(%) | 円 | 前年比(%) | 倍 | 件 | 前年比(%) | 億円 | 前年比(%) | 億円 | 前年比(%) |
| 2010年 | 25,763 | 13.2 | 18,048 | 0.3 | 425,081 | ▲4.2 | 294,219 | ▲2.8 | 0.54 | 71 | ▲26.8 | 32,839 | 2.5 | 21,176 | 0.7 |
| 2011年 | 20,956 | ▲18.7 | 15,760 | ▲12.7 | 446,998 | 5.2 | 320,368 | 8.9 | 0.66 | 66 | ▲7.0 | 33,559 | 2.2 | 21,078 | ▲0.5 |
| 2012年 | 25,785 | 23.0 | 21,346 | 35.4 | 464,878 | 4.0 | 341,720 | 6.7 | 0.73 | 67 | 1.5 | 33,721 | 0.5 | 21,245 | 0.8 |
| 2012. 4 | 1,655 | 95.6 | 1,630 | 98.5 | 405,474 | 8.1 | 376,942 | 18.4 | 0.71 | 9 | 350.0 | 33,671 | 0.6 | 20,861 | ▲0.7 |
| 5 | 1,799 | 61.8 | 1,803 | 91.6 | 346,758 | 16.0 | 337,998 | 11.7 | 0.73 | 8 | 33.3 | 33,512 | ▲0.1 | 21,004 | 0.1 |
| 6 | 2,388 | 30.6 | 2,012 | 78.8 | 685,671 | 21.0 | 279,091 | 0.9 | 0.74 | 5 | ▲28.6 | 33,943 | 0.3 | 20,972 | 0.6 |
| 7 | 2,693 | 46.6 | 2,133 | 45.4 | 475,253 | 2.2 | 322,043 | 3.2 | 0.74 | 4 | 100.0 | 33,585 | 0.2 | 21,015 | 0.2 |
| 8 | 1,763 | 17.5 | 1,549 | 28.9 | 410,537 | 9.3 | 377,515 | 17.3 | 0.75 | 5 | 25.0 | 33,512 | 0.1 | 20,955 | 0.6 |
| 9 | 2,172 | ▲13.2 | 1,643 | 2.6 | 390,266 | 16.2 | 370,918 | 9.1 | 0.75 | 4 | ▲63.6 | 33,575 | 1.7 | 21,328 | 2.4 |
| 10 | 1,598 | ▲14.4 | 1,300 | 1.6 | 417,113 | 0.9 | 347,208 | 4.6 | 0.75 | 6 | 0.0 | 33,369 | 0.3 | 21,030 | 1.3 |
| 11 | 1,785 | ▲8.1 | 1,520 | 4.9 | 406,511 | 10.1 | 347,186 | 18.5 | 0.75 | 3 | ▲50.0 | 33,466 | 0.5 | 20,936 | 0.3 |
| 12 | 1,562 | ▲5.1 | 1,454 | 5.4 | 825,735 | ▲12.8 | 373,965 | ▲7.4 | 0.75 | 5 | ▲16.7 | 33,721 | 0.5 | 21,245 | 0.8 |
| 2013. 1 | 1,941 | ▲7.4 | 1,681 | ▲3.1 | 374,808 | ▲2.5 | 325,979 | 6.2 | 0.75 | 4 | ▲42.9 | 33,422 | 0.1 | 21,151 | 1.4 |
| 2 | 2,372 | ▲9.6 | 2,065 | 1.9 | 400,762 | ▲7.3 | 301,221 | ▲18.2 | 0.74 | 7 | 40.0 | 33,596 | 0.4 | 21,186 | 1.4 |
| 3 | 3,083 | ▲15.6 | 2,737 | 7.7 | 376,841 | ▲5.4 | 356,159 | 21.9 | 0.74 | 2 | ▲66.7 | 34,140 | 1.6 | 21,358 | 1.7 |
| 4 | 1,595 | ▲3.6 | 1,584 | ▲2.8 | 369,929 | ▲8.8 | 343,334 | ▲8.9 | 0.77 | 6 | ▲33.3 | 34,362 | 2.1 | 21,183 | 1.5 |
| 5 | 1,630 | ▲9.4 | 1,552 | ▲13.9 | 335,041 | ▲3.4 | 325,465 | ▲3.7 | 0.78 | 9 | 12.5 | 34,131 | 1.8 | 21,185 | 0.9 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 宮崎 Miyazaki　経済指標

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 電子部品 季調値 | 電子部品 前年比(%) | 化学 季調値 | 化学 前年比(%) | 繊維 季調値 | 繊維 前年比(%) | 食料品 季調値 | 食料品 前年比(%) | 鉱工業出荷指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業出荷指数 前年比(%) | 鉱工業在庫指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業在庫指数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 102.8 | 24.4 | 134.1 | 91.0 | 93.6 | 16.2 | 87.5 | 13.4 | 98.1 | ▲6.2 | 99.2 | 14.6 | 120.9 | 6.0 |
| 2011年 | 93.2 | ▲9.3 | 97.9 | ▲27.0 | 92.2 | ▲1.5 | 91.0 | 4.1 | 93.8 | ▲4.3 | 94.0 | ▲5.2 | 122.7 | 1.5 |
| 2012年 | 94.2 | 1.0 | 99.0 | 1.1 | 83.3 | ▲9.7 | 92.2 | 1.3 | 103.3 | 10.2 | 94.3 | 0.3 | 119.9 | ▲2.3 |
| 2012. 4 | 93.5 | ▲2.5 | 87.0 | ▲22.2 | 85.2 | ▲14.7 | 94.4 | 1.2 | 102.0 | 8.2 | 95.9 | 0.3 | 121.0 | ▲1.9 |
| 5 | 94.8 | 1.8 | 87.4 | ▲15.2 | 92.1 | ▲5.8 | 93.4 | 2.5 | 106.6 | 15.3 | 94.3 | 3.2 | 121.1 | ▲1.5 |
| 6 | 85.3 | ▲11.7 | 69.7 | ▲35.4 | 80.2 | ▲13.4 | 92.3 | ▲1.8 | 98.0 | ▲4.8 | 91.6 | ▲6.1 | 119.4 | ▲2.1 |
| 7 | 91.5 | ▲0.1 | 95.4 | 4.9 | 84.6 | ▲3.3 | 91.6 | 4.5 | 94.7 | ▲0.6 | 94.4 | 2.1 | 117.9 | ▲4.9 |
| 8 | 95.8 | 2.8 | 107.0 | 17.0 | 83.0 | ▲7.6 | 89.8 | ▲4.3 | 110.7 | 20.4 | 93.0 | ▲2.3 | 118.9 | ▲4.0 |
| 9 | 89.7 | ▲1.4 | 85.6 | 1.0 | 82.3 | ▲3.3 | 95.8 | ▲6.0 | 99.1 | 11.2 | 90.5 | ▲3.7 | 120.5 | ▲2.1 |
| 10 | 94.5 | 8.8 | 100.8 | 28.4 | 89.1 | 0.5 | 93.0 | 21.9 | 107.3 | 15.3 | 92.4 | 2.2 | 120.5 | ▲1.8 |
| 11 | 90.5 | 5.9 | 96.5 | 21.8 | 71.7 | ▲15.7 | 92.4 | 7.4 | 105.1 | 14.9 | 91.3 | 3.4 | 118.6 | ▲2.5 |
| 12 | 92.0 | 6.4 | 104.8 | 39.7 | 81.1 | ▲1.1 | 86.4 | ▲1.1 | 105.4 | 11.7 | 91.6 | ▲0.2 | 119.3 | ▲0.4 |
| 2013. 1 | 93.7 | 0.0 | 106.5 | 16.3 | 85.5 | ▲4.1 | 93.3 | 4.5 | 105.5 | 3.2 | 91.8 | ▲1.9 | 120.5 | 0.3 |
| 2 | 89.3 | ▲9.8 | 88.5 | ▲18.1 | 83.9 | ▲3.4 | 95.5 | 1.9 | 105.3 | ▲1.0 | 92.8 | ▲6.5 | 118.1 | ▲2.3 |
| 3 | 94.0 | ▲15.1 | 106.4 | ▲33.7 | 77.5 | ▲2.8 | 96.2 | ▲3.1 | 102.0 | 0.4 | 92.9 | ▲11.7 | 119.9 | ▲0.7 |
| 4 | 95.6 | 2.5 | 105.5 | 20.2 | 77.8 | ▲8.5 | 92.2 | ▲1.1 | 108.7 | 5.6 | 93.7 | ▲1.6 | 121.3 | 0.2 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 宮崎県統計調査課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100) 宮崎市 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 16.2 | 29.5 | 1,474 | ▲15.2 | 659 | 32.0 | 5,738 | 2.4 | 4.9 | 5.6 | ▲18.5 | 100.0 | ▲1.2 | 90,594 | ▲2.9 |
| 2011年 | 2.4 | 16.8 | 1,375 | ▲6.7 | 622 | ▲5.6 | 6,076 | 5.9 | 9.0 | 1.4 | 12.1 | 99.8 | ▲0.2 | 89,145 | ▲2.5 |
| 2012年 | 14.2 | ▲11.9 | 1,366 | ▲0.7 | 520 | ▲16.4 | 6,754 | 11.2 | 0.1 | 13.8 | 55.1 | 99.9 | 0.1 | 88,398 | ▲0.8 |
| 2012. 4 | ▲2.3 | ▲38.6 | 126 | ▲19.2 | 36 | ▲45.3 | 569 | 23.4 | ▲6.0 | 95.1 | ▲9.3 | 100.7 | 1.1 | 7,200 | ▲2.1 |
| 5 | 9.1 | ▲6.9 | 80 | 78.9 | 25 | ▲20.7 | 680 | 80.4 | 23.8 | 72.0 | 448.6 | 100.2 | 0.6 | 7,131 | 0.8 |
| 6 | 5.8 | ▲32.3 | 127 | 26.1 | 25 | ▲55.0 | 504 | ▲16.0 | ▲2.0 | ▲38.1 | 54.2 | 99.6 | 0.0 | 6,723 | ▲1.7 |
| 7 | 25.8 | ▲8.5 | 124 | 36.7 | 47 | ▲22.1 | 592 | ▲8.8 | ▲12.8 | ▲34.1 | 51.6 | 99.5 | ▲0.2 | 7,833 | ▲1.7 |
| 8 | 16.6 | 4.0 | 113 | 21.2 | 67 | 39.2 | 529 | 1.3 | ▲11.1 | 8.4 | 104.2 | 99.8 | 0.2 | 7,496 | 1.6 |
| 9 | 25.3 | ▲35.8 | 121 | ▲13.2 | 84 | 98.7 | 556 | 18.6 | 25.9 | 46.1 | ▲57.1 | 100.1 | 0.1 | 6,407 | ▲0.1 |
| 10 | 33.0 | ▲1.4 | 167 | 21.1 | 51 | ▲6.7 | 687 | 31.6 | 8.5 | 78.2 | 14.7 | 100.0 | 0.1 | 6,979 | ▲2.5 |
| 11 | 19.7 | ▲33.0 | 99 | ▲6.7 | 46 | ▲5.6 | 672 | 19.4 | 16.9 | 59.1 | ▲52.9 | 99.3 | ▲0.6 | 7,339 | 1.7 |
| 12 | 41.3 | 36.2 | 90 | ▲10.4 | 53 | 3.8 | 588 | ▲21.8 | ▲18.7 | ▲39.2 | 178.6 | 99.5 | ▲0.5 | 9,634 | ▲2.7 |
| 2013. 1 | 9.7 | ▲28.9 | 112 | 25.9 | 20 | ▲24.2 | 586 | 8.5 | 19.4 | 5.5 | ▲30.5 | 99.9 | ▲0.1 | 7,942 | ▲1.5 |
| 2 | 21.2 | 50.9 | 74 | 17.2 | 47 | 41.1 | 450 | ▲0.2 | 5.7 | 54.7 | ▲60.7 | 99.5 | ▲0.5 | 6,284 | ▲4.5 |
| 3 | 32.1 | 7.9 | 131 | ▲21.5 | 25 | 0.4 | 472 | 22.3 | 7.4 | 30.3 | 60.7 | 99.7 | ▲0.9 | 7,256 | 3.4 |
| 4 | 24.6 | 18.1 | 141 | 12.4 | 117 | 228.7 | 673 | 18.3 | 12.0 | ▲22.6 | 353.8 | 99.8 | ▲0.9 | 6,938 | ▲3.6 |
| 5 | 28.6 | ▲3.9 | 221 | 175.1 | 78 | 205.1 | 751 | 10.4 | 27.3 | 33.0 | ▲38.5 | 99.7 | ▲0.5 | 7,068 | ▲0.9 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 / 年月 | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 乗用車 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 23,603 | 14.2 | 17,073 | ▲2.8 | 369,981 | 13.6 | 301,201 | 11.2 | 0.45 | 65 | ▲15.6 | 24,839 | 2.6 | 17,256 | 5.0 |
| 2011年 | 18,199 | ▲22.9 | 14,632 | ▲14.3 | 374,940 | 1.3 | 287,889 | ▲4.4 | 0.58 | 57 | ▲12.3 | 25,446 | 2.4 | 17,771 | 3.0 |
| 2012年 | 23,989 | 31.8 | 20,879 | 42.7 | 326,592 | ▲12.9 | 263,379 | ▲8.5 | 0.69 | 68 | 19.3 | 25,954 | 2.0 | 18,421 | 3.7 |
| 2012. 4 | 1,604 | 148.3 | 1,690 | 153.4 | 264,416 | ▲19.7 | 272,135 | ▲24.2 | 0.67 | 6 | ▲14.3 | 25,897 | 1.8 | 17,612 | 3.3 |
| 5 | 1,768 | 102.3 | 1,734 | 81.2 | 211,717 | ▲24.6 | 260,047 | 9.0 | 0.69 | 6 | 20.0 | 25,621 | 1.0 | 17,620 | 3.0 |
| 6 | 2,226 | 47.3 | 1,961 | 83.1 | 487,485 | ▲9.8 | 243,554 | ▲7.8 | 0.71 | 3 | 0.0 | 26,015 | 1.5 | 17,713 | 3.0 |
| 7 | 2,532 | 36.7 | 2,017 | 48.7 | 304,744 | ▲28.3 | 256,928 | ▲11.7 | 0.71 | 3 | ▲57.1 | 25,742 | 2.2 | 17,744 | 2.8 |
| 8 | 1,678 | 14.7 | 1,584 | 39.8 | 282,765 | ▲30.4 | 229,167 | ▲16.6 | 0.72 | 7 | ▲22.2 | 25,666 | 2.0 | 17,765 | 3.0 |
| 9 | 1,863 | ▲13.3 | 1,679 | 27.4 | 282,810 | ▲16.8 | 282,555 | 5.0 | 0.71 | 4 | ▲20.0 | 25,738 | 2.6 | 18,259 | 5.0 |
| 10 | 1,530 | ▲16.0 | 1,416 | 10.8 | 323,584 | ▲15.3 | 289,361 | 10.5 | 0.71 | 14 | 366.7 | 25,431 | 1.6 | 17,770 | 3.0 |
| 11 | 1,616 | ▲5.3 | 1,430 | 2.7 | 304,974 | ▲3.7 | 297,462 | 6.9 | 0.72 | 4 | 100.0 | 25,452 | 1.6 | 18,071 | 3.9 |
| 12 | 1,314 | ▲8.6 | 1,499 | 10.6 | 648,159 | 16.0 | 295,685 | ▲1.4 | 0.73 | 1 | ▲80.0 | 25,954 | 2.0 | 18,421 | 3.7 |
| 2013. 1 | 1,720 | ▲15.4 | 1,695 | 5.5 | 284,278 | 3.6 | 285,727 | 17.0 | 0.72 | 6 | 20.0 | 25,692 | 1.7 | 18,296 | 3.9 |
| 2 | 1,965 | ▲17.5 | 1,950 | 2.4 | 319,092 | 15.1 | 232,031 | 1.1 | 0.70 | 1 | ▲83.3 | 25,794 | 2.1 | 18,345 | 3.9 |
| 3 | 2,627 | ▲23.7 | 2,414 | 2.4 | 296,286 | 15.3 | 313,221 | 20.5 | 0.72 | 2 | ▲77.8 | 26,470 | 3.5 | 18,671 | 4.2 |
| 4 | 1,532 | ▲4.5 | 1,589 | ▲6.0 | 309,452 | 17.0 | 275,320 | 1.2 | 0.70 | 2 | ▲66.7 | 26,597 | 2.7 | 18,425 | 4.6 |
| 5 | 1,568 | ▲11.3 | 1,564 | ▲9.8 | 256,396 | 21.1 | 263,379 | 1.3 | 0.73 | 3 | ▲50.0 | 26,507 | 3.5 | 18,501 | 5.0 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 鹿児島 Kagoshima

| 項目 / 年月 | 鉱工業生産指数(2005年=100) 総合 季調値 | 総合 前年比(%) | 一般機械 季調値 | 一般機械 前年比(%) | 電子部品 季調値 | 電子部品 前年比(%) | 窯業・土石製品 季調値 | 窯業・土石製品 前年比(%) | 食料品 季調値 | 食料品 前年比(%) | 鉱工業出荷指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業出荷指数 前年比(%) | 鉱工業在庫指数(2005年=100) 季調値 | 鉱工業在庫指数 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 112.1 | 18.7 | 30.3 | ▲36.0 | 133.2 | 19.6 | 165.9 | 73.1 | 90.3 | ▲5.1 | 105.1 | 10.1 | 125.7 | 12.6 |
| 2011年 | 98.3 | ▲12.3 | 47.0 | 55.0 | 100.5 | ▲24.5 | 139.2 | ▲16.1 | 89.1 | ▲1.3 | 94.6 | ▲10.0 | 155.9 | 24.1 |
| 2012年 | 89.0 | ▲9.5 | 50.7 | 8.0 | 71.4 | ▲28.9 | 129.9 | ▲6.7 | 93.4 | 4.9 | 90.2 | ▲4.6 | 133.7 | ▲14.2 |
| 2012. 4 | 91.9 | ▲12.3 | 87.4 | 192.9 | 81.6 | ▲28.5 | 128.8 | ▲19.2 | 89.9 | ▲0.8 | 93.6 | ▲5.5 | 148.8 | ▲2.8 |
| 5 | 89.8 | ▲11.7 | 35.8 | ▲43.6 | 72.3 | ▲32.3 | 129.3 | ▲7.3 | 95.1 | 8.7 | 92.5 | ▲3.5 | 140.5 | ▲11.1 |
| 6 | 85.6 | ▲10.7 | 11.2 | ▲41.2 | 69.2 | ▲32.2 | 126.0 | ▲8.8 | 94.8 | 5.1 | 88.3 | ▲5.5 | 131.6 | ▲15.5 |
| 7 | 85.2 | ▲17.2 | 20.7 | ▲82.2 | 68.3 | ▲29.8 | 131.9 | 0.3 | 92.4 | 3.5 | 87.3 | ▲8.8 | 125.8 | ▲21.3 |
| 8 | 86.8 | ▲8.9 | 28.8 | ▲11.2 | 67.9 | ▲30.7 | 133.7 | 4.4 | 95.4 | 3.3 | 88.3 | ▲5.3 | 121.5 | ▲24.6 |
| 9 | 83.8 | ▲11.0 | 15.6 | ▲31.3 | 66.4 | ▲35.0 | 132.8 | 6.6 | 91.6 | 6.2 | 87.9 | ▲6.8 | 114.3 | ▲29.2 |
| 10 | 90.5 | 1.9 | 35.2 | ▲48.4 | 69.1 | ▲14.0 | 136.4 | 22.1 | 95.2 | 8.7 | 84.5 | 1.5 | 114.4 | ▲32.6 |
| 11 | 93.0 | 2.1 | 26.3 | ▲60.5 | 68.8 | ▲15.8 | 138.4 | 20.4 | 94.4 | 5.9 | 89.3 | ▲1.4 | 122.3 | ▲28.7 |
| 12 | 91.0 | ▲2.3 | 5.4 | ▲87.5 | 71.5 | ▲15.4 | 162.0 | 36.9 | 95.8 | 6.5 | 89.5 | ▲6.0 | 130.0 | ▲23.0 |
| 2013. 1 | 90.7 | 2.9 | 30.1 | ▲85.4 | 69.9 | ▲2.0 | 146.3 | 47.1 | 96.2 | 3.1 | 89.3 | ▲2.2 | 131.0 | ▲15.3 |
| 2 | 90.2 | ▲5.0 | 12.4 | ▲91.4 | 67.0 | ▲19.8 | 155.6 | 43.6 | 91.8 | ▲0.1 | 89.1 | ▲8.9 | 141.1 | ▲7.0 |
| 3 | 90.2 | ▲1.1 | 13.9 | ▲89.2 | 69.6 | ▲5.6 | 160.0 | 26.9 | 93.6 | 4.3 | 88.9 | ▲7.7 | 139.4 | ▲6.3 |
| 4 | 95.7 | 4.5 | 28.4 | ▲73.5 | 69.3 | ▲13.8 | 168.6 | 33.4 | 96.9 | 8.7 | 88.2 | ▲4.7 | 165.6 | 11.3 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 鹿児島県統計調査課 | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 / 年月 | 貿易 輸出金額 前年比(%) | 貿易 輸入金額 前年比(%) | 公共工事保証請負金額 億円 | 公共工事保証請負金額 前年比(%) | 建築着工統計 工事費予定額(非居住用) 億円 | 建築着工統計 前年比(%) | 新設住宅着工戸数 合計 戸 | 合計 前年比(%) | 持家 前年比(%) | 貸家 前年比(%) | 分譲 前年比(%) | 消費者物価指数(2010年=100)鹿児島市 指数 | 消費者物価指数 前年比(%) | 大型小売店販売額 百万円 | 大型小売店販売額 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 3.1 | 14.0 | 2,176 | ▲4.5 | 821 | 9.5 | 8,669 | 6.0 | 5.9 | 2.2 | 26.4 | 100.0 | ▲0.2 | 161,771 | ▲2.2 |
| 2011年 | 51.4 | 7.5 | 2,006 | ▲7.8 | 932 | 13.5 | 9,039 | 4.3 | 6.0 | ▲7.0 | 56.0 | 99.7 | ▲0.3 | 164,957 | 2.0 |
| 2012年 | ▲25.7 | ▲5.2 | 2,376 | 18.4 | 1,063 | 14.0 | 9,701 | 7.3 | ▲3.0 | 21.8 | 1.8 | 99.3 | ▲0.4 | 162,863 | ▲1.3 |
| 2012. 4 | ▲22.8 | ▲15.8 | 95 | ▲11.8 | 79 | 41.6 | 721 | 4.3 | 6.4 | 3.0 | ▲15.8 | 99.8 | 0.0 | 13,119 | ▲2.3 |
| 5 | ▲37.1 | ▲8.6 | 105 | 108.9 | 71 | 29.2 | 735 | 32.2 | ▲8.1 | 77.9 | 196.2 | 99.7 | 0.0 | 13,146 | ▲1.5 |
| 6 | ▲44.6 | ▲1.0 | 120 | 26.0 | 62 | 4.4 | 1,025 | 16.7 | ▲11.8 | 102.0 | ▲59.4 | 99.1 | ▲0.5 | 11,851 | ▲3.8 |
| 7 | ▲31.4 | ▲8.9 | 205 | 13.6 | 85 | ▲43.3 | 818 | 11.0 | ▲7.2 | ▲4.8 | 350.0 | 99.0 | ▲0.8 | 14,957 | ▲3.7 |
| 8 | ▲51.0 | ▲22.3 | 283 | 16.8 | 47 | ▲39.6 | 919 | 4.2 | ▲23.7 | 33.7 | 106.5 | 99.0 | ▲0.6 | 13,181 | ▲1.1 |
| 9 | ▲34.1 | 3.5 | 333 | 14.7 | 61 | 0.8 | 896 | 44.7 | 9.1 | 63.0 | 302.8 | 99.2 | ▲0.6 | 11,795 | ▲0.6 |
| 10 | ▲30.8 | ▲25.8 | 311 | 53.2 | 118 | 7.8 | 745 | ▲11.0 | ▲3.2 | 38.6 | ▲81.0 | 99.2 | ▲0.8 | 13,417 | ▲1.2 |
| 11 | ▲4.3 | ▲9.2 | 185 | 21.9 | 179 | 154.5 | 838 | 1.8 | 5.4 | ▲4.3 | 4.8 | 99.0 | ▲0.3 | 14,365 | 5.0 |
| 12 | ▲27.5 | ▲18.2 | 191 | 19.5 | 98 | ▲14.2 | 1,035 | 11.7 | 15.3 | 14.5 | 10.9 | 98.8 | ▲0.5 | 19,054 | ▲2.1 |
| 2013. 1 | 304.5 | ▲19.5 | 108 | ▲9.6 | 90 | ▲39.3 | 671 | 9.3 | ▲5.2 | 27.3 | 25.6 | 98.6 | ▲0.8 | 13,283 | ▲1.4 |
| 2 | 410.5 | ▲1.3 | 146 | ▲21.1 | 95 | 87.7 | 866 | 43.4 | 13.8 | 70.3 | 128.6 | 98.3 | ▲0.9 | 11,291 | ▲0.9 |
| 3 | 18.4 | 16.6 | 306 | 25.2 | 85 | 33.9 | 779 | 3.7 | 23.3 | ▲16.2 | ▲23.5 | 99.0 | ▲0.9 | 13,394 | 2.2 |
| 4 | 124.8 | 14.0 | 156 | 65.1 | 58 | ▲26.4 | 1,138 | 57.8 | 12.0 | 150.6 | 30.0 | 99.0 | ▲0.8 | 12,803 | ▲2.4 |
| 5 | 124.3 | 18.3 | 153 | 45.9 | 57 | ▲18.9 | 644 | ▲12.4 | 20.5 | ▲40.6 | ▲33.8 | 99.2 | ▲0.5 | 13,223 | 0.6 |
| 出所 | 財務省 | | 西日本建設業保証 | | 国土交通省 | | | | | | | 総務省 | | 九州経済産業局 | |

| 項目 / 年月 | 乗用車 乗用車新規登録台数 台 | 乗用車新規登録台数 前年比(%) | 乗用車 軽乗用車販売台数 台 | 軽乗用車販売台数 前年比(%) | 家計消費支出(勤労者世帯)鹿児島市 可処分所得 円 | 可処分所得 前年比(%) | 消費支出 円 | 消費支出 前年比(%) | 有効求人倍率 倍 | 倒産件数 件 | 倒産件数 前年比(%) | 預金残高 億円 | 預金残高 前年比(%) | 貸金残高 億円 | 貸金残高 前年比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010年 | 31,990 | 18.3 | 21,945 | ▲0.4 | 452,291 | ▲1.7 | 331,761 | ▲6.0 | 0.44 | 64 | ▲16.9 | 37,747 | 1.8 | 26,971 | 0.5 |
| 2011年 | 25,305 | ▲20.9 | 18,618 | ▲15.2 | 457,131 | 1.1 | 312,314 | ▲5.9 | 0.55 | 64 | 0.0 | 38,496 | 2.0 | 27,594 | 2.3 |
| 2012年 | 32,261 | 27.5 | 26,228 | 40.9 | 438,338 | ▲4.1 | 331,023 | 6.0 | 0.65 | 72 | 12.5 | 39,277 | 2.0 | 28,174 | 2.1 |
| 2012. 4 | 2,084 | 118.0 | 2,014 | 134.2 | 413,831 | 6.2 | 335,699 | 5.6 | 0.63 | 5 | ▲37.5 | 40,153 | 3.1 | 27,406 | 1.7 |
| 5 | 2,239 | 83.8 | 2,210 | 78.5 | 313,177 | ▲6.6 | 318,799 | 12.7 | 0.65 | 5 | ▲37.5 | 39,404 | 2.6 | 27,358 | 2.1 |
| 6 | 2,840 | 37.4 | 2,464 | 73.9 | 619,425 | 18.3 | 316,186 | 14.1 | 0.65 | 6 | 0.0 | 39,508 | 2.4 | 27,388 | 1.9 |
| 7 | 3,544 | 41.0 | 2,702 | 61.2 | 450,444 | ▲20.1 | 300,515 | 0.3 | 0.66 | 2 | ▲66.7 | 38,785 | 1.5 | 27,493 | 1.8 |
| 8 | 2,198 | 0.6 | 2,029 | 41.0 | 388,038 | ▲1.5 | 322,922 | 13.5 | 0.67 | 11 | 266.7 | 38,809 | 1.9 | 27,540 | 1.8 |
| 9 | 2,457 | ▲18.6 | 2,015 | 15.3 | 308,854 | ▲20.5 | 323,392 | 15.1 | 0.66 | 7 | 250.0 | 38,876 | 2.4 | 27,621 | 2.0 |
| 10 | 1,960 | ▲13.4 | 1,634 | 1.1 | 369,454 | ▲14.6 | 276,471 | ▲17.7 | 0.66 | 8 | 33.3 | 38,809 | 1.8 | 27,666 | 2.2 |
| 11 | 2,367 | 2.6 | 1,812 | 10.5 | 353,413 | ▲9.0 | 287,937 | ▲2.5 | 0.65 | 5 | ▲28.6 | 38,670 | 1.9 | 27,789 | 2.4 |
| 12 | 2,127 | 4.7 | 1,635 | 1.4 | 838,395 | ▲9.6 | 368,873 | ▲7.4 | 0.67 | 7 | 16.7 | 39,277 | 2.0 | 28,174 | 2.1 |
| 2013. 1 | 2,310 | ▲9.6 | 2,232 | 5.8 | 374,978 | ▲4.0 | 350,498 | ▲18.6 | 0.68 | 5 | 0.0 | 39,046 | 2.0 | 28,095 | 1.9 |
| 2 | 2,724 | ▲16.5 | 2,466 | ▲1.4 | 421,758 | 1.1 | 298,799 | ▲3.1 | 0.68 | 6 | 50.0 | 39,386 | 1.7 | 28,107 | 2.1 |
| 3 | 3,991 | ▲13.7 | 3,465 | 11.6 | 393,883 | ▲0.9 | 340,404 | ▲10.9 | 0.70 | 4 | ▲42.9 | 39,924 | 1.6 | 28,208 | 2.3 |
| 4 | 1,984 | ▲4.8 | 1,973 | ▲2.0 | 469,068 | 13.3 | 405,509 | 20.8 | 0.71 | 4 | ▲20.0 | 40,419 | 0.7 | 27,963 | 2.0 |
| 5 | 1,974 | ▲11.8 | 1,968 | ▲11.0 | 321,187 | 2.6 | 326,159 | 2.3 | 0.71 | 8 | 60.0 | 39,982 | 1.5 | 28,124 | 2.8 |
| 出所 | 日本自動車販売協会連合会 | | 全国軽自動車協会連合会 | | 総務省 | | | | 厚生労働省 | 東京商工リサーチ | | 日本銀行 | | | |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

第3弾

新企画★全3回で学ぶ!!

# 家づくりカレッジ開講

定員 各10名

水コース …水曜日開催（全3回）
土コース …土曜日開催（全3回）
※原則として3回全て出席可能な方を対象としています。

テーマに沿って家づくりのこと、たのしく学んで情報収集をしませんか?
〈会場〉福岡銀行本店 中2階 住まいるギャラリー
〈講師〉住まいるギャラリー 建築士

## 戸建編

水コース C-116
土コース C-117

**1限目 一戸建てに住みたいと思ったら…**
水コース 8/21（水）10:30〜12:00
土コース 8/24（土）10:30〜12:00
購入の流れ、土地の見方、業者の選び方を一緒に考えます。

**2限目 ショールームへでかけよう!**
水コース 土コース 8/31（土）14:00〜15:30
※2限目に限り 水コース 土コース 合同となります。
住宅建材・設備のショールームへみんなで行って体感します。

**3限目 間取りを考えよう**
水コース 9/25（水）10:30〜12:00
土コース 9/28（土）10:30〜12:00
日当たり、動線・収納などを考えながら、間取りの極意を学びます。

## マンション編

水コース C-118
土コース C-119

**1限目 マンションが欲しいと思ったら…**
水コース 8/21（水）14:00〜15:30
土コース 8/24（土）14:00〜15:30
物件の選び方、資金計画、広告の見方を一緒に考えます。

**2限目 モデルルームへでかけよう!**
水コース 土コース 8/31（土）10:30〜12:00
※2限目に限り 水コース 土コース 合同となります。
実際のマンションのモデルルームへみんなで見学に行きます。

**3限目 より自分らしいマンションへ**
水コース 9/25（水）14:00〜15:30
土コース 9/28（土）14:00〜15:30
間取り変更、オプション工事、照明・カーテンの選び方などを学びます。

## 住まいの“ちょっと相談、ちょっと質問”

住まいるギャラリーは、住宅購入や住宅建築・リフォームでの“ちょっとした疑問や不安”を建築士に無料で相談できる窓口です。

購入の流れ | 土地のこと | 業者の選び方 | 間取りのこと | リフォームのこと などなど

お気軽にご相談ください。

### セミナーのお申込みは

■ふくぎんホームページアドレス
**http://www.fukuokabank.co.jp**
福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナー・キャンペーン・イベント」よりお申込みください。

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ
**0120-559-655**
携帯・PHSからもご利用いただけます。
受付時間／9:00〜20:00（但し、銀行休業日は除きます。）
お電話の場合は、上記へ直接お電話いただき、お申込みください。
予約コード（C115など）とテーマをお申し付けください。

【ご注意事項】
■先着順ですので、お早めにお申込みください。
■受講票等は送付いたしませんので、ご来場の際は受付にてお名前をお伝えください。
■セミナーの受付は開始時間の30分前からとなります。
■セミナー開始後30分経過しますと、受付は終了させていただきます。受付終了後はセミナーにご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。
■セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。
■駐車場については数に限りがございます。公共の交通機関をご利用ください。

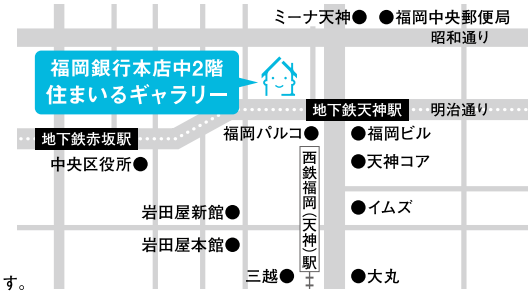
◎住まいるギャラリーでは住宅の販売・契約は行っておりません。お客さまにご満足いただける住まいのご提案に努めます。

### お問い合わせ・ご相談は

住まいるギャラリー
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階
【営業時間】平日／9:00〜17:00　土曜／10:00〜17:00
※12月31日〜1月3日はお休みさせていただきます。

**TEL 092-723-2290**




平成25年7月1日現在

夏は

オープン2周年感謝イベント

住まいるギャラリーで 学ぼう！遊ぼう！
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

# ふくぎん住活フェア

参加費無料

## 第1弾 夏休みのお楽しみ!!

### 住まいる 子ども 夏まつり in 住まいるギャラリー

平成25年 7/26(金)・27(土) 10:30～16:00

〈会場〉福岡銀行本店 中2階 住まいるギャラリー

夏の思い出に！

**家づくり体験をしよう！**

- くぎうち体験
- のこぎり体験
- カンナがけ体験
- ペンキぬり体験

いくつ正解できるかな!? おうちクイズ など

大工さんなりきり
写真撮影もできるよ！

さらに！

**おうち工作コーナー**

子ども部屋ドアプレートをつくろう！

各日先着50名様 随時受付！

お申込みは不要です。たくさんのお子様連れのご参加お待ちしております。

小学生以下のお子さま お菓子つかみ取り！
(各日 先着100名様までとさせていただきます。)

## 第2弾 マイホーム購入の夢をかなえる

### 家計管理 + 住まいづくりセミナー

平成25年 8/4(日) 13:30～15:30 受付開始 13:00

託児サービス有 2歳以上のお子様に限ります。

C-115 定員80名

**第1部 無理なく、無駄なく、家計管理術**

マイホーム購入に向けたお金のことを考えてみましょう。
家計管理術をワークショップ形式で学びます。
※教材は住まいるギャラリーで準備いたします。

講師
吉田 麗子氏 FP事務所シナリオ
http://fp-yoshida.jimdo.com
ファイナンシャルプランナー(CFP)
日本マネーバランスFP協会 理事 資格会員

**第2部 マイホーム購入の基礎知識**

プロから学べば悩みも解決！
マイホーム購入の流れとポイントを学びます。

講師
住まいるギャラリー建築士

※セミナー終了後は、住まいるギャラリーにてお飲物とお菓子を準備しております。お気軽にお立ち寄りください。

〈会場〉福岡銀行本店4階 セミナールーム
(昭和通り側入口よりお入りください。)

〈託児〉無料(2歳児以上、先着20名様まで)
(託児ご希望の方は直接電話でお申込みください。)
※着替え・お菓子・飲み物等、お子様に必要な物はお客さまご自身でご準備ください。

お申込みは裏面をご確認ください

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

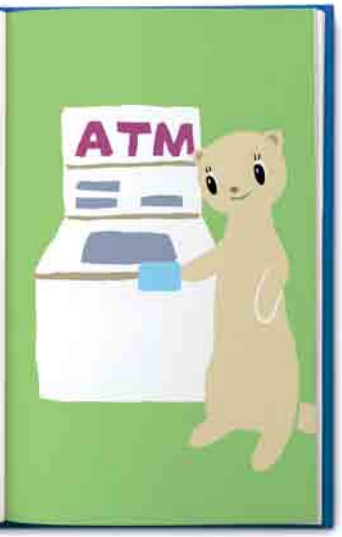
福岡銀行

# これだけの『便利』が、カード1枚に！

## キャッシュカードとして、いつでも気軽にATM利用できる。

ここも便利！ コンビニATMなら24時間お引き出しができます。

※曜日によって一部お引き出しできない時間帯があります。詳しくは福岡銀行のホームページでご確認ください。




## クレジットカードにも、電子マネーにも使えて、ショッピングに便利！

ここも便利！ ショッピングポイントに加え、nimoca加盟店でのご利用で、さらにポイントがつきます。

## 旅行や急な出費の時に、ローンカードとしても使えて便利！

ここも便利！ 2つのローン機能付きで、いざという時も安心です。

## バスのIC乗車券としてご利用でき、ポイントもつきます。

ここも便利！ 西鉄バスの定期券としてもご利用いただけます。

## 電車のIC乗車券としてご利用でき、ポイントもつきます。

ここも便利！ 西鉄電車の定期券としてもご利用いただけます。

※西鉄電車と福岡市営地下鉄の連絡定期券は搭載可能です。

| お申込み条件 |
|---|
| 20歳以上で安定継続収入のある方<br>（クラシックカードの場合、20歳以上の専業主婦・学生の方もお申込みいただけます。） |
| **年会費（税込）** |
| クラシックカード　1,312円<br>（クラシックカードは初年度無料） |
| ゴールドカード　10,500円 |

※arecore nimocaカードのご入会に際しては福岡銀行所定の審査がございますので、ご了承ください。
※arecoreカード、キャッシュカード一体型カードとの重複契約はできません。

ますます便利！ **arecore nimoca**

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

お申込みはふくぎんへ 福岡銀行

平成25年3月15日現在

# バス・電車をご利用する機会が多い方なら、arecore nimocaです。

**キャッシュカードとして**

## 「引き出す・預ける・振り込む」のキャッシュカード機能

Protected by Bio System

コンビニATMなら24時間、現金のお引き出しOK！
※ご利用のATM、時間帯等によっては所定の手数料が必要です。
※曜日によって一部お引き出しできない時間帯があります。詳しくは福岡銀行のホームページにてご確認ください。

### ふくぎんATM時間外手数料・コンビニATM利用手数料〈注〉が1年間無料!!

（カード発行日の翌月15日から適用されます。）

〈注〉「コンビニATM利用手数料は口座ごとに月3回まで無料」となります。
詳しくはふくぎん窓口もしくはホームページにてご確認ください。
※振込手数料は別途必要になります。
※共同サービスコーナーによっては、対象外となる場合があります。
※「セブン銀行」「E-net」「ローソンATM」マークがあるコンビニエンスストア等のATMを無料でご利用いただけます。
※1年以内にアレコレnimocaカードを解約された場合、それ以後手数料が必要となることがあります。
※ふくぎんポイントくらぶ「マイバンク」でのサービス提供となります。
「マイバンク」の詳細は、ふくぎんホームページまたは店頭のチラシをご覧ください。

2年目以降も、
アレコレnimocaカードのご継続に加え、
例えば以下のお取引で上記特典が
引き続き受けられます。
例）給与振込のご指定または
ダイレクトバンキング会員のご契約

**クレジットカードとして**

## ●世界中の加盟店でクレジットカードとしてショッピングにお使いいただけます。
## ●携帯電話、プロバイダー料金、保険料など、毎月のお支払いにも。

**クレジットカード年会費が1年間無料!!**

2年目以降は、アレコレnimocaカードでの前年の年間ショッピングご利用額が10万円以上または携帯電話料金・ガス料金（西部ガス）・電気料金（九州電力）のいずれかのクレジットカード決済により年会費が無料になります。
※詳しくは、店頭またはホームページにてご確認ください。 ※ゴールドカードは対象外となります。

**ローンカードとして**

## arecore nimocaは2つのローン機能付き。いざという時にも慌てることなく安心!!

※ご利用の際は、お利息がかかります。 ※65歳以上の方は、本サービスはご利用になれません。
※詳しくは、店頭またはホームページの説明書にてご確認ください。

**アレコレプラスワンサービス**
●口座振替やお引出し時に、口座残高が0円でも10万円までお立て替えいたします。
●ご返済は、口座へのご入金でOK!!お利息はお立て替えした日数分だけです。
※審査の結果によってはプラスワンサービスをご利用いただけない場合があります。

**アレコレカードローンサービス**
●ご利用残高に応じて、毎月のご返済額も一定なので安心です。
●毎月のご返済に加え、余裕のあるときにはふくぎんのATMでいつでもご返済可能です。
※ご融資限度額は、審査のうえ当行で決定させていただきます。審査の結果によってはアレコレカードローンサービスをご利用いただけない場合があります。

## nimocaの便利さが、すべてプラスされました。

チャージ（入金）しておけば、タッチするだけの簡単自動精算。 バスや電車の乗り降りやお買いものにも便利でスピーディです。

**IC乗車券として**
アレコレnimoca1枚で、全国の右記交通系ICカード各エリアでの鉄道・バスのご乗車が可能です。
※nimocaエリアでのご利用はポイントがつきます。
◎西鉄バス・西鉄電車の定期券としてもご利用いただけます。

**電子マネーとして**
nimoca加盟店をはじめ、右記のマークがついている全国交通系ICカードの電子マネー加盟店でご利用いただけます。
※nimoca加盟店での利用のみポイントがつきます。
※一部ポイントがつかない店舗もあります。
※PiTaPaは電子マネー相互サービス対象外です。

対象交通系ICカード　※平成25年3月23日から
nimoca　SUGOCA　はやかけん HAYAKAKEN　Kitaca　Suica
PASMO　manaca　toica　ICOCA　PiTaPa

■お申込み条件
20歳以上で安定継続収入のある方。
※クラシックカードの場合、20歳以上の専業主婦・学生の方もお申し込みいただけます。

■年会費のご案内（税込）
クラシックカードの年会費は1年間無料です。
2年目以降は、アレコレnimocaカードでの前年の年間ショッピングご利用額が10万円（家族カード利用額も含む）以上または携帯電話料金・ガス料金（西部ガス）・電気料金（九州電力）のいずれかのクレジットカード決済により年会費が無料になります。

| | 本会員 | 家族カード（1人目） | 家族カード（2人目） | 「マイ・ペイすリボ」※3の登録をした場合 |
|---|---|---|---|---|
| クラシック | 1,312円（初年度無料） | 420円（初年度無料） | 420円（初年度無料） | 下記※2を条件に本会員・家族会員とも無料 |
| クラシック（学生） | 無料※1 | | | 無料 |
| ゴールド | 10,500円 | 無料 | 1,050円 | 左記と変わらず |

※1 クラシック（学生）カードの年会費無料適用期間は、卒業予定年度までです。（以降はクラシックに準じます。）
※2 「マイ・ペイすリボ」の登録をした場合、クラシックカードは、前回の年会費引落日の前月16日から次回の年会費引落日の前月15日までに、ショッピングのご利用（家族カード・ETCの利用含む）があれば、次回の年会費は無料となります。その後も1年毎に同様のお取扱いとなります。
※3 「マイ・ペイすリボ」とは、ショッピングの一括払いを原則「リボ払い」とする登録サービスです。

### 《必ずお読みください》

■福岡銀行所定の審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。
■arecoreカード・キャッシュカード一体型カードとの重複契約はできません。（アレコレnimocaカードの入会申込に際しては、arecoreカード・キャッシュカード一体型カードの解約が必要です。）
■お申込み内容やお勤め先での在籍を確認するため、ご自宅およびお勤め先にそれぞれお電話をさせていただく場合がございますのでご了承ください。
■商品・サービスの内容は、今後の情勢等により変更させていただく場合がございます。
■審査の結果、アレコレnimocaカードの発行ができない場合は、生体認証ICキャッシュカードをお送りさせていただきます。（キャッシュカードをお持ちでない方のみ）
■キャッシュカードをお持ちのお客さまで、アレコレnimocaカードにご入会されたお客さまは、ご自宅にアレコレnimocaカードが届きましたら現在お使いのキャッシュカードにハサミを入れてご処分いただきますようお願い申し上げます。（旧キャッシュカードにつきましては、アレコレnimocaカードが発行された月の翌月末日以降ご利用いただけなくなります。ただし、前述の日以前にアレコレnimocaカードのキャッシュカード機能をご利用された場合は、その日以降ご利用できなくなります。）


アレコレnimocaカードに関するお問合わせは…
■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ
0120-788-324　ローン・アレコレ メニュー 1 お申込み 2 ご相談・お問合せ
［受付時間］平日9:00～20:00 但し、銀行休業日は除きます。
携帯・PHSからもご利用OK!
ふくぎんホームページアドレス http://www.fukuokabank.co.jp

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

人と人とのつながりがビジネスを広げる

# FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

## FFG経営者クラブの主なご提供サービス

### メリット1 ビジネスに即した様々な情報を入手！
■FFG経営者クラブインターネット情報サービスによる情報提供
経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報をタイムリーに提供します。

### メリット2 FFGのネットワークを利用した商談会・交流会！
■商談会・地区別交流会の開催
販路拡大に繋がる商談会や会員相互の交流、情報交換を目的に地区別交流会を開催いたします。

### メリット3 実務情報や経営ノウハウが直接聞ける！
■セミナー・研修会の開催
経営に関するテーマを中心に、経験豊富な講師陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。

### メリット4 社員教育・研修で大活躍！ 多様なテーマでバックアップ！
■社員教育用DVD・ビデオの無料貸出
新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、コンプライアンス経営、顧客満足など、
経営全般に参考となるDVD・ビデオ（総数200タイトル以上）を無料でご利用いただけます。

### メリット5 多彩なセミナーをインターネットで視聴できる！
■24時間いつでもご利用いただけるインターネットセミナー
豊富なラインナップから、お客様のご希望のセミナーを24時間無制限でご視聴いただけます。
勉強会（社内研修）などにもご活用いただけます。

### メリット6 交通至便な福岡天神の商談スペース！
■ビジネスマッチングフロアのご利用
福岡銀行本店ビル5F（福岡天神）のビジネスマッチングフロアを無料でご利用いただけます。

### メリット7 ビジネスに役立つ！ 日常業務でも使える！
■FFG調査月報、小冊子のご提供
ふくおかフィナンシャルグループの経済情報誌やハンドブックをお届けします。

ビジネスに役立つ様々なサービスをご利用いただけます。

年会費 26,000円

お申込み
お問合せは

**FFG経営者クラブ事務局**
株式会社FFGビジネスコンサルティング内
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL.092-723-2241　FAX.092-721-9258

福岡銀行　熊本銀行　親和銀行


FFG調査月報62号 | 2013年７月30日／㈱FFGビジネスコンサルティング
福岡市中央区大手門１丁目８番３号　TEL 092(723)2576　http://www.fukuoka-fg.com/
印刷／久野印刷㈱